

札幌市障がい者スポーツ普及促進プログラム

平成30年3月

札幌市
保健福祉局障がい保健福祉部
スポーツ局スポーツ部

<目 次>

第1章	プログラム策定の背景・趣旨	1
第2章	札幌市における障がい者スポーツの現状と課題	3
2-1	札幌市における障がい者スポーツの現状	3
(1)	障がい者手帳所持者数	
(2)	スポーツ実施率・実施しているスポーツ	
(3)	スポーツを行うきっかけ	
(4)	スポーツを行う目的	
(5)	スポーツを行うときの課題	
(6)	スポーツを行う場所	
(7)	スポーツを行うために重要だと思うこと	
(8)	障がい者スポーツ体験会・競技教室への参加	
2-2	札幌市における障がい者スポーツの課題	13
2-3	現状と課題（まとめ）	14
コラム	：スポーツ実施率と「散歩」について	15
第3章	プログラムの方向性	16
3-1	基本的な考え方	16
3-2	プログラムの方向性	16
第4章	課題解決に向けたプログラム	19
方向性1	障がい者スポーツの裾野の拡大	19
方向性2	障がい者スポーツの競技力向上	21
方向性3	障がい者スポーツを支える仕組みづくり	23
第5章	プログラムの推進に向けて	26
参考資料1	障がい者スポーツの普及促進のあり方に関する検討会議について	28
参考資料2	アンケート調査結果概要	29

第1章 プログラム策定の背景・趣旨

- スポーツとは、障がいの有無や年齢に関わらず、健康づくりやコミュニケーションを促進するものであり、とりわけ、障がいのある人にとっては、それらの効果に加えて、リハビリテーションや、外出機会の増加につながるなど、多くの効果があるものである。
- その中で障がい者スポーツは、障がいがあってもスポーツ活動ができるよう、障がいに応じてルールを変更したり、用具を用いたりして障がいを補い、現存する機能を最大限発揮できるよう工夫を加えながら発展してきた。現在では、パラリンピックなどの国際大会の広がりとともに、非常に高いレベルで競技が行われている。また、障がいのない人を含めた全ての人にとって、生涯を通じて可能なスポーツとしても認識されてきている。
- 札幌市は、人口190万人を超える大都市だが、郊外には豊かな自然があり、冬季間の降雪量が6m近くなる環境を生かして、ウィンタースポーツなどさまざまなスポーツに親しむことができる。この環境を活用し、スポーツを通じて地域コミュニティを醸成し経済の活性化に寄与するため、スポーツを通じたシティプロモートや国際交流に力を入れてきたほか、市民誰もがスポーツに親しめる環境を目指した取り組みを進めてきた。
- 札幌市が平成30年に策定した「さっぽろ障がい者プラン2018」においては、「障がいのある人もない人も、その命の尊厳が当然に保障され、市民誰もが互いに人格と個性を尊重し支え合う共生社会の実現」が基本理念に位置付けられている。その中で障がい者スポーツに関しては、「スポーツや文化芸術活動等を通じて、障がいのある人と障がいのない人との交流の機会を提供し、障がいのある人に対する理解促進を図る」、「障がい者スポーツ、障がい者の文化芸術活動を支援し、障害のある人の体力の増強や交流、余暇の充実を図ることで、心豊かな地域生活を支援する」を基本方針とし、重点取組として「既存体育施設のバリアフリー化の推進」、「障がい者スポーツの振興」、「障がい者スポーツ大会の開催」を定めている。この取り組みは、平成26年に策定された「札幌市スポーツ推進計画」においても施策として位置付けられている。
- 国においては、平成23年に施行された「スポーツ基本法」で、8つの基本理念の1つとして障がい者スポーツを新たに位置付け、「スポーツは、障害者が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるよう、障害の種類及び程度に応じ必要な配慮をしつつ推進されなければならない」としている。

- また、平成 24 年に策定された「スポーツ基本計画」では、「年齢や性別、障害等を問わず、広く人々が、関心、適性等に応じてスポーツに参画することができる環境を整備すること」を基本的な政策課題として、障がい者スポーツの推進を図っている。
- さらに、平成 29 年に策定された「第 2 期スポーツ基本計画」では、「障害者スポーツを通じて障害者への理解・共感・敬意が生まれ、全ての人々が分け隔てなくスポーツに親しむことで、心のバリアフリーや共生社会が実現する」とし、スポーツを通じた共生社会等の実現のための方策として障がい者スポーツの振興が謳われている。
- そのような折、2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催が決定し、障がい者スポーツに対する関心が高まっている。2026 年冬季オリンピック・パラリンピックの招致を表明した札幌市においても、この機を捉え、市民誰もがスポーツに親しめる環境のさらなる整備や、障がい者スポーツの競技力向上に取り組むことが重要である。
- しかし、障がい者スポーツには、障がいのある人が身近にスポーツを実践できる場の確保や、障がい者スポーツを支える指導員の育成など、さまざまな課題が存在する。その普及促進にあたっては、行政だけではなく、一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会や一般財団法人さっぽろ健康スポーツ財団をはじめとした、各関係団体の連携が必要である。
- 本プログラムは、障がい者スポーツを取り巻く状況の変化を受け、札幌市における障がい者スポーツの現状と課題を踏まえたうえで、今後の障がい者スポーツの普及促進を図っていくための基本的な方向性と実現に向けた展開方策を示すものである。

(用語について)

※本プログラムにおいては、健康増進や余暇の楽しみのために行うものから競技として順位や勝敗を競い合うものまで、障がいのある人が行う運動競技その他の身体活動を総じて「障がい者スポーツ」とし、その中で競技として順位や勝敗を競い合うものを「競技スポーツ」とする。

第2章 札幌市における障がい者スポーツの現状と課題

2-1 札幌市における障がい者スポーツの現状

(1) 障がい者手帳所持者数

- 札幌市の障がい者手帳所持者数は 125,727 人で、市の人口の約 6.5% である。

障がい者手帳所持者数（各年度末）

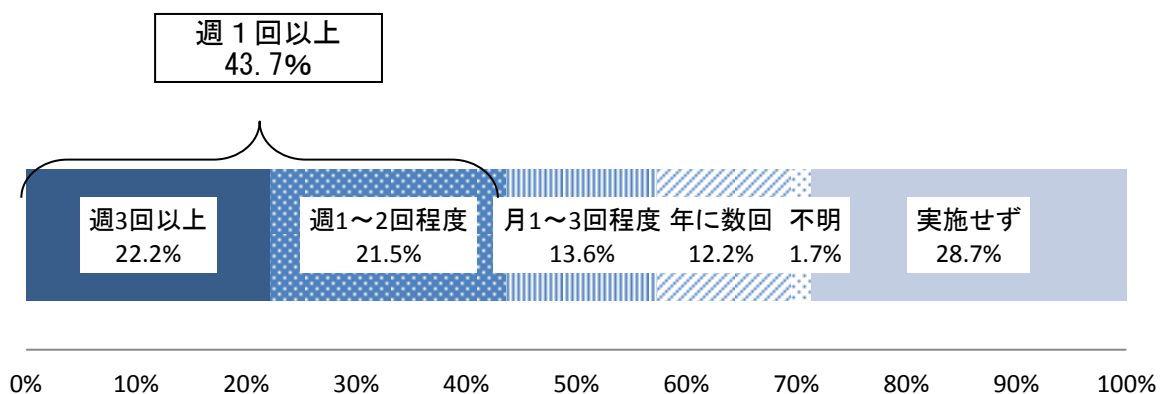


札幌市障がい福祉課

(2) スポーツ実施率・実施しているスポーツ

- 札幌市における 18 歳以上の障がいのある人のスポーツ実施率（週 1 回以上スポーツを行った割合）は 43.7% であり、札幌市民全体のスポーツ実施率 36.8%（平成 28 年度）を上回っているものの、今後もこの実施率を維持・向上していくことが望まれる。

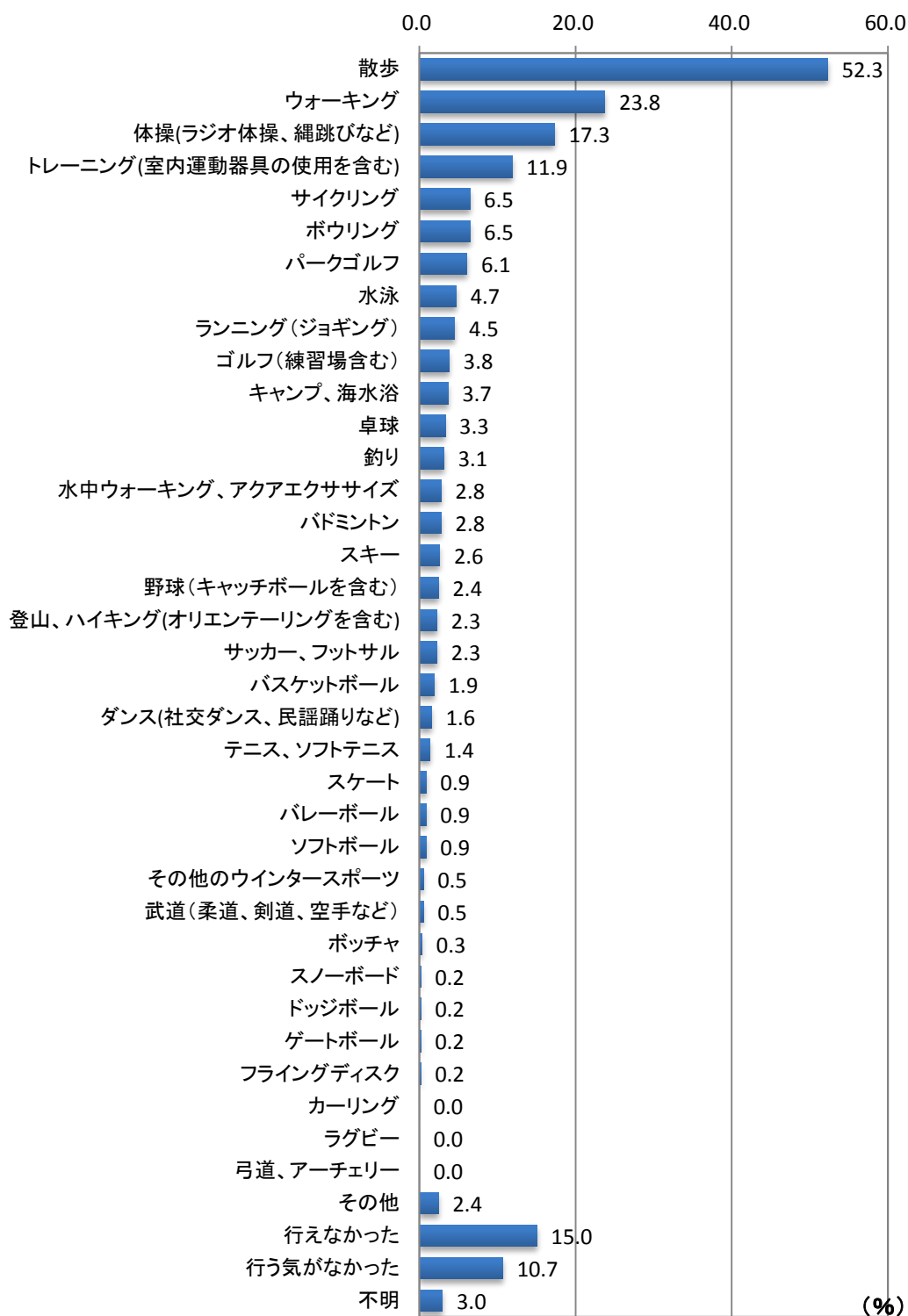
障がいのある人のスポーツ実施率



札幌市障がい者の運動などの活動に関するアンケート調査（平成 29 年度）

- 実施しているスポーツは「散歩」、「ウォーキング」、「体操」などの軽い運動の割合が高く、この傾向は全ての年代に共通している。
- 今後、障がいのある人のさらなるスポーツ実施率向上のためには、現在実施している割合が低い競技スポーツを含めた障がい者スポーツに取り組む環境の充実が必要である。

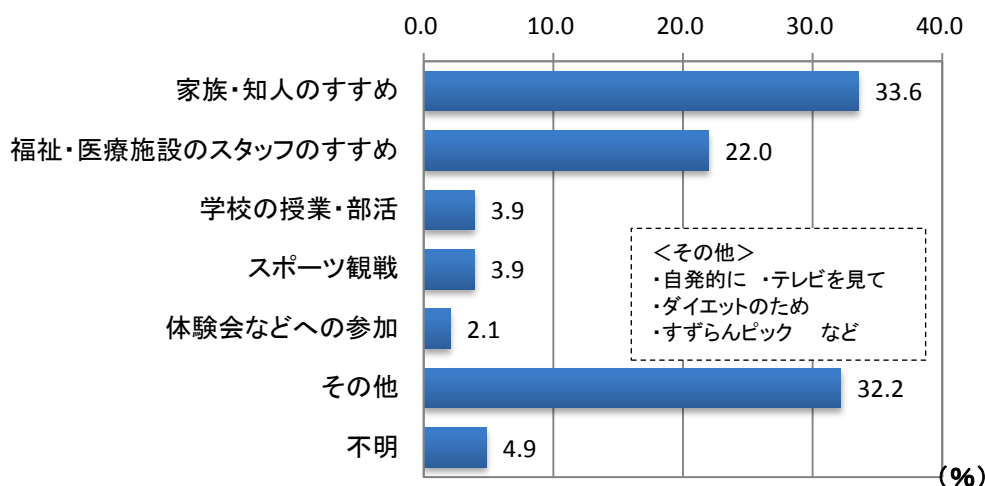
過去1年以内に行った運動（複数回答）



(3) スポーツを行うきっかけ

- 「家族・知人のすすめ」、「福祉・医療施設のスタッフのすすめ」が多い。

運動などの活動を行うきっかけ（複数回答）

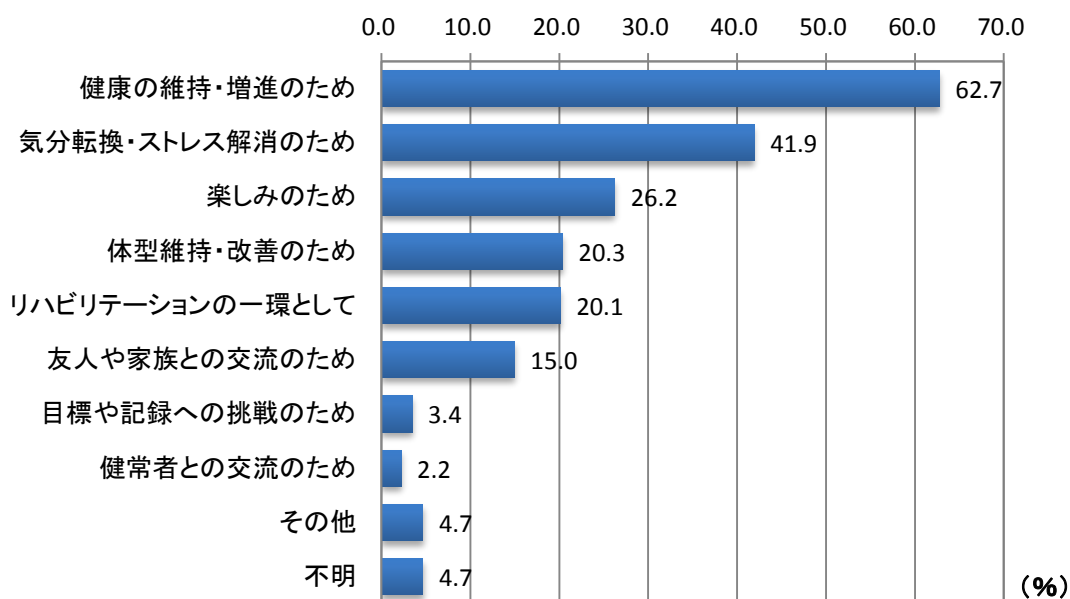


札幌市障がい者の運動などの活動に関するアンケート調査（平成 27 年度）

(4) スポーツを行う目的

- スポーツを行う目的は「健康の維持・増進」、「気分転換・ストレス解消」が多く、「目標や記録への挑戦」は少ない。

運動などの活動を行う目的（複数回答）

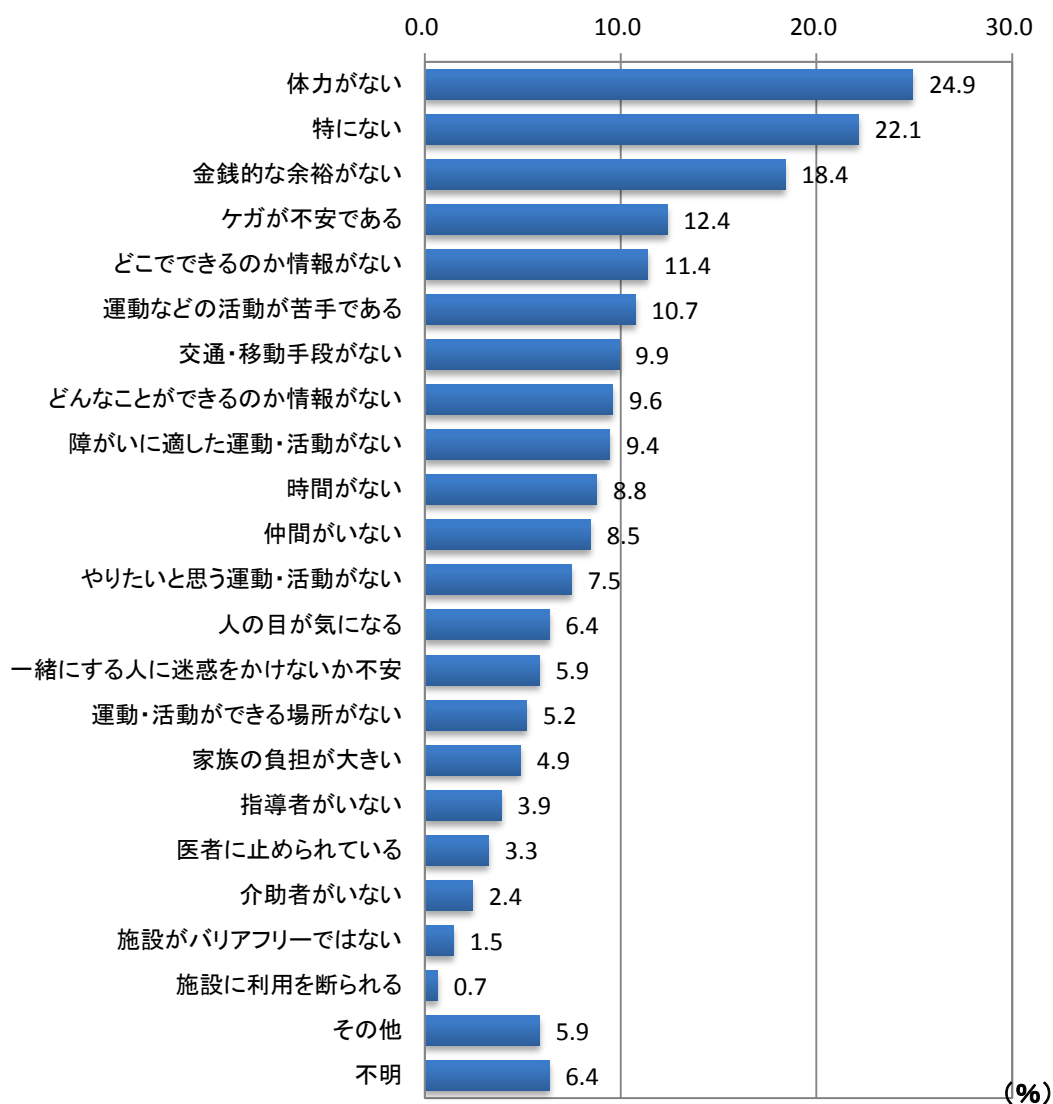


札幌市障がい者の運動などの活動に関するアンケート調査（平成 29 年度）

(5) スポーツを行うときの課題

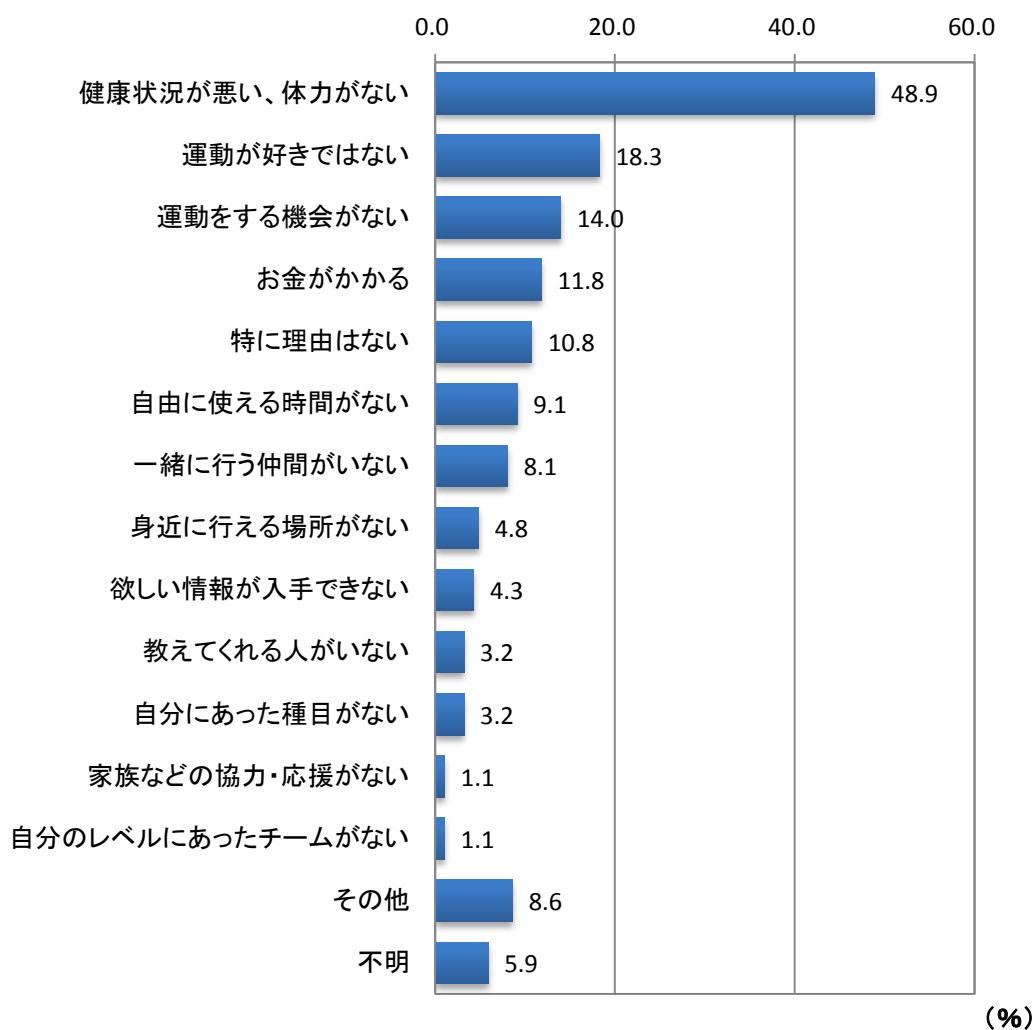
- 「体力がない」、「ケガが不安である」、「運動が苦手」、「障がいに適した運動・活動がない」という身体の状態に起因するものが多い。
- これらについては、障がいの種類や程度に応じたスポーツを行える場所がないこと、個々の状態に応じた指導・介助を受けられないことが課題。
- 障がいのある人とない人が一緒にスポーツを行う機会が少ないことも課題（「仲間がいない」、「一緒にする人に迷惑をかけないか不安」）。
- 「金銭的な余裕がない」については、競技用車いすなどの用具の購入や大会への参加など費用の負担が課題。
- 「どこでできるのかの情報がない」、「どんなことができるのかの情報がない」という情報不足も課題。

運動などの活動を行うときの問題や課題（複数回答）



札幌市障がい者の運動などの活動に関するアンケート調査（平成 27 年度）

運動を行えなかった・行う気がなかった理由（複数回答）

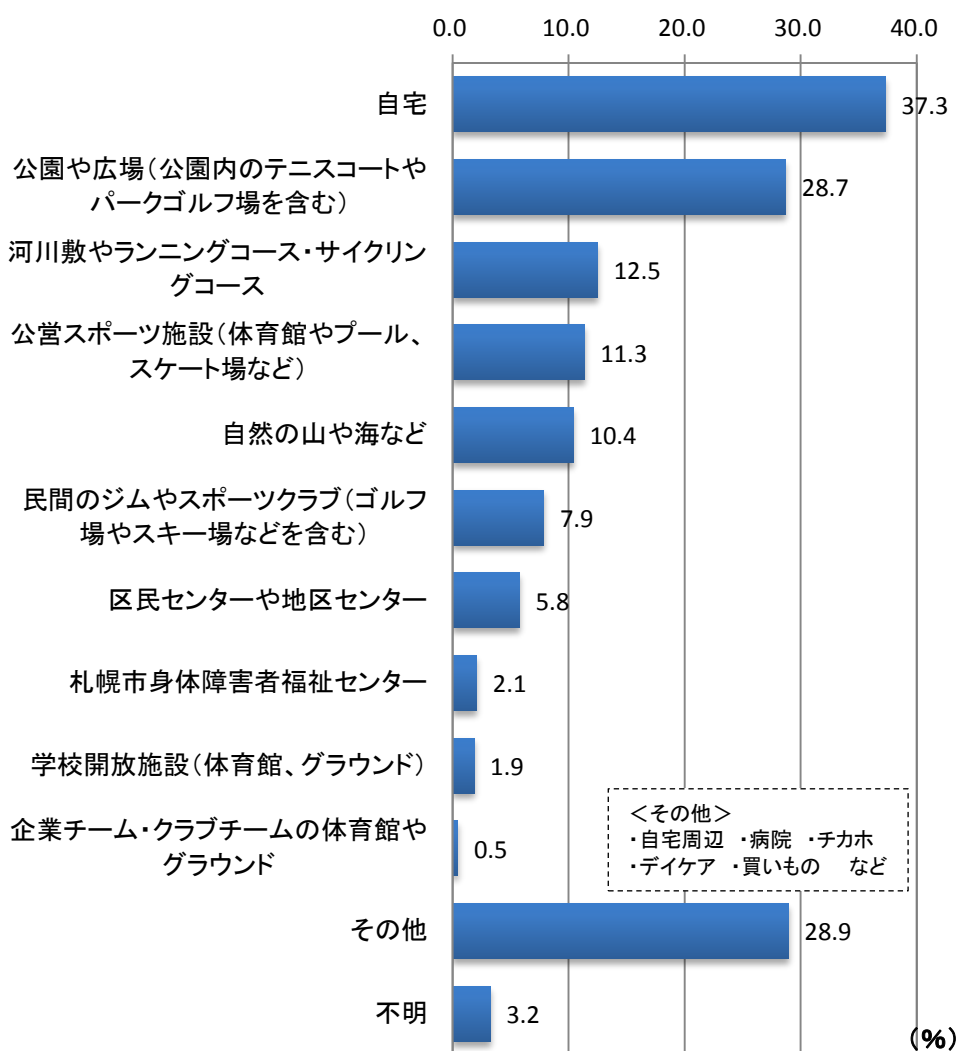


札幌市障がい者の運動などの活動に関するアンケート調査（平成 29 年度）

(6) スポーツを行う場所

- 「自宅」、「公園や広場」、「河川敷やランニングコース・サイクリングコース」が多い。「その他」は、「近所」、「自宅周辺の道路」、「買い物ついで」など。
- これらは、「散歩」、「ウォーキング」、「体操」を行う場所。
- 「公営スポーツ施設」に比べて「身体障害者福祉センター」、「学校開放施設」が少ない。
- 「身体障害者福祉センター」は市内に1か所しかないこと、「学校開放施設」は障がいのある人のスポーツの場として利用されていない現状による。
- 障がいのある人は、障がいのない人よりも移動が困難な場合が多く、身近にスポーツを行える場所が少ないことが課題。

運動などの活動を行う場所（複数回答）



札幌市障がい者の運動などの活動に関するアンケート調査（平成27年度）

参考：障がい者の市内スポーツ施設利用状況（平成28年度）

施設名	個人利用(延べ人数)							専利用用(延べ人数)		備考	教室受講者数
	障がい者				付添者	合計	割合	件数	利用者数		
	一般	高校生	高齢者	合計							
北区体育館	3,423	102	2,642	6,167	1,048	7,215	4.2%	3	29		91
東区体育館	2,780	12	1,900	4,692	470	5,162	4.0%	10	381		62
白石区体育館	3,728	42	1,895	5,665	1,315	6,980	4.6%	16	505		84
厚別区体育館	1,837	52	1,478	3,367	348	3,715	2.8%	9	200		65
豊平区体育館	1,309	9	972	2,290	627	2,917	3.0%	1	301		46
南区体育館	967	14	969	1,950	345	2,295	3.2%	1	11		50
西区体育館温水プール(体育館)	4,224	65	2,318	6,607	2,448	9,055	5.3%	10	550		71
西区体育館温水プール(プール)	4,075	120	3,739	7,934	2,859	10,793	7.7%	1	35	水泳サークル(1)	77
西区体育館温水プール(共通)	310	1	519	830	127	957	18.9%	0	0		-
手稲区体育館	1,859	20	1,742	3,621	847	4,468	3.3%	75	424		33
清田区体育館温水プール(体育館)	2,073	27	2,244	4,344	944	5,288	3.6%	0	0		106
清田区体育館温水プール(プール)	2,577	259	1,648	4,484	2,611	7,095	8.4%	0	0	水泳サークル(3)	61
清田区体育館温水プール(共通)	89		222	311	10	321	8.5%	0	0		-
中央体育館	693	25	214	932	19	951	1.4%	20	583		41
宮の沢屋内競技場	19		2	21	0	21	0.3%	2	40		1
白旗山競技場	-	-	-	0	-	-	-	0	0		0
中島体育センター	2,605	10	616	3,231	254	3,485	3.7%	28	316		42
体育館G	32,568	758	23,120	56,446	14,272	70,718	4.4%	176	3,375		830
厚別温水プール	3,792	216	3,093	7,101	2,635	9,736	7.4%	2	34	水泳サークル(3)	111
豊平公園温水プール	1,524	135	1,448	3,107	873	3,980	5.4%	0	0	水泳サークル(0)	91
平岸プール	5,538	174	3,968	9,680	3,410	13,090	8.5%	2	314	水泳サークル(10)	182
白石温水プール	1,131	20	908	2,059	681	2,740	5.3%	0	0	水泳サークル(0)	33
手稲曙温水プール	3,153	294	2,637	6,084	1,701	7,785	6.3%	0	0	水泳サークル(2)	122
東温水プール	3,707	332	3,486	7,525	2,764	10,289	7.2%	1	19	水泳サークル(3)	125
温水プールG	18,845	1,171	15,540	35,556	12,064	47,620	7.0%	5	367		664
美香保体育館(スケート場)	222	23	2	247	599	846	3.0%	9	40		0
美香保体育館(体育館)	66	8	11	85	67	152	1.8%	4	747		1
美香保体育館	288	31	13	332	666	998	2.7%	13	787		1
月寒体育館(体育室)	520	49	252	821	527	1,348	4.4%	-	-		10
月寒体育館(スケート場)	412	27	125	564	311	875	2.1%	0	0		1
月寒体育館(弓道場)	17	0	465	482	0	482	22.3%	4	118		0
月寒体育館(庭球場)	-	-	-	-	-	-	-	1	3		0
星置スケート場	89	4	0	93	92	185	1.5%	48	227		0
カーリング場	-	-	-	-	-	-	-	4	141		1
スケート施設G	1,038	80	842	1,960	930	2,890	3.3%	57	489		12
円山総合運動場	78	0	5	83	1	84	0.3%				1
麻生球場	-	-	-	-	-	-	-				0
厚別競技場(主競技場)	734	-	-	734	-	734	2.2%				0
厚別競技場(補助競技場)	42	-	-	42	-	42	1.0%				0
厚別競技場(トレーニングルーム)	739	-	-	739	-	739	5.7%				0
屋外競技場施設G	812	0	5	817	1	818	1.1%	0	0		1
つどいむ(屋内グラウンド)	4,521	103	970	5,594	2,599	8,193	9.9%	7	1,382		11
つどいむ(パークゴルフ場)	153	0	2,269	2,422	2	2,424	10.9%	-	-		-
つどいむ	4,674	103	3,239	8,016	2,601	10,617	10.1%	7	1,382		11
藤野野外スポーツ交流施設	3,098	-	-	3,098	-	3,098	4.6%	0	0		1
国際交流館(体育室)	849	14	387	1,250	533	1,783	6.7%	74	1,409		-
国際交流館(プール)	1,258	52	1,945	3,255	1,001	4,256	9.4%	0	0		-
国際交流館(総合)	0	0	0	0	0	0	0.0%	-	-		-
国際交流館	2,107	66	2,332	4,505	1,534	6,039	8.4%	74	1,409		0
合計	63,430	2,209	45,091	110,730	32,068	142,798	5.2%	332	7,809		1,520

- ・中学生以下の個人利用料は全て無料のため、障がい者の利用者数を集計していません。(藤野を除く)
- ・藤野の個人利用者数(一般)は中学生以下を含む全年代の合計です。(特別支援学級・障がい者団体39団体、1,000人など)
- ・厚別競技場の個人利用者数(一般)は障がい者数・付添者数の合計です。
- ・水泳サークル()内の数字は、定期的に利用しているサークル数を示します。人数は個人利用に計上しています。
- ・健康づくりセンターは障がい者の減額料金設定がないため集計していません。

参考：札幌市身体障害者福祉センター利用状況（平成26～28年度）

<利用人数・件数（体育館、卓球室）>

	平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	利用人数	利用件数	稼働率%	利用人数	利用件数	稼働率%	利用人数	利用件数	稼働率%
体育館	12,464	794	80.4	7,710	494	74.3	11,255	828	74.5
卓球室	5,167	377	38.2	5,266	407	41.0	4,881	407	43.3

※平成27年度は体育館改修工事のため利用件数減

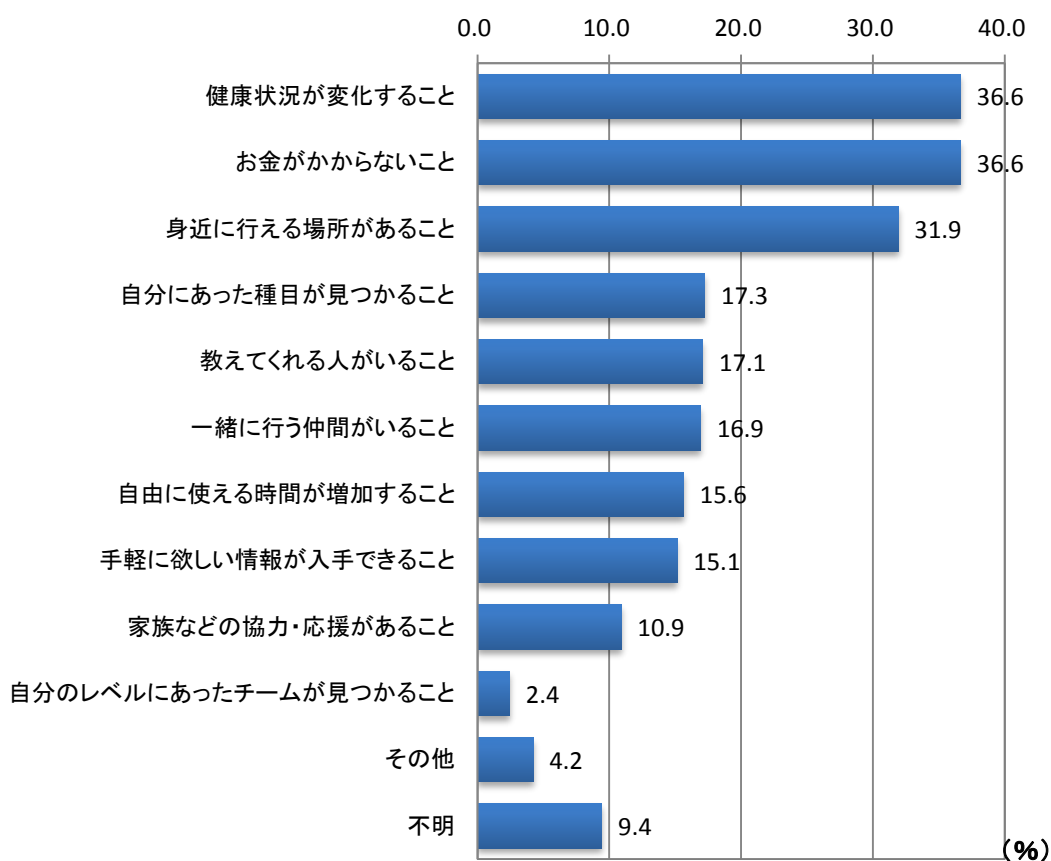
<スポーツ教室（卓球、アーチェリー、水泳）実施状況>

事業名			平成26年度		平成27年度		平成28年度	
			実施回数	延べ人数	実施回数	延べ人数	実施回数	延べ人数
講習会	スポーツ教室	卓球教室	24	217	24	283	24	315
		アーチェリー教室	21	134	23	183	23	194
		水泳教室	22	120	38	236	40	257

(7) スポーツを行うために重要だと思うこと

- 割合が高い回答に、これまでに述べてきた課題が現れている。
- 「お金がかからないこと」は、競技用車いすなどの用具の購入や大会への参加など費用の負担の課題。
- 「身近に行える場所があること」は、障がいのある人は、障がいのない人よりも移動が困難な場合が多く、身近にスポーツを行える場所が少ないことの課題。
- 「自分にあった種目が見つかること」、「教えてくれる人がいること」、「一緒に行う仲間がいること」は、障がいの種類や程度に応じたスポーツを行える場所がないこと、個々の状態に応じた指導・介助を受けられないこと、障がいのある人とない人が一緒にスポーツを行う機会が少ないことの課題。
- 「手軽にほしい情報が入手できること」は、情報不足の課題。

今以上に運動などの活動を行う上で重要だと思うこと（複数回答）

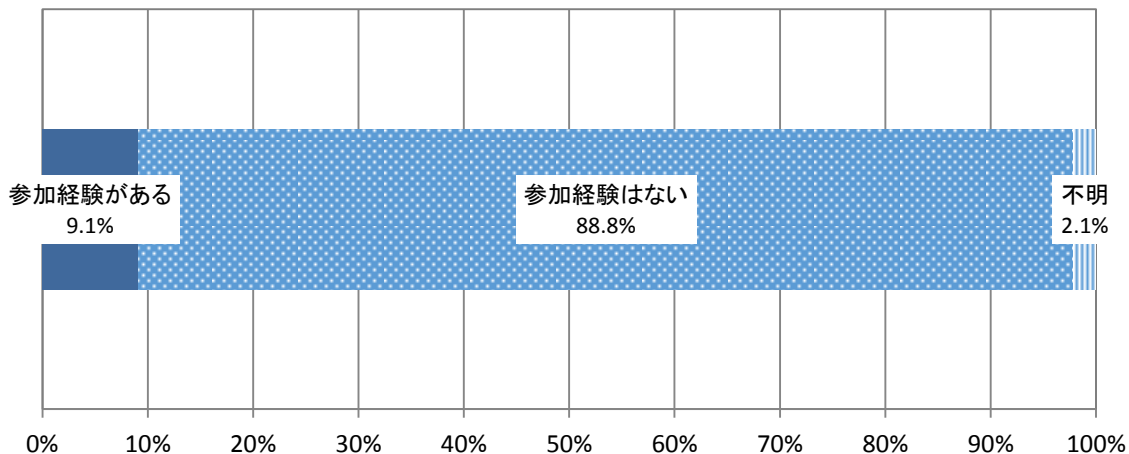


札幌市障がい者の運動などの活動に関するアンケート調査（平成 27 年度）

(8) 障がい者スポーツ体験会・競技教室への参加

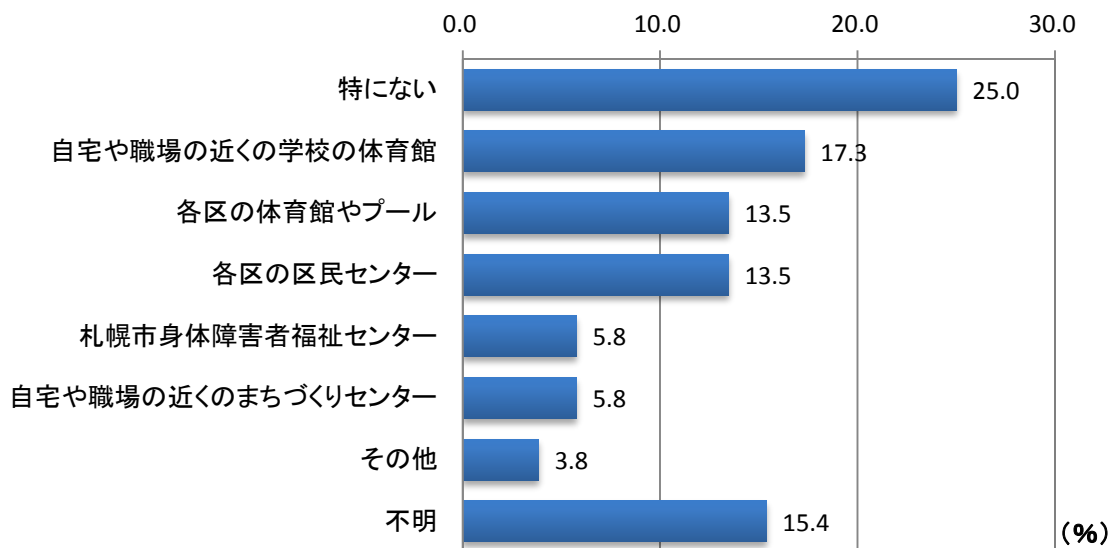
- 「参加経験がある」人は9.1%と少ない
- 自宅や職場の近くの学校・体育館での体験の機会を提供することが課題。

障がい者スポーツ体験会・競技教室への参加経験



札幌市障がい者の運動などの活動に関するアンケート調査（平成29年度）

希望する障がい者スポーツの体験会や協議教室の開催場所



札幌市障がい者の運動などの活動に関するアンケート調査（平成29年度）

2-2 札幌市における障がい者スポーツの課題

平成 27 年度～平成 29 年度に開催した「札幌市障がい者スポーツの普及促進のあり方に関する検討会議」では、2-1 の課題に加え、次のような課題が示された。

- 障がい者スポーツの体験会などのイベントのほかに、日常的にスポーツに取り組める場が不足している。
- 体育館やグラウンドなどの練習場所の確保が難しい。
- 若年層の新規参加が少なく、競技者の高年齢化が進んでいる。
- 若年層について在学中にスポーツに接する機会が少ない、また卒業後にスポーツを続けるための情報や機会がないなどにより、競技人口が減少している。
- 障がい者スポーツ指導員の不足（市内の障がい者スポーツ指導員数は約 300 人）。
- 障がいに関する知識と競技種目に関する知識を併せ持った指導員の不足。
- 実際の指導員の活動内容が専門性を伴わない単なる補助用務であるなど、指導員の活動ニーズに応じた活動の場が少ない。
- 競技人口の影響などから、競技種目による競技団体の運営体制や指導員、大会運営などの差が大きい。
- 行政や関係団体における連携が不十分であり、障がい者スポーツを支える体制が脆弱である。
- これらに共通して、障がい者スポーツに関する様々な情報が不足していること、市民の障がい者や障がい者スポーツに対する理解が十分ではないことが課題である。

2-3 現状と課題(まとめ)

- 札幌市における障がいのある人のスポーツ実施率（週に1回以上運動を行った割合）は高い数値を示しているが、その大部分は、全ての年代において散歩やウォーキング、体操（ラジオ体操、なわとびなど）などの軽運動であり、競技スポーツはあまり行われていない。
- 健康・体力の保持増進や余暇活動の充実という意味で、散歩などの果たす役割は大きいが、これらの軽運動については、すでに多くの障がいのある人が行っており、一定程度普及していると考えられる。また、場所や時間を選ばず一人でも取り組むことができるため、環境整備の必要性は低い。
- その一方で、競技スポーツの実施率は非常に低く、その原因は、障がいのある人がスポーツができる場所がない、障がいのある人とない人が一緒にスポーツを行う機会が少ない、健康面での不安、指導者の不足、競技に取り組むための費用負担、障がい者スポーツに関する情報の不足、競技者の減少と高齢化、障がい者スポーツを支える体制が脆弱であるなど多岐に渡っている。
- 障がい者スポーツに対する関心が高まっている中、冬季オリンピック・パラリンピックの招致を表明した札幌市において、障がい者スポーツを普及促進していくには、競技スポーツに取り組むことができる環境を整えていくことがより重要と考えられる。
- そこで、続く第3章以下では、関係団体や行政がどのような取り組みを進めていく必要があるかについて述べる。

<コラム:スポーツ実施率と「散歩」について>

今回の調査の結果、過去一年間に週一回以上運動を行ったものの割合が、約 45%とスポーツ庁の全国調査結果(約 2 割)より高い割合で実施していることが示された。またその半数以上が「散歩」を、次いで「ウォーキング」を行ったと回答するなど、札幌市ではより多くの障がい者が、「歩いている」様子がうかがわれる。この数値を見ると、札幌市の障がい者は、全国平均より、「より活動的に」歩いていると言え、積極的な活動参加の状況は評価すべきものと言って良いだろう。

全国調査との違いの要因はいろいろと考えられるが、全国調査がネット調査であること、それに関連して回答者がいわゆる生産年齢の 65 歳以下の割合が多かったのに対し、札幌市の調査では 60 歳以上が半数以上を占めるなど、非就業者数の割合が高かったことが挙げられるのではないだろうか。この結果は、全国調査に比して、より実態に即した調査だったと言えるかもしれない。そこから見えるものは、「非就業」ということで「家に閉じこもりがちな障がい者」が、身体を動かそうと、近所(自宅周辺が約 4 割)を散歩している姿である。高齢化とともに体力低下も進む(健康状況が悪い・体力が無いが約 5 割)という厳しい状況の中であって、なんとか身体を動かそうとしている(健康維持増進のために運動を行う:65%)様子がうかがわれる。

さて散歩やウォーキングなどの「歩く活動」については、多様な効果があることが知られている。呼吸・循環器系の刺激はもちろん、下肢を中心にした筋力の維持・向上にもつながる(車いす利用の場合は上肢)。また外気に触れることによる気圧(風圧)や気温の変化は、皮膚感覚への刺激となる。さらに気分転換やストレス解消などの効果のほか、外出に伴い地域の人と接することで、コミュニケーションや社会参加の機会にも繋がるなど、心理・社会的効果も期待できる。また歩くルートや行き先を考えたり、帰る時間を予測したりするなどの活動は、空間認知や時間の概念と言った認知的能力の維持・向上などにもつながる。まさに総合的なスポーツ・身体活動としての効果が期待できるのである。ただし、より質の高い「歩き」を実現するためには、様々な工夫も必要となる。

スポーツ先進国と知られるドイツでは、障がい児者についても多種多様なスポーツ活動が行われている。例えば「歩く活動」についてもスポーツクラブとして活動が行われているケースもある。ドイツ北部のニーダーザクセン州にある「お楽しみ運動クラブ」で行われている「歩く」活動では、夕方に仕事や学校が終わった障がいのある人々や在宅生活を送るメンバーが集まり、支援者(スポーツ指導員やボランティアなど)とともに街の散歩コースを楽しんでいる。気のおけない仲間が集まり、たわいもないおしゃべりをしながら、小一時間「歩くだけ」の活動ではあるが、そこには多様な効果が生まれているのがわかる。自宅のそばとはいえ、仲間との出会いを楽しみに、集合の時間や場所に行くという活動から始まり、コースを考えたり景色を楽しんだりしながら、日頃のストレスを発散している様子が伝わってくる。

札幌市の「歩く活動」も、「体力の維持・増進のために、近所の散歩を行う」という気持ちは評価しつつ、本人はもとより多くの住民・支援者が、その多様な効果や意味を自覚することで、より質の高い歩き(決して、早くと言う意味では無く)を実現できるような活動につなげていくことが求められるのではないだろうか。そのためには、今後とも人的・環境的整備を進めることが期待される。

(北海道教育大学 教授 安井友康)

第3章 プログラムの方向性

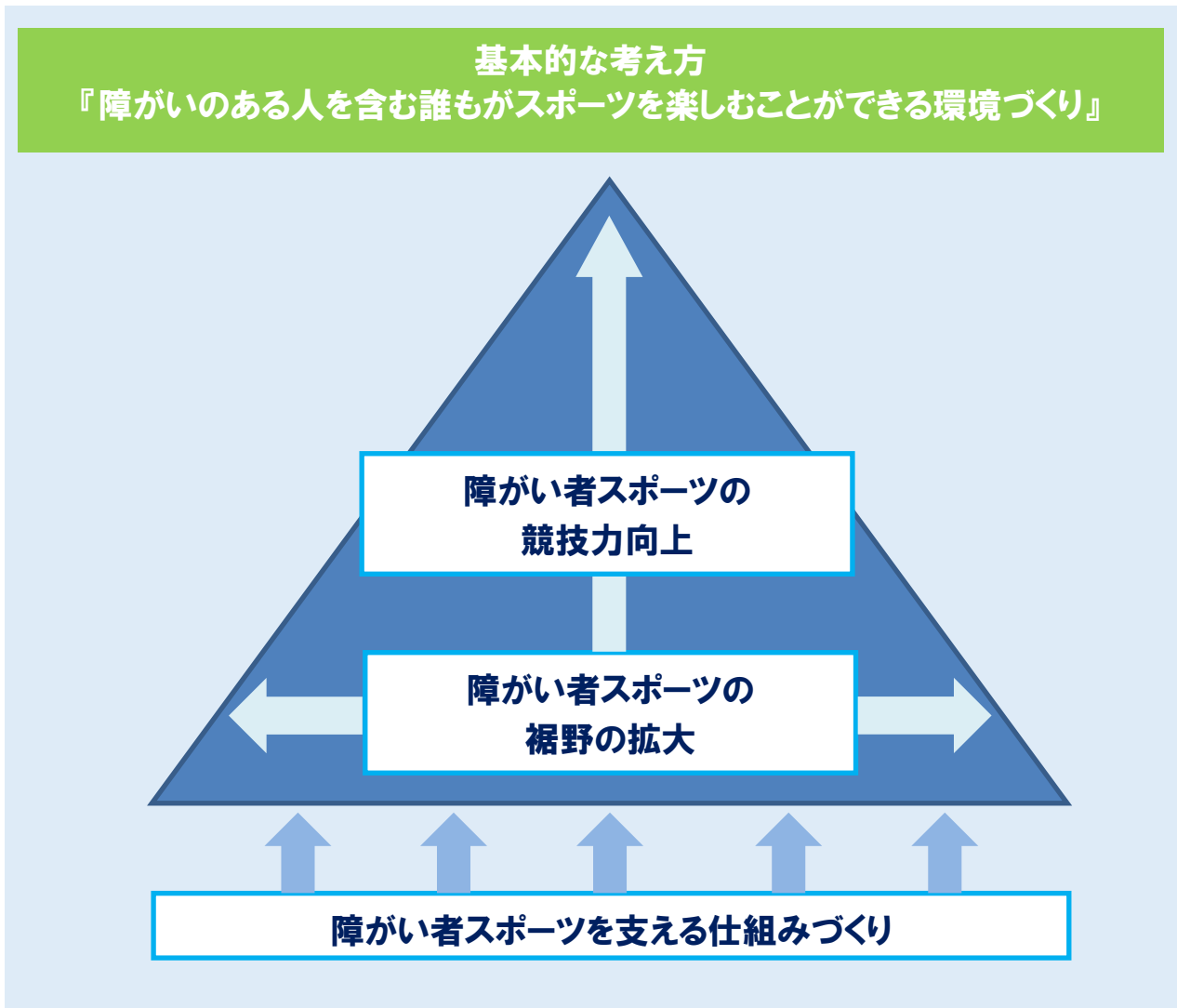
3-1 基本的な考え方

- スポーツには心身の健康づくり、楽しみ、運動不足の解消などの効果がある。障がいのある人にとっては、それらに加えて、外出機会の増加や社会参加につながる効果がある。
- 中でも障がい者スポーツは、実施する人に合わせてルールや用具を工夫して行うものであり、障がいの有無に関わらず、ともに楽しむことができる新しいスポーツとして広がる可能性を持っている。
- また、全ての人に分け隔てなくスポーツに親しむことで、障がいのある人への理解・共感・敬意が生まれ、心のバリアフリーや共生社会の実現につながっていく。
- こうしたことから、共生社会の実現を目指す札幌市においては、「障がいのある人を含む誰もがスポーツを楽しむことができる環境づくり」を基本的な考え方として、障がい者スポーツの普及促進を進めていくことが必要である。

3-2 プログラムの方向性

- 障がい者スポーツの普及促進のためには、まず、障がい者スポーツの競技人口の拡大、すなわち「障がい者スポーツの裾野の拡大」が必要である。また、地元からトップ層の障がい者スポーツ選手が生まれることで、人は感動や憧れを抱き、関心の向上・競技人口の拡大へとつながることから、「障がい者スポーツの競技力向上」もまた同時に必要である。
- これら2つの方向性に加え、札幌市には、第2章で示したとおり「組織体制が脆弱」「市民の障がい者スポーツに対する理解が不十分」という課題があることから、「障がい者スポーツを支える仕組みづくり」を3つ目の方向性として定めることとする。
- そのほかに、札幌市には障がい者スポーツの普及促進を妨げる「障がい者スポーツの体験機会が少ない」「競技に取り組むための費用負担が重い」「指導者不足」などの課題もある。そのため、今後障がい者スポーツの普及促進を通じて共生社会の実現につなげていくには、これらの課題を踏まえた具体的な取り組みを進めていくことが必要である。

<展開イメージ>



<方向性ごとの課題整理>

方向性1 障がい者スポーツの裾野の拡大

- ◆ 障がいのある人がスポーツができる場の不足
- ◆ 体育施設等への移動の問題
- ◆ 障がい者スポーツ体験イベント以外の体験機会の少なさ
- ◆ 障がいのある人とない人が一緒にスポーツを行う機会の不足
- ◆ 健康面での運動に対する不安(体力、ケガなど)

方向性2 障がい者スポーツの競技力向上

- ◆ 競技に取り組むための費用負担(用具・練習にかかる経費、大会の遠征費用等)
- ◆ 体育施設等、練習場所確保が困難
- ◆ 学校卒業後の本格的なスポーツ実施機会・場所の不足
- ◆ 障がい者へのスポーツ指導・競技知識を兼ね備えた指導者の不足
- ◆ 指導者資格取得者の活動ニーズと実際の活動内容のミスマッチ
- ◆ 競技者の減少と高齢化

方向性3 障がい者スポーツを支える仕組みづくり

- ◆ 障がい者スポーツを支える体制が脆弱
- ◆ 障がい者スポーツに関する情報の不足
- ◆ 市民の障がい者スポーツに対する理解が不十分

第4章 課題解決に向けたプログラム

方向性1 障がい者スポーツの裾野の拡大

解決すべき課題

- ◆ 障がいのある人がスポーツができる場の不足
- ◆ 障がい者スポーツ体験イベント以外の体験機会の少なさ
- ◆ 体育施設等への移動の問題

課題解決に向けた 具体的なプログラム案

1-1 障がい者スポーツに触れる機会・場所の創出

★既存スポーツ施設を活用した障がい者スポーツの場の拡充（障がい者スポーツ専用学校開放・各区体育館・各区区民センター・冬季スポーツ施設等の活用）

[さっぽろ健康スポーツ財団・民間企業・公的団体・学校等（幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、専門学校）・札幌市]

※可能な限り常設化を図る。

◇スポーツ施設以外の施設やオープンスペースを活用した障がい者スポーツの場の創出

[札幌市障がい者スポーツ協会・札幌市体育協会・民間企業・公的団体・札幌市]

※可能な限り常設化を図る。

★上記の場への障がい者スポーツ体験用の競技用具の配置

[さっぽろ健康スポーツ財団・札幌市障がい者スポーツ協会・札幌市]

★障がい者スポーツをはじめるきっかけとなる体験イベントや競技教室の開催

[札幌市障がい者スポーツ協会・さっぽろ健康スポーツ財団・札幌市障がい者スポーツ指導者協議会・スポーツ推進委員会・札幌市]

◇障がいのある人が利用しやすいスポーツ施設の整備（既存スポーツ施設のバリアフリー化や観戦環境の整備など）

[札幌市・公的団体]

★:優先して取り組むプログラム

解決すべき課題

- ◆ 障がいのある人とない人が一緒にスポーツを行う機会の不足
- ◆ 健康面での運動に対する不安（体力、ケガなど）

課題解決に向けた 具体的なプログラム案

1-2 障がい者スポーツを地域で行う仕組みづくり

★障がいのある人とない人が一緒に楽しめる障がい者スポーツの体験イベントや教室の実施

[札幌市障がい者スポーツ協会・さっぽろ健康スポーツ財団・札幌市障がい者スポーツ指導者協議会・スポーツ推進委員会・札幌市体育協会・体育振興会・札幌市]

★地域での障がい者スポーツの体験イベントや教室をコーディネートできる人材の確保

[スポーツ推進委員会・札幌市障がい者スポーツ協会・札幌市障がい者スポーツ指導者協議会・札幌市]

★障がいのある人への指導と競技知識の両方を持った障がい者スポーツ指導員の養成

[札幌市体育協会・札幌市障がい者スポーツ協会・札幌市障がい者スポーツ指導者協議会・札幌市]

◇障がい者スポーツの体験イベントや大会等に継続的に参画するボランティアの確保
[さっぽろグローバルスポーツコミッション・札幌市障がい者スポーツ協会・さっぽろ健康スポーツ財団・札幌市障がい者スポーツ指導者協議会・札幌市]

1-3 学校教育の場で障がい者スポーツに触れる機会の充実

★総合的な学習の時間等を活用した障がい者スポーツの体験機会の提供

[札幌市障がい者スポーツ協会・教育委員会・札幌市]

★小中学校への障がい者スポーツ選手の派遣

[札幌市障がい者スポーツ協会・教育委員会・札幌市]

★全ての学校に対し障がい者スポーツに関する情報を提供

[札幌市障がい者スポーツ協会・教育委員会・札幌市]

方向性2 障がい者スポーツの競技力向上

解決すべき課題

- ◆ 競技に取り組むための費用負担（用具、練習にかかる経費、大会等の遠征費用）
- ◆ 体育施設等、練習場所確保が困難
- ◆ 学校卒業後の本格的なスポーツ実施機会・場所の不足



課題解決に向けた 具体的なプログラム案

2-1 大会参加を目指す障がい者スポーツ選手が競技に取り組むための 環境整備

★既存スポーツ施設を活用した障がい者スポーツの場の拡充（障がい者スポーツ専用学校開放・各区体育館・各区区民センター・冬季スポーツ施設等の活用）

[さっぽろ健康スポーツ財団・民間企業・公的団体・学校等（幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、専門学校）・札幌市]※再掲

※可能な限り常設化を図る。

◇障がいのある人が利用しやすいスポーツ施設の整備（既存スポーツ施設のバリアフリー化や観戦環境の整備など）※再掲

[札幌市・公的団体]

◇障がい者スポーツ選手への補助制度（用具購入・大会参加費等）の確立

[札幌市・札幌市障がい者スポーツ協会・札幌市体育協会・民間企業]

★：優先して取り組むプログラム

解決すべき課題

- ◆ 障がいのある人へのスポーツ指導・競技知識を兼ね備えた指導者の不足
- ◆ 指導者資格取得者の活動ニーズと実際の活動内容のミスマッチ
- ◆ 競技者の減少と高齢化



課題解決に向けた 具体的なプログラム案

2-2 障がい者スポーツ選手および指導者の育成

★障がいのある人への指導と競技知識の両方を持った障がい者スポーツ指導員の養成

[札幌市体育協会・札幌市障がい者スポーツ協会・札幌市障がい者スポーツ指導者協議会・札幌市]※再掲

★障がい者スポーツをはじめるきっかけとなる体験イベントや競技教室の開催

[札幌市障がい者スポーツ協会・さっぽろ健康スポーツ財団・札幌市障がい者スポーツ指導者協議会・スポーツ推進委員会・札幌市]※再掲

★全ての学校に対し障がい者スポーツに関する情報を提供

[札幌市障がい者スポーツ協会・教育委員会・札幌市]※再掲

◇障がい者スポーツ指導者と障がい者スポーツ選手・競技団体とのマッチング支援

(活動機会の提供)

[札幌市障がい者スポーツ協会・札幌市障がい者スポーツ指導者協議会・札幌市体育協会]

★:優先して取り組むプログラム

方向性3 障がい者スポーツを支える仕組みづくり

解決すべき課題

- ◆ 障がい者スポーツを支える体制が脆弱

課題解決に向けた 具体的なプログラム案

3-1 障がい者スポーツを支える体制の強化

★障がい者スポーツの所管一元化を含めた障がい福祉・スポーツ部局の連携・協働体制整備

[札幌市]

★障がいのある人への指導と競技知識の両方を持った障がい者スポーツ指導員の養成

[札幌市体育協会・札幌市障がい者スポーツ協会・札幌市障がい者スポーツ指導者協議会・札幌市]※再掲

◇障がい者スポーツの国際大会の誘致・大会運営ノウハウの共有

[札幌市・札幌市体育協会・札幌市障がい者スポーツ協会]

◇障がいのない人のスポーツ大会と障がい者スポーツ大会の連携

[札幌市・札幌市体育協会・札幌市障がい者スポーツ協会]

◇障がい者スポーツ関係団体の連携強化

[札幌市障がい者スポーツ協会・札幌市障がい者スポーツ指導者協議会]

◇障がい者スポーツ関係団体と障がいのない人のスポーツ関係団体の融合

[札幌市体育協会・札幌市障がい者スポーツ協会・札幌市障がい者スポーツ指導者協議会]

◇障がい者スポーツを支援したい企業と障がい者スポーツ団体・アスリートとのマッチング

[札幌市・札幌市障がい者スポーツ協会・札幌市障がい者スポーツ指導者協議会]

◇障がい者スポーツの体験イベントや大会等に継続的に参画するボランティアの確保

[さっぽろグローバルスポーツコミッション・札幌市障がい者スポーツ協会・さっぽろ健康スポーツ財団・札幌市障がい者スポーツ指導者協議会・札幌市]※再掲

★:優先して取り組むプログラム

解決すべき課題

- ◆ 障がい者スポーツに関する情報の不足



課題解決に向けた
具体的なプログラム案

3-2 障がい者スポーツに関する情報発信強化と相談体制の整備

★市内体育施設・スポーツ団体等のホームページ等での障がい者スポーツに関する情報発信強化

[さっぽろ健康スポーツ財団・札幌市障がい者スポーツ協会・札幌市障がい者スポーツ指導者協議会・札幌市体育協会・札幌市]

◇障がい者スポーツに関する総合的な相談窓口の整備

[札幌市障がい者スポーツ協会]

★:優先して取り組むプログラム

- ◆ 市民の障がい者スポーツに対する理解が不十分



課題解決に向けた
具体的なプログラム案

3-3 市民・企業の障がい者スポーツに対する理解促進・支援

★総合的な学習の時間等を活用した障がい者スポーツの体験機会の提供

[札幌市障がい者スポーツ協会・教育委員会・札幌市]※再掲

★小中学校への障がい者スポーツ選手の派遣

[札幌市障がい者スポーツ協会・教育委員会・札幌市]※再掲

★障がい者スポーツをはじめるきっかけとなる体験イベントや競技教室の開催

[札幌市障がい者スポーツ協会・さっぽろ健康スポーツ財団・札幌市障がい者スポーツ指導者協議会・スポーツ推進委員会・札幌市]※再掲

◇各区体育館やスポーツイベントでの障がい者スポーツコーナーの設置

[さっぽろ健康スポーツ財団・札幌市障がい者スポーツ協会・札幌市障がい者スポーツ指導者協議会・札幌市]

◇障がい者スポーツの国際大会の誘致（観戦による理解促進）

[札幌市体育協会・札幌市障がい者スポーツ協会・札幌市]

◇障がいのない人のスポーツ大会と障がい者スポーツ大会の連携

[札幌市・札幌市体育協会・札幌市障がい者スポーツ協会]※再掲

★：優先して取り組むプログラム

第5章 プログラムの推進に向けて

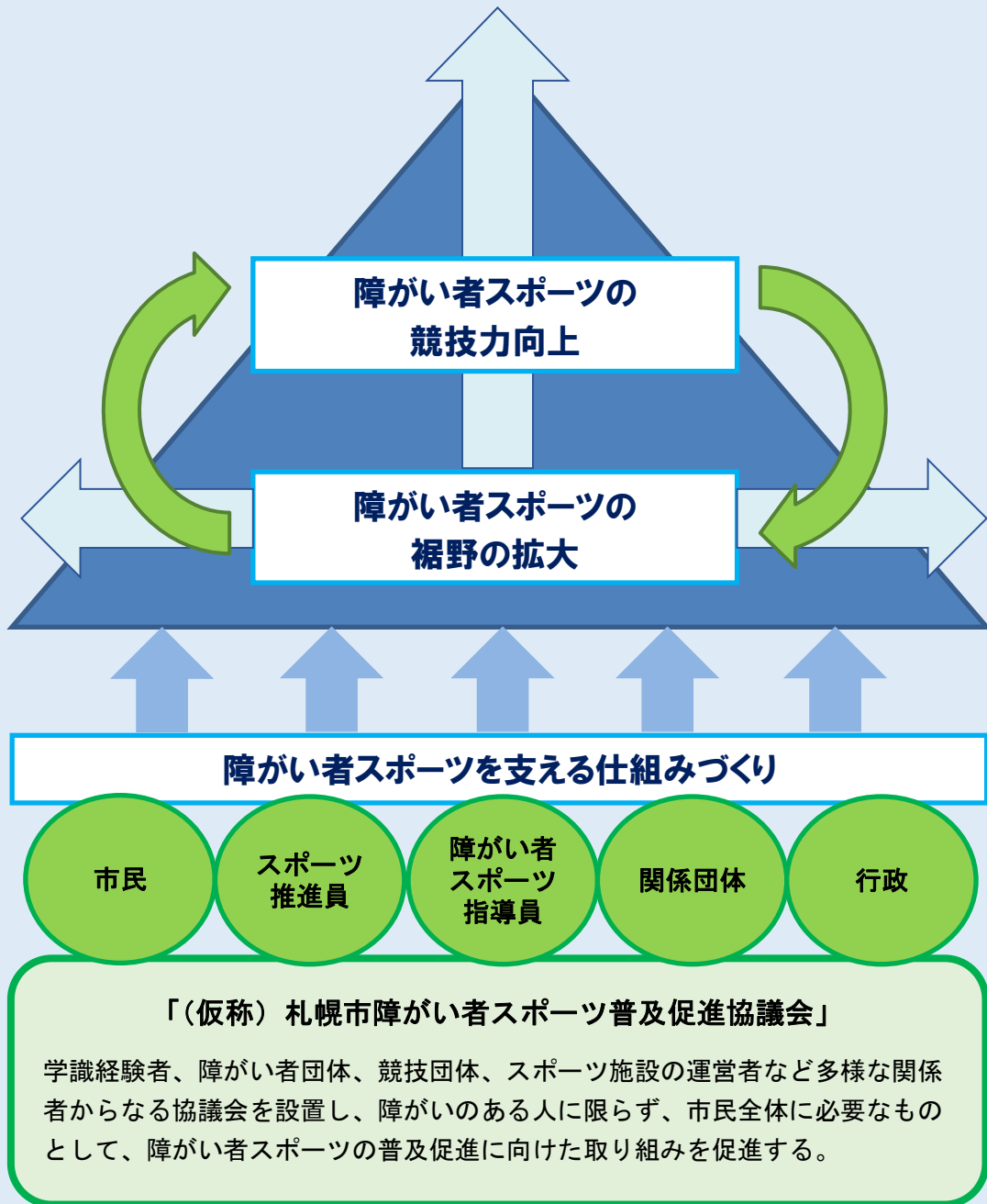
- 障がいのある人を含む誰もがスポーツを楽しむことができる環境づくりを進めるには、市民、関係団体、行政等が協働し、障がい者スポーツの普及促進に取り組んでいく必要がある。それぞれの主な役割は以下のとおり。

【主な役割】

- ・ 市民：地域で行われる障がい者スポーツへの参加等を通じて理解を深め、応援やボランティアなど、それぞれのやり方で障がい者スポーツに関わっていく。
 - ・ 関係団体（札幌市障がい者スポーツ協会、さっぽろ健康スポーツ財団、札幌市体育協会など）：指導者の養成や関係団体の連携強化、選手の発掘・育成、大会の運営等を通じた競技力向上に向けた取り組みを行うほか、障がい者スポーツに関する機会・情報等の提供を通じた市民の障がい者スポーツへの理解促進を行う。
 - ・ 行政：用具・大会参加費等の支援や、市内施設（体育施設、学校等）での障がい者スポーツの体験機会や活動の場の提供、障がい者スポーツに関する機会・情報等の提供を通じた市民の障がい者スポーツへの理解促進を行う。
- 障がい者スポーツの裾野の拡大は競技力向上に、競技力向上は裾野の拡大にと、好循環を生み出す。また、その好循環を支えるには、土台となる仕組みをつくり、拡大していくことが必要である。こうした仕組みに多くの人々が参画していくことによって、障がい者スポーツの継続的な普及促進につながっていく。
 - また、誰もがスポーツを楽しめる環境づくりを進めていくことは、結果としてスポーツの分野だけではなく、福祉・観光などの分野も含め、都市の魅力を高めていくことにもつながるものであり、障がいのある人に限らず、市民全体に必要なものとして、障がい者スポーツの普及促進を進めていくことが重要である。
 - そのため、本プログラムの推進に当たっては、学識経験者をはじめ、障がいのある人を支える障がい者団体や、専門的知識を持つ競技団体、スポーツの場となる施設の運営者など、多様な関係者からなる「(仮称)札幌市障がい者スポーツ普及促進協議会」を設置し、具体的な取り組みを進めていくことが必要である。

<イメージ図>

『障がいのある人を含む誰もがスポーツを楽しむことができる環境づくり』



参考資料1 障がい者スポーツの普及促進のあり方に関する検討会議について

● 委員名簿

浅香 博文 一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会会長
池上 修次 市立札幌みなみの杜高等支援学校校長
坪田 敏男 札幌市スポーツ推進委員会会長
二木 一重 一般財団法人さっぽろ健康スポーツ財団理事長
野坂 政司 一般財団法人札幌市体育協会副会長
安井 友康 北海道教育大学札幌校教授（座長）

（五十音順、敬称略）

● 開催経過

平成 27 年度

第 1 回 平成 27 年 7 月 30 日
第 2 回 平成 27 年 11 月 20 日
第 3 回 平成 28 年 1 月 28 日

平成 28 年度

第 1 回 平成 28 年 5 月 26 日
第 2 回 平成 28 年 8 月 22 日
第 3 回 平成 28 年 11 月 21 日
第 4 回 平成 29 年 1 月 27 日

平成 29 年度

第 1 回 平成 29 年 7 月 3 日
第 2 回 平成 29 年 9 月 22 日
第 3 回 平成 29 年 12 月 22 日
第 4 回 平成 30 年 3 月 22 日

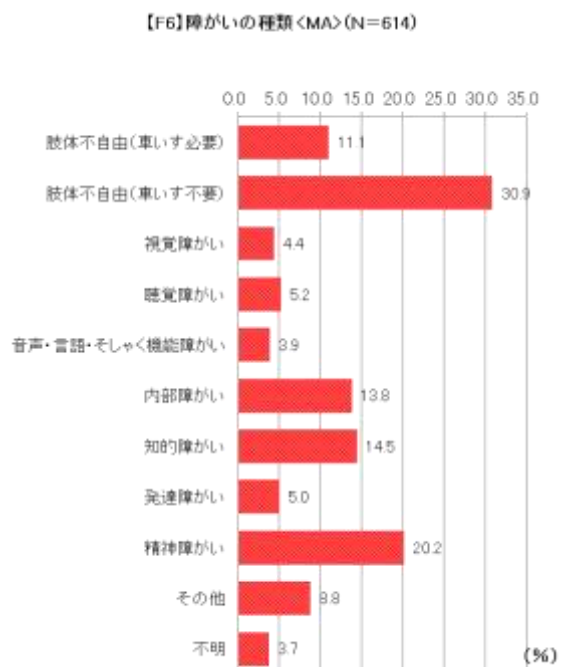
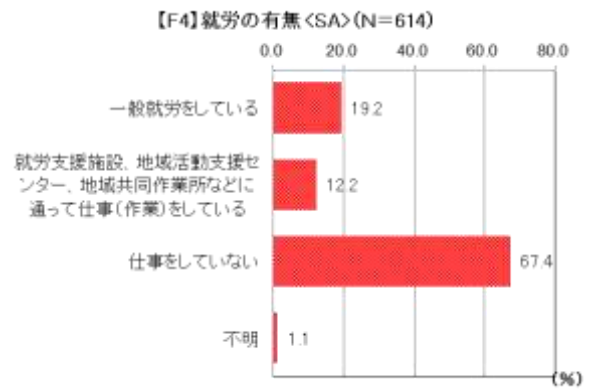
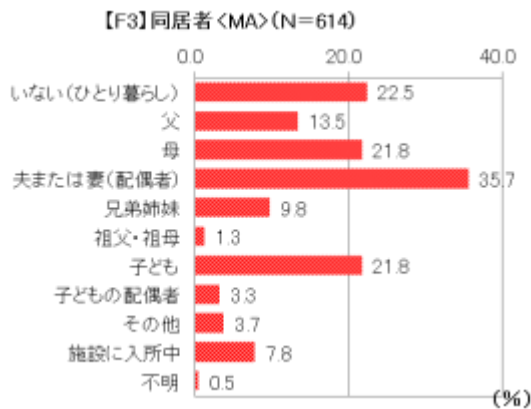
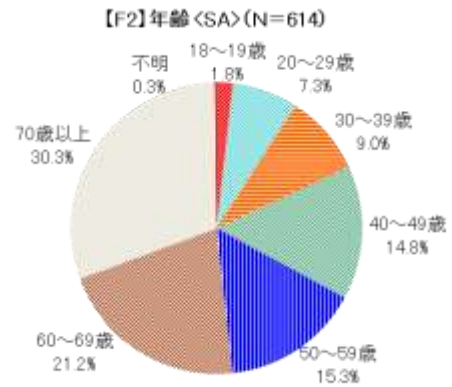
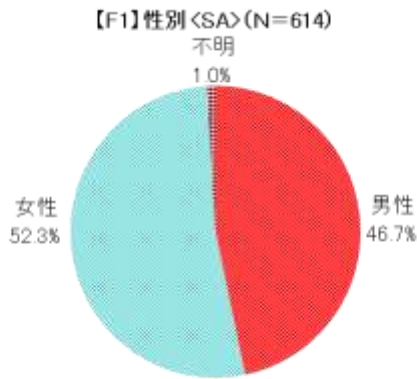
参考資料2 アンケート調査結果概要

1. 平成 27 年度障がい者の運動などの活動に関するアンケート調査

<調査概要>

- 調査方法
郵送によるアンケート調査
- 調査対象者
札幌市内在住の身体、知的、精神障がい別 18 歳以上の男女個人
- 発送数
1,000 名（身体：650 名、知的：150 名、精神：200 名）
- 回収数
614 名（身体：415 名、知的：103 名、精神：127 名）
※障がい者手帳の種類に基づく（複数所持の場合あり）→回収率：61.4%
- 調査実施期間
平成 27 年 11 月 24 日～12 月 15 日

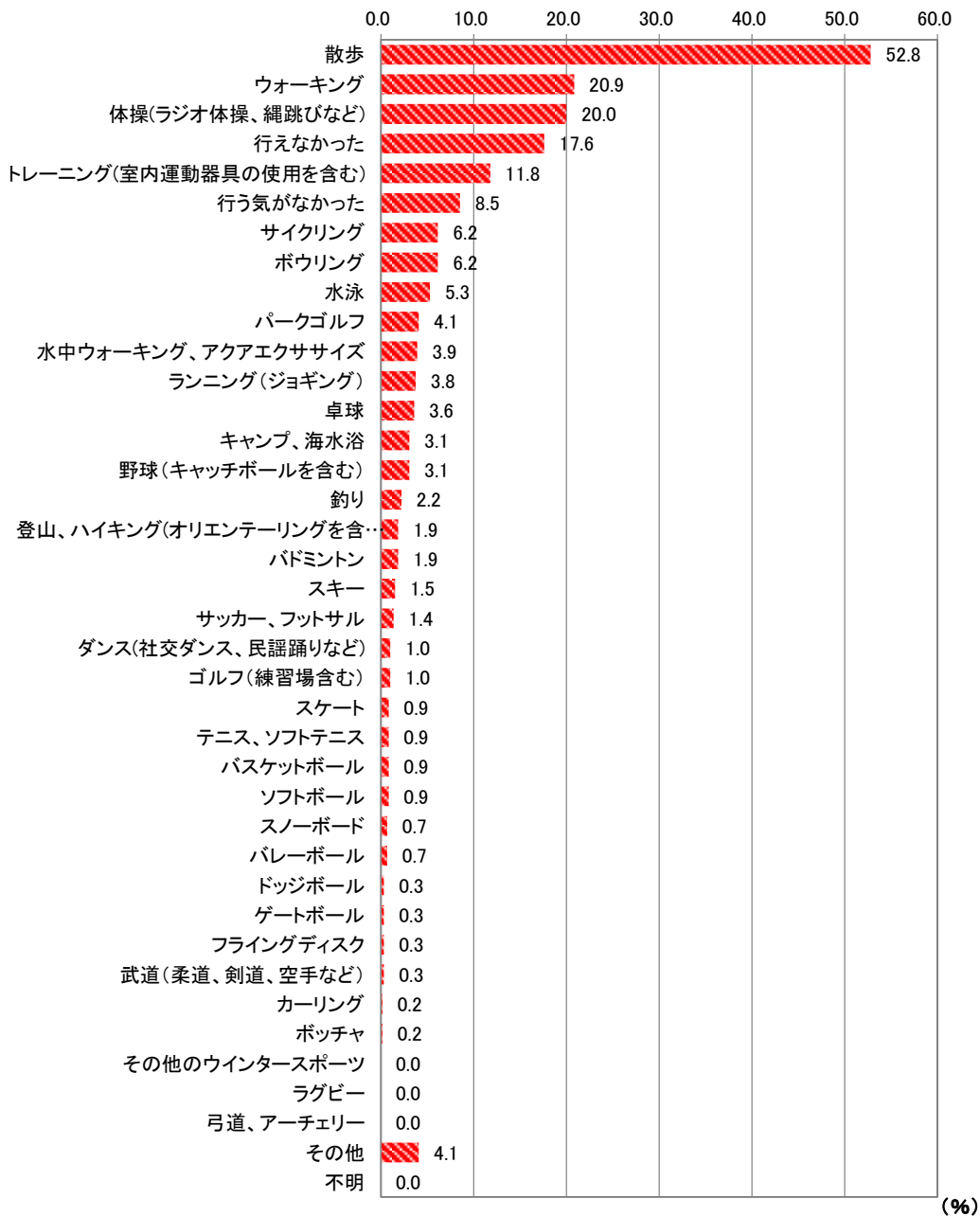
<回答者属性> ※SA=単数回答 MA=複数回答（注記がない場合はあてはまるもの全て）



<結果概要>

- 過去1年以内に行った運動は「散歩」「ウォーキング」「体操」が多い
 - 過去1年以内に行った運動の種類を見ると、「散歩」が52.8%で最も多く過半数を占めている。
 - 障がい者手帳の種類別で見ると、全般的に障がいの程度が重くなるにつれて運動を「行えなかった」割合は高くなっている。また、「療育手帳 A」を持っている方の「水泳」の割合が他と比べて高くなっている。
 - 障がいの種別では、「肢体不自由（車いす必要）」の「行えなかった」の割合が61.0%と他と比べて非常に高くなっている。また、「知的障がい」で「水泳」の割合が20.9%と他と比べて高くなっている。

過去1年以内に行った運動<MA>(N=585)



過去 1 年以内に行った運動×障がい者手帳の種類

(%)

	散歩	ウォーキング	ランニング(ジョギング)	サイクリング	トレーニング(室内運動器具の使用を含む)	体操(ラジオ体操、縄跳びなど)	ダンス(社交ダンス、民謡踊りなど)	登山、ハイキング(オリエンテーリングを含む)	スキー	スノーボード	スケート	カーリング	その他のウィンタースポーツ	釣り	キャンプ、海水浴	水泳	水中ウォーキング、アクアエクササイズ	卓球	バドミントン
全体(N=577)	53.0	21.1	3.8	6.2	11.8	20.1	1.0	1.9	1.6	0.7	0.9	0.2	-	2.3	3.1	5.4	4.0	3.6	1.9
身体障害者手帳1級(N=128)	52.3	16.4	2.3	2.3	14.1	18.0	-	2.3	1.6	-	-	-	-	0.8	3.1	3.9	2.3	1.6	-
身体障害者手帳2級(N=66)	40.9	10.6	3.0	1.5	9.1	16.7	-	-	-	-	1.5	-	-	-	1.5	-	1.5	4.5	3.0
身体障害者手帳3級(N=59)	45.8	10.2	1.7	10.2	11.9	16.9	1.7	1.7	1.7	-	-	-	-	1.7	1.7	3.4	3.4	1.7	-
身体障害者手帳4級(N=98)	56.1	27.6	2.0	7.1	15.3	32.7	1.0	2.0	-	-	-	-	-	5.1	2.0	7.1	10.2	3.1	1.0
身体障害者手帳5級(N=24)	58.3	33.3	8.3	4.2	16.7	16.7	4.2	-	8.3	-	4.2	-	-	4.2	-	-	4.2	4.2	4.2
身体障害者手帳6級(N=18)	66.7	27.8	-	11.1	16.7	27.8	-	-	-	5.6	-	-	-	5.6	5.6	-	5.6	-	5.6
療育手帳A(最重度または重度)(N=34)	61.8	23.5	5.9	2.9	8.8	14.7	5.9	-	-	-	2.9	-	-	-	5.9	29.4	11.8	-	-
療育手帳B(中度)(N=36)	52.8	19.4	5.6	13.9	5.6	11.1	2.8	2.8	11.1	-	2.8	2.8	-	5.6	8.3	13.9	-	5.6	-
療育手帳B-(軽度)(N=30)	30.0	20.0	10.0	10.0	10.0	6.7	-	10.0	-	3.3	-	-	-	-	3.3	10.0	3.3	10.0	6.7
精神障害者保健福祉手帳1級(N=6)	50.0	-	-	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
精神障害者保健福祉手帳2級(N=66)	53.0	27.3	3.0	3.0	7.6	24.2	-	-	-	1.5	-	-	-	3.0	6.1	3.0	-	3.0	4.5
精神障害者保健福祉手帳3級(N=50)	60.0	28.0	8.0	14.0	8.0	12.0	-	2.0	-	-	2.0	-	-	2.0	4.0	2.0	2.0	10.0	4.0

	テニス、ソフトテニス	野球(キャッチボールを含む)	サッカー、フットサル	バレーボール	バスケットボール	ソフトボール	ドッジボール	ラグビー	ボウリング	パークゴルフ	ゴルフ(練習場含む)	ゲートボール	フライングディスク	ポッチャ	武道(柔道、剣道、空手など)	弓道、アーチェリー	その他のウィンタースポーツ	行えなかった	行う気がなかった
全体(N=577)	0.9	3.1	1.4	0.7	0.9	0.9	0.3	-	6.2	4.2	0.9	0.3	0.3	0.2	0.3	-	4.2	17.5	8.3
身体障害者手帳1級(N=128)	-	3.1	1.6	-	0.8	0.8	0.8	-	1.6	3.9	1.6	-	-	-	0.8	-	3.9	28.1	5.5
身体障害者手帳2級(N=66)	1.5	1.5	1.5	-	-	-	-	-	3.0	1.5	-	-	-	1.5	-	-	7.6	25.8	7.6
身体障害者手帳3級(N=59)	-	1.7	-	-	-	-	-	-	5.1	6.8	-	-	-	-	-	-	3.4	22.0	10.2
身体障害者手帳4級(N=98)	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	3.1	4.1	1.0	-	-	-	-	-	2.0	13.3	5.1
身体障害者手帳5級(N=24)	4.2	8.3	-	4.2	4.2	-	4.2	-	8.3	-	4.2	-	4.2	-	-	-	8.3	12.5	8.3
身体障害者手帳6級(N=18)	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	16.7	5.6	-	-	-	-	-	5.6	11.1	5.6
療育手帳A(最重度または重度)(N=34)	-	2.9	2.9	2.9	-	2.9	-	-	11.8	2.9	-	-	-	-	-	-	5.9	14.7	8.8
療育手帳B(中度)(N=36)	2.8	2.8	-	-	-	2.8	-	-	11.1	2.8	-	-	2.8	-	2.8	-	8.3	5.6	8.3
療育手帳B-(軽度)(N=30)	-	13.3	10.0	-	6.7	-	-	-	16.7	10.0	-	-	-	-	-	-	3.3	10.0	26.7
精神障害者保健福祉手帳1級(N=6)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	33.3
精神障害者保健福祉手帳2級(N=66)	1.5	1.5	-	-	-	3.0	-	-	9.1	1.5	-	3.0	-	-	-	-	3.0	16.7	9.1
精神障害者保健福祉手帳3級(N=50)	2.0	4.0	-	4.0	2.0	-	-	-	8.0	2.0	-	-	-	-	-	-	12.0	8.0	8.0

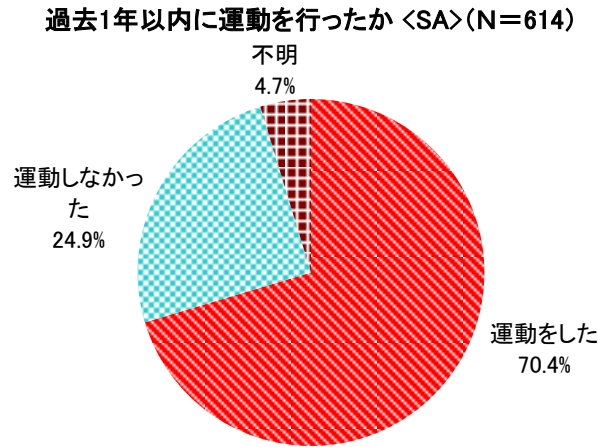
過去 1 年以内に行った運動×障がい者の種類

(%)

	散歩	ウォーキング	ランニング（ジョギング）	サイクリング	トレーニング（室内運動器具の使用を含む）	体操（ラジオ体操、縄跳びなど）	ダンス（社交ダンス、民謡踊りなど）	登山、ハイキング（オリエンテーリングを含む）	スキー	スノーボード	スケート	カーリング	その他のウインタースポーツ	釣り	キャンプ、海水浴	水泳	水中ウォーキング、アクアエクササイズ	卓球	バドミントン
全体 (N=563)	52.2	21.0	3.9	6.2	11.4	20.2	1.1	1.8	1.6	0.7	0.9	0.2	-	2.1	3.2	5.5	4.1	3.2	1.8
肢体不自由（車いす必要）(N=59)	16.9	5.1	-	-	6.8	8.5	-	-	-	-	-	-	-	-	1.7	3.4	-	-	-
肢体不自由（車いす不要）(N=181)	53.6	19.3	1.7	6.1	16.0	28.2	1.1	1.1	1.7	1.1	-	-	-	3.3	2.8	4.4	6.6	1.7	1.7
視覚障がい(N=26)	50.0	11.5	3.8	3.8	23.1	34.6	3.8	-	3.8	-	3.8	-	-	-	3.8	7.7	3.8	3.8	3.8
聴覚障がい(N=29)	65.5	24.1	-	13.8	6.9	17.2	-	-	3.4	-	3.4	-	-	-	3.4	-	3.4	3.4	-
音声・言語・そしゃく機能障がい(N=23)	47.8	8.7	-	-	8.7	13.0	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3	8.7	4.3	-	-
内部障がい(N=82)	59.8	20.7	4.9	3.7	9.8	20.7	-	3.7	1.2	-	-	-	-	1.2	1.2	2.4	1.2	1.2	-
知的障がい(N=86)	46.5	20.9	7.0	8.1	7.0	10.5	3.5	3.5	4.7	1.2	2.3	1.2	-	2.3	5.8	20.9	5.8	3.5	-
発達障がい(N=28)	42.9	28.6	7.1	10.7	7.1	10.7	3.6	7.1	7.1	-	7.1	-	-	-	3.6	14.3	7.1	7.1	3.6
精神障がい(N=119)	58.8	24.4	6.7	7.6	7.6	18.5	-	-	0.8	0.8	1.7	-	-	1.7	4.2	0.8	0.8	5.0	3.4
その他(N=50)	50.0	26.0	4.0	6.0	6.0	14.0	-	2.0	-	-	2.0	-	-	2.0	2.0	4.0	6.0	6.0	2.0

	テニス、ソフトテニス	野球（キャッチボールを含む）	サッカー、フットサル	バレーボール	バスケットボール	ソフトボール	ドッジボール	ラグビー	ポウリング	パークゴルフ	ゴルフ（練習場含む）	ゲートボール	フライングディスク	ポッチャ	武道（柔道、剣道、空手など）	弓道、アーチェリー	その他のウインタースポーツ	行えなかった	行う気がなかった
全体 (N=563)	0.7	3.0	1.4	0.7	0.9	0.9	0.4	-	6.2	4.3	0.9	0.4	0.4	0.2	0.4	-	4.3	17.9	8.3
肢体不自由（車いす必要）(N=59)	-	3.4	-	-	-	1.7	-	-	-	-	-	-	-	1.7	-	-	6.8	61.0	8.5
肢体不自由（車いす不要）(N=181)	-	1.7	1.1	-	0.6	0.6	-	4.4	3.9	0.6	-	-	-	-	-	-	5.0	13.8	7.7
視覚障がい(N=26)	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	-	-	3.8	7.7	-	-	3.8	-	-	-	-	11.5	15.4	3.8
聴覚障がい(N=29)	-	3.4	6.9	-	-	3.4	-	6.9	6.9	3.4	-	-	-	-	-	-	3.4	17.2	3.4
音声・言語・そしゃく機能障がい(N=23)	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3	-	-	-	-	-	-	-	4.3	43.5	-
内部障がい(N=82)	-	2.4	-	-	1.2	-	-	3.7	4.9	3.7	-	-	-	1.2	-	-	1.2	19.5	6.1
知的障がい(N=86)	1.2	4.7	2.3	1.2	1.2	2.3	-	12.8	5.8	-	-	1.2	-	-	-	-	4.7	14.0	12.8
発達障がい(N=28)	-	10.7	3.6	-	-	3.6	-	3.6	-	-	-	-	-	3.6	-	-	3.6	17.9	14.3
精神障がい(N=119)	1.7	2.5	-	1.7	0.8	0.8	-	7.6	1.7	-	1.7	-	-	-	-	-	3.4	15.1	10.1
その他(N=50)	-	2.0	2.0	-	2.0	2.0	-	6.0	6.0	-	-	-	-	-	-	-	6.0	18.0	4.0

- 過去 1 年以内に何らかの運動を行った割合は 70.4%
 - 性別では、男性のほうが女性に比べて「運動をした」の割合が高くなっている。年齢別では、とくに顕著な差は見られなかった。
 - 就労種別では仕事をしている人のほうが仕事をしていない人に比べて「運動をした」の割合が比較的高くなっている。



過去 1 年以内の運動の実施有無×性別

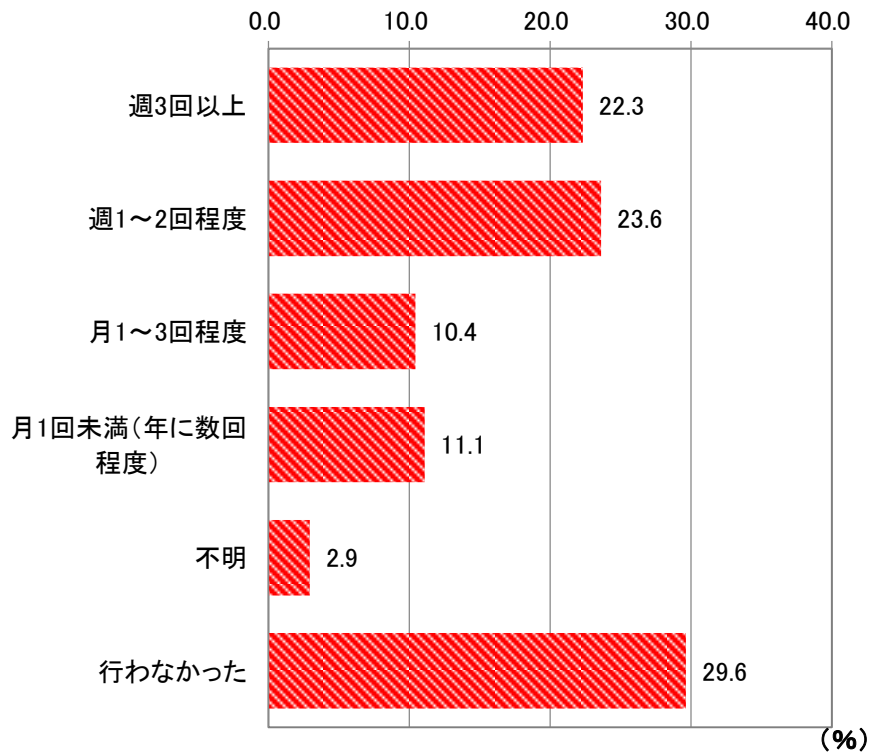
	運動をした	運動しなかった
全体 (N=580)	74.0	26.0
男性 (N=276)	80.4	19.6
女性 (N=304)	68.1	31.9

過去 1 年以内に行った運動×就労の状況

	運動をした	運動しなかった
全体 (N=581)	74.0	26.0
一般就労をしている (N=116)	82.8	17.2
就労支援施設、地域活動支援センター、地域共同作業所などに通って仕事（作業）をしている (N=74)	77.0	23.0
仕事をしていない (N=391)	70.8	29.2

- 週 1 回以上の運動を行った「スポーツ実施率」は 45.9%
- 過去 1 年間に行った運動の頻度を全体 (614 人) の中の割合で見ると、「週 3 回以上 (22.3%)」「週 1~2 回程度 (23.6%)」がそれぞれ約 20%程度、「月 1~3 回程度 (10.4%)」「月 1 回未満 (11.1%)」がそれぞれ約 15%程度となっており、週 1 回以上運動を行った割合 (スポーツ実施率) は 45.9%であった。
- 年代別では、週 1 回以上と回答した割合が 60 代までは年代とともに高くなっている。

過去1年間に行った運動の頻度 <SA>(N=614)

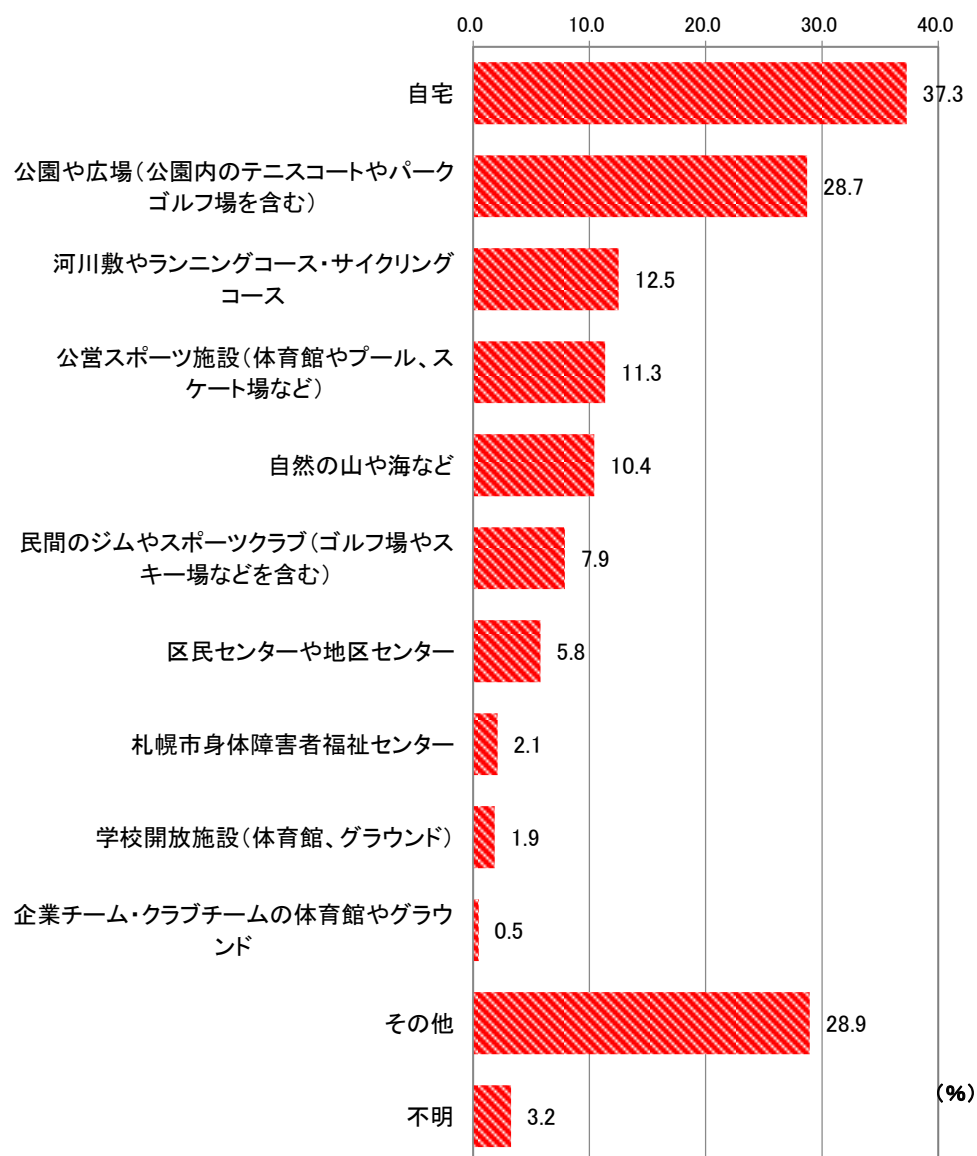


過去 1 年以内に行った運動の頻度 × 年代 (%)

	週 3 回 以上	週 1 ~ 2 回 程度	月 1 ~ 3 回 程度	月 1 回 未 満 (年 に 数 回 程 度)
全体 (N=414)	33.1	35.0	15.5	16.4
18~19歳 (N=8)	12.5	62.5	12.5	12.5
20~29歳 (N=34)	17.6	29.4	26.5	26.5
30~39歳 (N=33)	18.2	39.4	15.2	27.3
40~49歳 (N=65)	32.3	24.6	16.9	26.2
50~59歳 (N=72)	34.7	29.2	18.1	18.1
60~69歳 (N=99)	31.3	40.4	15.2	13.1
70歳以上 (N=103)	45.6	38.8	9.7	5.8

- 運動を行う場所は「自宅」が 37.3%
 - 運動などの活動を行う場所を見ると、「自宅（37.3%）」が最も多く、次いで「公園や広場（公園内のテニスコートやパークゴルフ場を含む）（28.7%）」「河川敷やランニングコース・サイクリングコース（12.5%）」となっている。「その他」で多かった回答は「近所」「自宅周辺の道路」「買い物ついで」など。
 - 年代別では、比較的若い世代で施設や屋外などで運動を行い、年齢の高い世代では自宅で行う割合が高くなる傾向が見られる。
 - 障がいの種別では、「知的障がい」で「公営スポーツ施設」の利用割合が比較的高くなっている。

運動などの活動を行う場所 <MA※3つまで> (N=432)



運動などの活動を行う場所×年代

	札幌市身体障害者福祉センター	公営スポーツ施設（体育館やプール、スケート場など）	学校開放施設（体育館、グラウンド）	民間のジムやスポーツクラブ（ゴルフ場やスキー場などを含む）	企業チーム・クラブチームの体育館やグラウンド	区民センターや地区センター	河川敷やランニングコース・サイクリングコース	公園や広場（公園内のテニスコートやパークゴルフ場を含む）	自然の山や海など	自宅	その他
全体 (N=418)	2.2	11.7	1.9	8.1	0.5	6.0	12.9	29.7	10.8	38.5	29.9
18～19歳 (N=8)	-	25.0	12.5	37.5	-	-	12.5	37.5	12.5	25.0	25.0
20～29歳 (N=35)	-	22.9	-	8.6	2.9	-	14.3	34.3	5.7	31.4	34.3
30～39歳 (N=33)	-	15.2	3.0	9.1	3.0	3.0	21.2	39.4	21.2	27.3	24.2
40～49歳 (N=66)	3.0	22.7	4.5	6.1	-	3.0	13.6	31.8	13.6	30.3	19.7
50～59歳 (N=72)	2.8	11.1	1.4	8.3	-	6.9	15.3	34.7	12.5	38.9	25.0
60～69歳 (N=101)	3.0	6.9	1.0	7.9	-	4.0	9.9	29.7	9.9	43.6	37.6
70歳以上 (N=103)	1.9	3.9	1.0	6.8	-	12.6	10.7	19.4	6.8	45.6	33.0

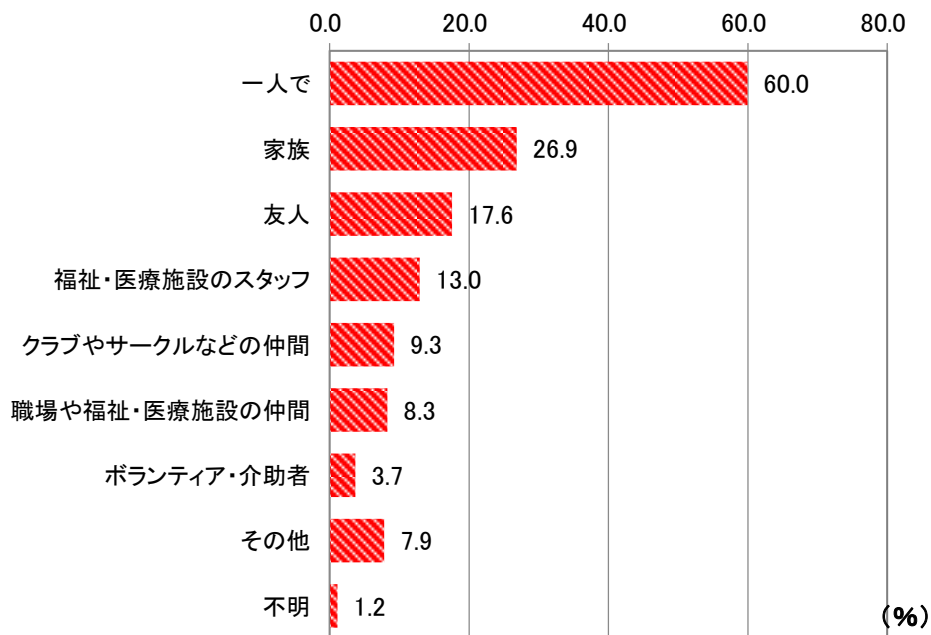
運動などの活動を行う場所×障がいの種類

	札幌市身体障害者福祉センター	公営スポーツ施設（体育館やプール、スケート場など）	学校開放施設（体育館、グラウンド）	民間のジムやスポーツクラブ（ゴルフ場やスキー場などを含む）	企業チーム・クラブチームの体育館やグラウンド	区民センターや地区センター	河川敷やランニングコース・サイクリングコース	公園や広場（公園内のテニスコートやパークゴルフ場を含む）	自然の山や海など	自宅	その他
全体 (N=404)	2.2	12.1	1.7	7.9	0.5	5.9	12.9	29.7	10.4	38.6	29.7
肢体不自由（車いす必要） (N=18)	-	11.1	-	5.6	-	-	-	16.7	11.1	38.9	61.1
肢体不自由（車いす不要） (N=137)	3.6	8.8	2.9	9.5	-	7.3	11.7	29.2	10.2	45.3	21.9
視覚障がい (N=21)	-	9.5	4.8	4.8	-	-	9.5	23.8	9.5	52.4	33.3
聴覚障がい (N=22)	9.1	4.5	4.5	4.5	4.5	13.6	9.1	45.5	13.6	50.0	22.7
音声・言語・そしゃく機能障がい (N=13)	7.7	15.4	-	7.7	-	23.1	23.1	38.5	7.7	38.5	30.8
内部障がい (N=60)	1.7	5.0	3.3	10.0	-	6.7	10.0	30.0	15.0	40.0	28.3
知的障がい (N=62)	-	30.6	-	4.8	1.6	-	12.9	35.5	11.3	33.9	30.6
発達障がい (N=18)	-	22.2	-	5.6	-	-	-	44.4	11.1	44.4	33.3
精神障がい (N=87)	2.3	9.2	1.1	5.7	-	8.0	17.2	26.4	4.6	32.2	36.8
その他 (N=37)	2.7	13.5	-	2.7	-	8.1	16.2	27.0	8.1	32.4	40.5

● 運動を行う相手は「一人」が約 60%

- 「運動などの活動と一緒にいる相手」では、「一人で（60.0%）」が最も多く、次いで「家族（26.9%）」「友人（17.6%）」となっている。
- 就労種別では、就労支援施設等に通って仕事をしている場合は施設のスタッフと運動を行う割合が多くなっている。
- 障がいの種別では「肢体不自由（車いす必要）」「発達障がい」「知的障がい」で「福祉施設・医療施設のスタッフ」の割合が高くなっている。

運動などの活動と一緒にいる相手〈MA※3つまで〉（N=432）



運動などの活動と一緒にいる相手×就労の状況

	一人で	家族	友人	職場や福祉・医療施設の仲間	クラブやサークルなどの仲間	福祉・医療施設のスタッフ	ボランティア・介助者	その他
全体 (N=425)	60.9	27.1	17.6	8.5	9.4	13.2	3.8	8.0
一般就労をしている (N=95)	69.5	26.3	22.1	8.4	9.5	3.2	2.1	8.4
就労支援施設、地域活動支援センター、地域共同作業所などに通って仕事（作業）をしている (N=57)	45.6	31.6	17.5	26.3	8.8	29.8	14.0	7.0
仕事をしていない (N=273)	61.2	26.4	16.1	4.8	9.5	13.2	2.2	8.1

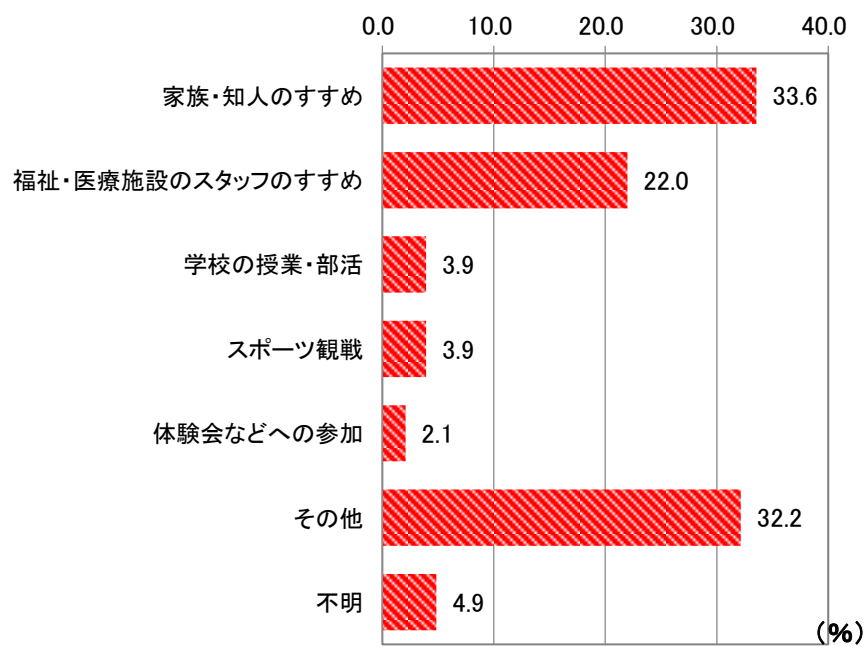
運動などの活動と一緒にを行う相手 × 障がいの種類

(%)

	一人で	家族	友人	職場や福祉・医療施設の仲間	クラブやサークルなどの仲間	福祉・医療施設のスタッフ	ボランティア・介助者	その他
全体 (N=410)	60.0	27.1	17.3	8.5	9.3	13.2	3.9	8.3
肢体不自由 (車いす必要) (N=18)	27.8	27.8	11.1	11.1	-	44.4	22.2	16.7
肢体不自由 (車いす不要) (N=139)	56.1	25.9	21.6	3.6	14.4	8.6	1.4	6.5
視覚障がい (N=21)	61.9	23.8	19.0	9.5	9.5	14.3	9.5	9.5
聴覚障がい (N=23)	52.2	39.1	21.7	-	13.0	8.7	-	4.3
音声・言語・そしゃく機能障がい (N=13)	46.2	30.8	15.4	15.4	7.7	23.1	15.4	23.1
内部障がい (N=61)	85.2	23.0	19.7	4.9	6.6	3.3	-	6.6
知的障がい (N=62)	41.9	37.1	6.5	21.0	4.8	32.3	12.9	9.7
発達障がい (N=17)	35.3	41.2	-	23.5	11.8	47.1	5.9	5.9
精神障がい (N=88)	64.8	26.1	18.2	14.8	5.7	12.5	2.3	11.4
その他 (N=39)	59.0	30.8	12.8	-	5.1	12.8	5.1	12.8

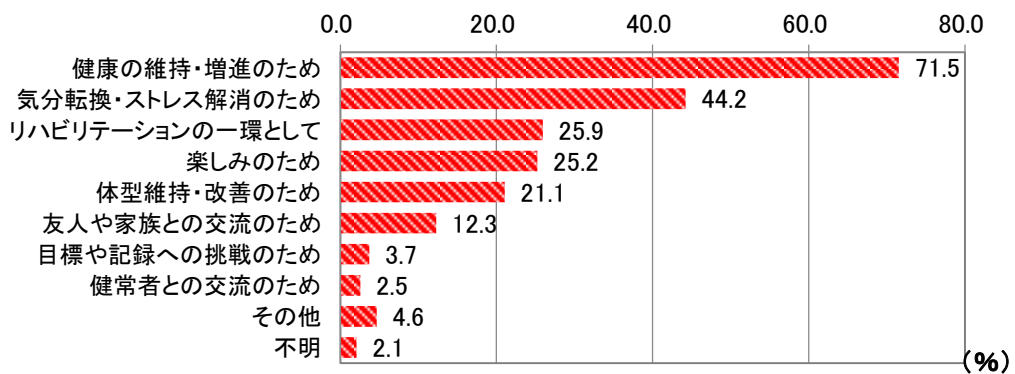
- 運動などの活動を行うきっかけは 33.6%が「家族・知人のすすめ」
 - ・ 「運動などの活動を行うきっかけ」では、「家族・知人のすすめ (33.6%)」が最も多く、次いで「福祉・医療施設のスタッフのすすめ (22.0%)」が多くなっている。

運動などの活動を行うきっかけ <SA> (N=432)



- 運動などの活動を行う目的は「健康の維持・増進のため」が約 70%
 - 「運動などの活動を行う目的」は、「健康の維持・増進のため（71.5%）」が最も多く、次いで「気分転換・ストレス解消のため（44.2%）」「リハビリテーションの一環として（25.9%）」の順で多くなっている。
 - 年齢別では、年齢が高くなるにつれて「健康の維持・増進のため」の割合が高く、「楽しみのため」の割合が低くなる傾向が見られる。
 - 就労種別では、「一般就労をしている」で「気分転換・ストレス解消のため」が、「就労支援施設等」で「楽しみのため」の割合が他と比べて高くなっている。

運動などの活動を行う目的<MA※3つまで> (N=432)



運動などの活動を行う目的×年代

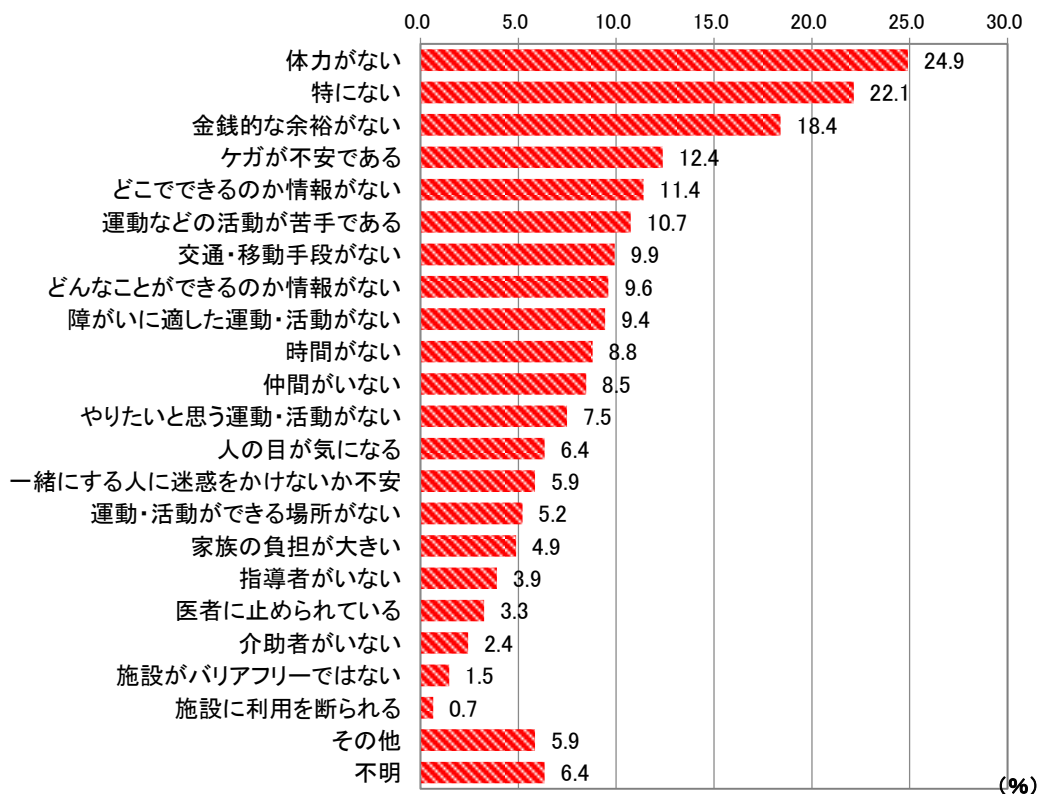
	の健康の維持・増進のため	気分転換・ストレスのため	楽しみのため	友人や家族との交流のため	健常者との交流のため	体型維持・改善のため	リハビリテーションの一環として	目標や記録への挑戦のため	その他
全体 (N=423)	73.0	45.2	25.8	12.5	2.6	21.5	26.5	3.8	4.7
18～19歳 (N=8)	37.5	62.5	75.0	12.5	-	25.0	-	-	-
20～29歳 (N=35)	60.0	51.4	37.1	17.1	-	20.0	8.6	2.9	5.7
30～39歳 (N=32)	65.6	62.5	34.4	15.6	-	40.6	6.2	15.6	-
40～49歳 (N=66)	63.6	53.0	25.8	10.6	3.0	22.7	27.3	3.0	9.1
50～59歳 (N=72)	68.1	38.9	22.2	13.9	1.4	20.8	33.3	2.8	9.7
60～69歳 (N=105)	81.0	48.6	21.9	9.5	1.0	24.8	24.8	2.9	2.9
70歳以上 (N=105)	83.8	32.4	21.9	13.3	6.7	12.4	37.1	2.9	1.9

運動などの活動を行う目的×就労の状況

	の健康の維持・増進のため	気分転換・ストレスのため	楽しみのため	友人や家族との交流のため	健常者との交流のため	体型維持・改善のため	リハビリテーションの一環として	目標や記録への挑戦のため	その他
全体 (N=421)	73.2	45.1	25.7	12.4	2.6	21.6	26.6	3.8	4.8
一般就労をしている (N=95)	71.6	62.1	25.3	17.9	-	24.2	15.8	5.3	4.2
就労支援施設、地域活動支援センター、地域共同作業所などに通って仕事（作業）をしている (N=57)	63.2	40.4	40.4	14.0	1.8	29.8	15.8	5.3	-
仕事をしていない (N=269)	75.8	40.1	22.7	10.0	3.7	19.0	32.7	3.0	5.9

- 運動などの活動を行うときの問題や課題は「体力がない」が約 25%
 - 「運動などの活動を行うときの問題や課題」では、「体力がない (24.9%)」が最も多く、次いで「特にない (22.1%)」「金銭的な余裕がない (18.4%)」「ケガが不安である (12.4%)」「どこでできるのか情報が無い (11.4%)」の順で多くなっている。全体的に体力等個人の状況や情報に関するものが上位となっている。
 - 就労種別では、「一般就労をしている」で「時間がない」の割合が高くなっている。

運動などの活動を行うときの問題や課題 <MA>(N=614)



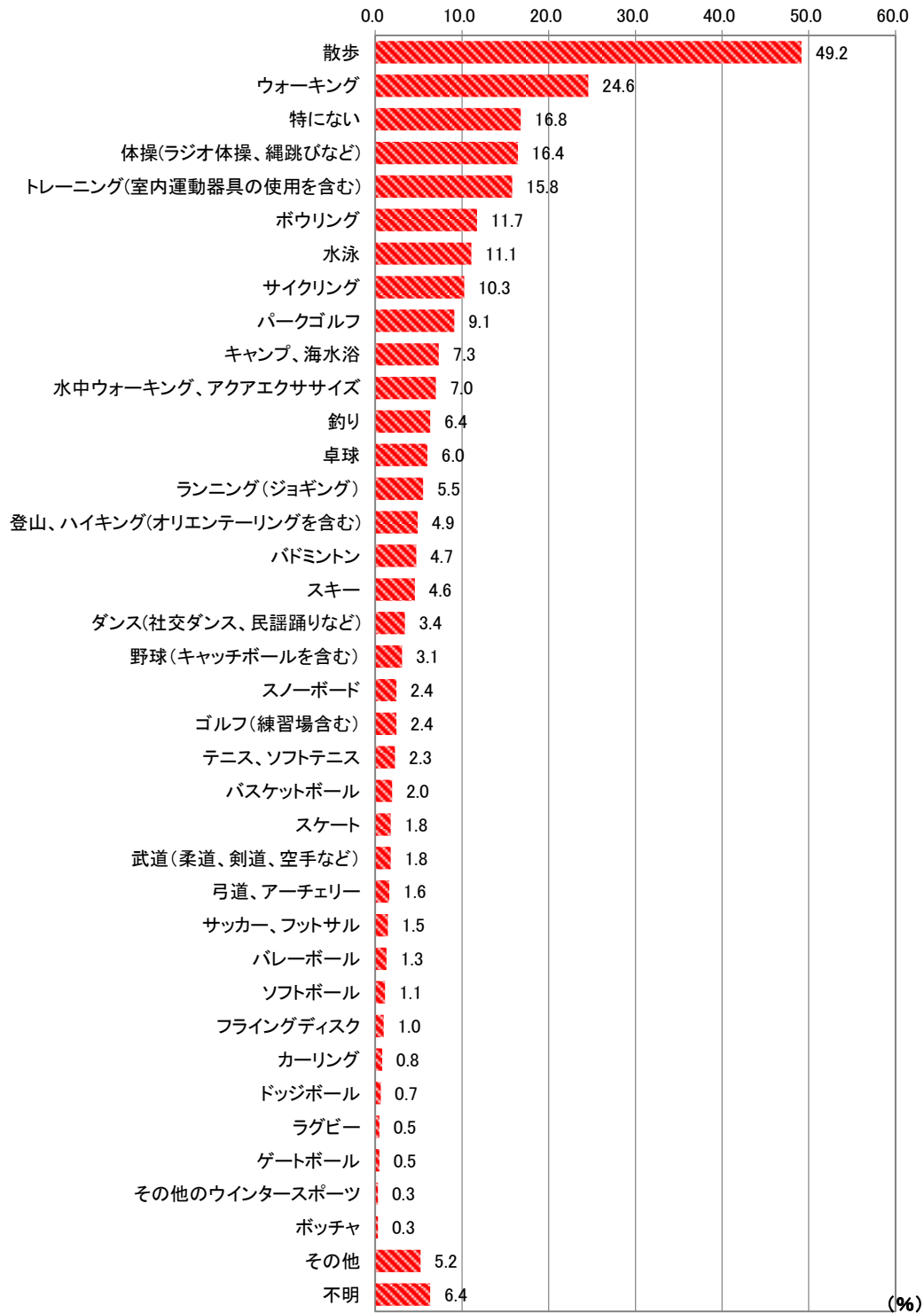
運動などの活動を行うときの問題や課題 × 就労の状況

	交通・移動手段がない	運動・活動ができる場所がない	施設がバリアフリーではない	施設に利用を断られる	どこでできるのか情報が無い	どんなことができるのか情報が無い	指導者がいない	介助者がいない	仲間がいない	家族の負担が大きい	金銭的な余裕がない	時間がない	体力がない	医者に止められている	障がいに適した運動・活動がない	やりたいと思う運動・活動がない	運動などの活動が苦手である	ケガが不安である	人の目が気になる	一緒にする人に迷惑をかけないか不安	その他	特にない
全体 (N=569)	10.7	5.6	1.6	0.7	12.3	10.4	4.2	2.6	9.1	5.3	19.9	9.5	26.7	3.3	10.2	7.7	11.2	13.0	6.9	6.3	6.3	23.6
一般就労をしている (N=112)	6.2	6.2	2.7	0.9	13.4	8.0	5.4	2.7	13.4	0.9	23.2	33.9	19.6	2.7	6.2	4.5	10.7	11.6	4.5	5.4	1.8	19.6
就労支援施設、地域活動支援センター、地域共同作業所などに通って仕事(作業)をしている (N=71)	9.9	2.8	1.4	-	12.7	14.1	11.3	7.0	16.9	11.3	18.3	8.5	15.5	2.8	12.7	12.7	11.3	8.5	9.9	7.0	4.2	18.3
仕事をしていない (N=386)	12.2	6.0	1.3	0.8	11.9	10.4	2.6	1.8	6.5	5.4	19.2	2.6	30.8	3.6	10.9	7.8	11.4	14.2	7.0	6.5	8.0	25.6

● 今後行ってみたい運動・活動は「散歩」が約 50%

- 「今後行ってみたい運動・活動」では、「散歩（49.2%）」が最も多く、次いで「ウォーキング（24.6%）」「特にない（16.8%）」「体操（ラジオ体操、縄跳びなど）（16.4%）」「トレーニング（室内運動器具の使用を含む）（15.8%）」の順となっている。
- 障がいの種別では、「肢体不自由（車いす必要）」で「特にない」の割合が他と比較して高くなっている。

今後行ってみたい運動・活動 <MA> (N=614)



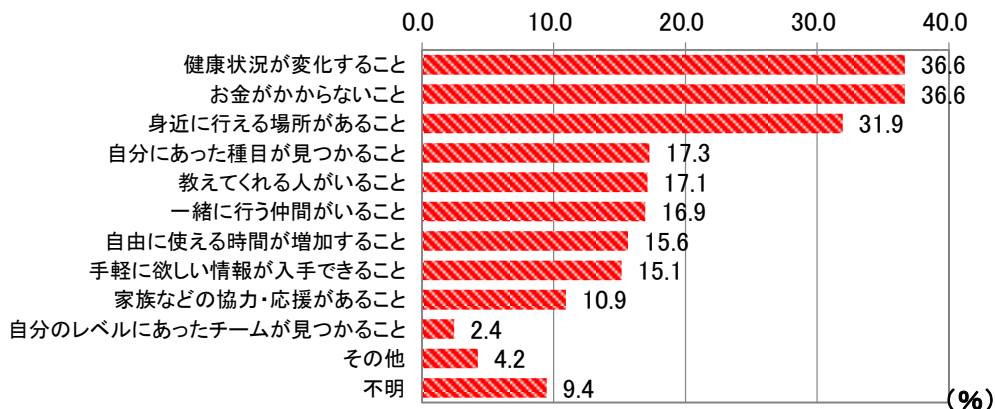
今後行ってみたい運動・活動×障がいの種類

	散歩	ウォーキング	ランニング（ジョギング）	サイクリング	トレーニング（室内運動器具の使用を含む）	体操（ラジオ体操、縄跳びなど）	ダンス（社交ダンス、民謡踊りなど）	登山、ハイキング（オリエンテーリングを含む）	スキー	スノーボード	スケート	カーリング	その他のウィンタースポーツ	釣り	キャンプ、海水浴	水泳	水中ウォーキング、アクアエクササイズ	卓球	バドミントン
全体 (N=554)	51.6	26.4	5.8	11.2	16.8	17.9	3.6	5.2	5.1	2.7	2.0	0.9	0.4	6.7	7.9	12.1	7.8	6.0	4.7
肢体不自由（車いす必要）(N=56)	33.9	3.6	3.6	3.6	8.9	12.5	-	1.8	3.6	1.8	-	3.6	1.8	1.8	8.9	5.4	1.8	1.8	7.1
肢体不自由（車いす不要）(N=181)	55.8	29.3	2.8	11.6	20.4	21.5	3.9	5.0	5.0	2.2	-	0.6	-	8.8	7.7	15.5	12.2	4.4	2.8
視覚障がい(N=27)	55.6	18.5	11.1	7.4	22.2	22.2	7.4	3.7	-	3.7	-	-	-	-	7.4	7.4	-	-	-
聴覚障がい(N=30)	60.0	20.0	3.3	6.7	13.3	26.7	-	6.7	10.0	3.3	3.3	-	-	3.3	10.0	10.0	-	10.0	3.3
音声・言語・そしゃく機能障がい(N=21)	76.2	14.3	-	-	14.3	14.3	-	4.8	-	-	-	-	4.8	-	14.3	9.5	4.8	4.8	-
内部障がい(N=77)	51.9	29.9	5.2	9.1	20.8	15.6	6.5	9.1	3.9	1.3	3.9	-	-	14.3	7.8	6.5	7.8	11.7	2.6
知的障がい(N=83)	38.6	15.7	7.2	10.8	7.2	6.0	2.4	4.8	8.4	1.2	4.8	1.2	2.4	2.4	10.8	19.3	6.0	3.6	4.8
発達障がい(N=29)	41.4	24.1	13.8	10.3	6.9	17.2	3.4	3.4	10.3	-	-	-	-	10.3	13.8	10.3	6.9	3.4	6.9
精神障がい(N=118)	55.9	34.7	8.5	16.1	16.1	22.0	5.1	4.2	5.1	5.1	2.5	0.8	-	3.4	5.9	9.3	5.1	6.8	9.3
その他(N=50)	60.0	26.0	4.0	8.0	16.0	14.0	-	4.0	-	4.0	-	2.0	-	6.0	4.0	4.0	6.0	6.0	2.0

	テニス、ソフトテニス	野球（キャッチボールを含む）	サッカー、フットサル	バレーボール	バスケットボール	ソフトボール	ドッジボール	ラグビー	ボウリング	パークゴルフ	ゴルフ（練習場含む）	ゲートボール	フライングディスク	ポッチャ	武道（柔道、剣道、空手など）	弓道、アーチェリー	その他のウィンタースポーツ	特になし
全体 (N=554)	2.3	3.4	1.6	1.4	2.2	1.3	0.7	0.5	12.8	9.9	2.5	0.5	1.1	0.4	2.0	1.8	5.8	18.1
肢体不自由（車いす必要）(N=56)	1.8	3.6	3.6	1.8	1.8	1.8	-	-	10.7	5.4	1.8	1.8	-	1.8	1.8	1.8	12.5	37.5
肢体不自由（車いす不要）(N=181)	2.2	0.6	1.1	0.6	1.1	1.1	-	-	8.3	12.7	2.8	0.6	0.6	0.6	0.6	2.2	7.2	14.9
視覚障がい(N=27)	-	-	-	-	-	3.7	-	-	11.1	7.4	3.7	-	-	-	-	-	3.7	22.2
聴覚障がい(N=30)	-	3.3	-	3.3	3.3	-	-	-	20.0	13.3	3.3	-	-	-	-	-	6.7	20.0
音声・言語・そしゃく機能障がい(N=21)	-	-	-	-	-	-	-	-	4.8	4.8	-	-	-	-	-	4.8	9.5	14.3
内部障がい(N=77)	3.9	7.8	2.6	1.3	1.3	1.3	-	1.3	9.1	10.4	6.5	-	2.6	-	6.5	3.9	9.1	14.3
知的障がい(N=83)	2.4	3.6	3.6	-	6.0	-	2.4	-	20.5	12.0	1.2	-	3.6	-	-	-	6.0	19.3
発達障がい(N=29)	-	10.3	3.4	-	6.9	-	-	-	17.2	6.9	3.4	-	-	-	3.4	3.4	6.9	20.7
精神障がい(N=118)	2.5	3.4	0.8	2.5	1.7	3.4	-	0.8	16.9	6.8	-	0.8	-	-	2.5	0.8	3.4	16.9
その他(N=50)	-	2.0	2.0	2.0	-	-	2.0	2.0	8.0	8.0	-	-	-	-	2.0	-	8.0	20.0

- 「今以上に運動などの活動を行う上で重要だと思うこと」は、「健康状況が変化すること (36.6%)」「お金がかからないこと (36.6%)」
- ・ 次いで「身近に行える場所があること (31.9%)」が多くなっている。
- ・ 年齢別では、60 代以上で「健康状況が変化すること」、20 代以下で「一緒に行く仲間がいること」の割合が高くなっている。
- ・ 就労種別では、「一般就労をしている」で「自由に使える時間が増加すること」の割合が高くなっている。

今以上に運動などの活動を行う上で重要だと思うこと <MA> (N=614)



今以上に運動などの活動を行う上で重要だと思うこと × 年代

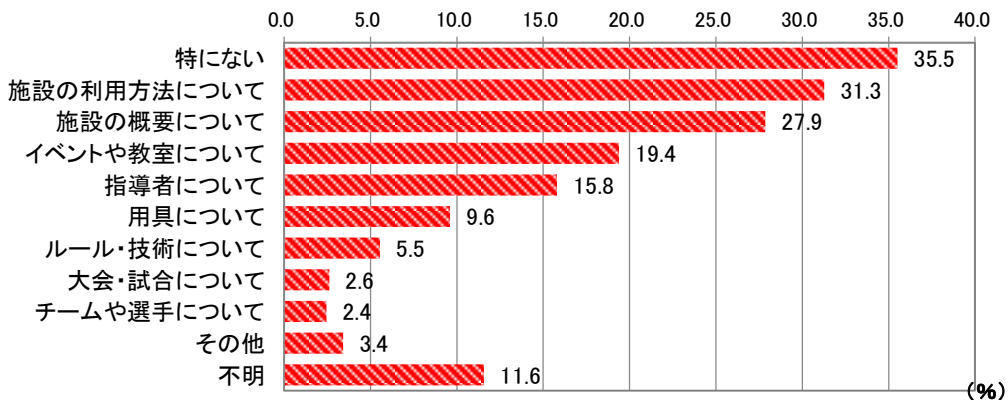
	加 す る こ と	自 由 に 使 え る 時 間 が 増 加 す る こ と	と 健 康 状 況 が 変 化 す る こ と	手 軽 に 欲 し い 情 報 が 入 る こ と	一 緒 に 行 く 仲 間 が い る こ と	身 近 に 行 え る 場 所 が あ る こ と	お 金 が か か ら な い こ と	こ と 教 え て く れ る 人 が い る こ と	が 家 族 な ど の 協 力 ・ 応 援 あ る こ と	つ か る こ と 自 分 に あ つ た 種 目 が 見 つ か る こ と	チ ーム が 見 つ か る こ と 自 分 の レ ベル に あ つ た こ と	自 分 の レ ベル に あ つ た こ と そ の 他
全体 (N=554)	17.1	40.3	16.8	18.8	35.4	40.3	19.0	11.9	19.1	2.7	4.7	
18~19歳 (N=11)	18.2	27.3	-	36.4	18.2	9.1	18.2	9.1	27.3	9.1	18.2	
20~29歳 (N=45)	17.8	22.2	17.8	44.4	33.3	46.7	31.1	15.6	17.8	2.2	4.4	
30~39歳 (N=52)	23.1	26.9	17.3	21.2	34.6	32.7	25.0	11.5	17.3	3.8	5.8	
40~49歳 (N=86)	30.2	32.6	9.3	15.1	29.1	48.8	22.1	10.5	14.0	2.3	3.5	
50~59歳 (N=91)	20.9	35.2	27.5	15.4	41.8	49.5	9.9	7.7	26.4	2.2	2.2	
60~69歳 (N=124)	12.9	49.2	19.4	18.5	38.7	40.3	16.9	6.5	20.2	1.6	4.8	
70歳以上 (N=145)	8.3	51.7	13.1	13.1	34.5	32.4	18.6	19.3	17.2	3.4	5.5	

今以上に運動などの活動を行う上で重要だと思うこと × 就労の状況

	加 す る こ と	自 由 に 使 え る 時 間 が 増 加 す る こ と	と 健 康 状 況 が 変 化 す る こ と	手 軽 に 欲 し い 情 報 が 入 る こ と	一 緒 に 行 く 仲 間 が い る こ と	身 近 に 行 え る 場 所 が あ る こ と	お 金 が か か ら な い こ と	こ と 教 え て く れ る 人 が い る こ と	が 家 族 な ど の 協 力 ・ 応 援 あ る こ と	つ か る こ と 自 分 に あ つ た 種 目 が 見 つ か る こ と	チ ーム が 見 つ か る こ と 自 分 の レ ベル に あ つ た こ と	自 分 の レ ベル に あ つ た こ と そ の 他
全体 (N=551)	17.2	40.1	16.9	18.9	35.6	40.7	19.1	12.0	19.2	2.7	4.5	
一般就労をしている (N=115)	43.5	29.6	16.5	27.0	30.4	46.1	13.9	7.0	17.4	0.9	4.3	
就労支援施設、地域活動支援センター、地域共同作業所などに通って仕事（作業）をしている (N=72)	12.5	19.4	18.1	29.2	34.7	44.4	33.3	13.9	19.4	2.8	2.8	
仕事をしていない (N=364)	9.9	47.5	16.8	14.3	37.4	38.2	17.9	13.2	19.8	3.3	4.9	

- 運動などの活動を行う際にほしい情報は「施設の利用方法・概要」「イベントや教室・指導者」
 - 「運動などの活動を行う際にほしい情報」は、「施設の利用方法について（31.3%）」「施設の概要について（27.9%）」「イベントや教室について（19.4%）」の順で多くなっている。
 - 年齢別では、「20～29 歳」で「イベントや教室について」「指導者について」の割合が高くなっている。
 - 就労種別では、「就労支援施設等で仕事をしている」で「イベントや教室について」の割合が高くなっている。

運動などの活動を行う際にほしい情報 <MA> (N=614)



運動などの活動を行う際にほしい情報 × 年代 (%)

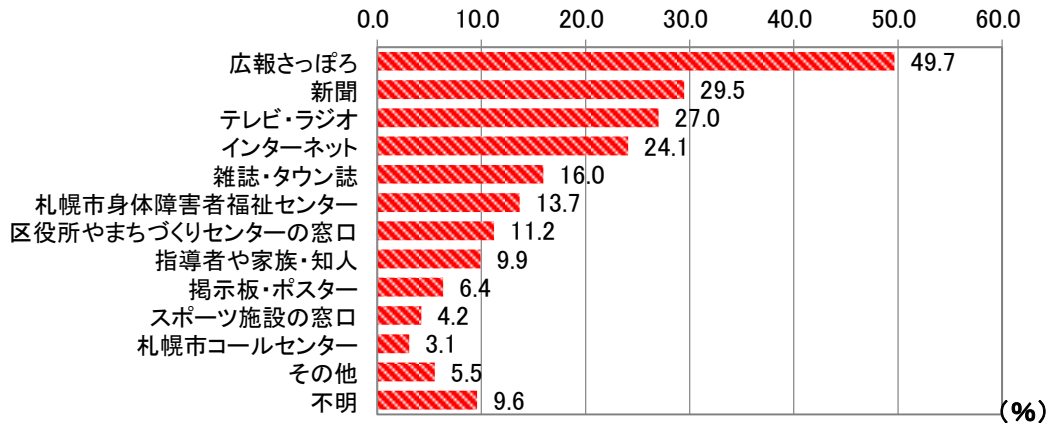
	施設の概要について	施設の利用方法について	イベントや教室について	大会・試合について	チームや選手について	ルール・技術について	用具について	指導者について	その他	特にない
全体 (N=541)	31.6	35.5	22.0	3.0	2.8	6.3	10.9	17.9	3.9	39.9
18～19歳 (N=10)	10.0	30.0	40.0	10.0	-	-	10.0	20.0	-	50.0
20～29歳 (N=44)	20.5	38.6	34.1	4.5	4.5	20.5	11.4	29.5	2.3	20.5
30～39歳 (N=50)	30.0	42.0	22.0	6.0	6.0	12.0	16.0	20.0	2.0	34.0
40～49歳 (N=87)	28.7	37.9	25.3	3.4	5.7	6.9	13.8	18.4	2.3	31.0
50～59歳 (N=89)	32.6	37.1	28.1	3.4	4.5	6.7	13.5	15.7	4.5	39.3
60～69歳 (N=121)	41.3	37.2	20.7	0.8	0.8	3.3	11.6	19.0	3.3	40.5
70歳以上 (N=140)	30.0	28.6	12.1	2.1	-	2.1	5.0	13.6	6.4	52.9

運動などの活動を行う際にほしい情報 × 就労の状況 (%)

	施設の概要について	施設の利用方法について	イベントや教室について	大会・試合について	チームや選手について	ルール・技術について	用具について	指導者について	その他	特にない
全体 (N=538)	31.8	35.5	22.1	3.0	2.8	6.3	11.0	18.0	3.9	39.8
一般就労をしている (N=113)	38.9	38.9	22.1	4.4	5.3	4.4	16.8	15.9	2.7	35.4
就労支援施設、地域活動支援センター、地域共同作業所などに通って仕事（作業）をしている (N=71)	22.5	38.0	39.4	2.8	4.2	16.9	15.5	25.4	-	22.5
仕事をしていない (N=354)	31.4	33.9	18.6	2.5	1.7	4.8	8.2	17.2	5.1	44.6

- 「運動などの活動に関する情報の入手先」では約 50%が「広報さっぽろ」を希望
 - 「希望する運動などの活動に関する情報の入手先」では、「広報さっぽろ (49.7%)」が最も多く、次いで「新聞 (29.5%)」「テレビ・ラジオ (27.0%)」の順で多くなっている。
 - 年齢別では、比較的若い世代で「新聞」「テレビ・ラジオ」は低く、「インターネット」は高くなっている。「広報さっぽろ」は 30 歳以上のすべての年代で最も割合が高くなっている。
 - 就労種別では、「一般就労をしている」で「インターネット」の割合が高くなっている。

希望する運動などの活動に関する情報の発信元 <MA>(N=614)



希望する運動などの活動に関する情報の発信元×年代

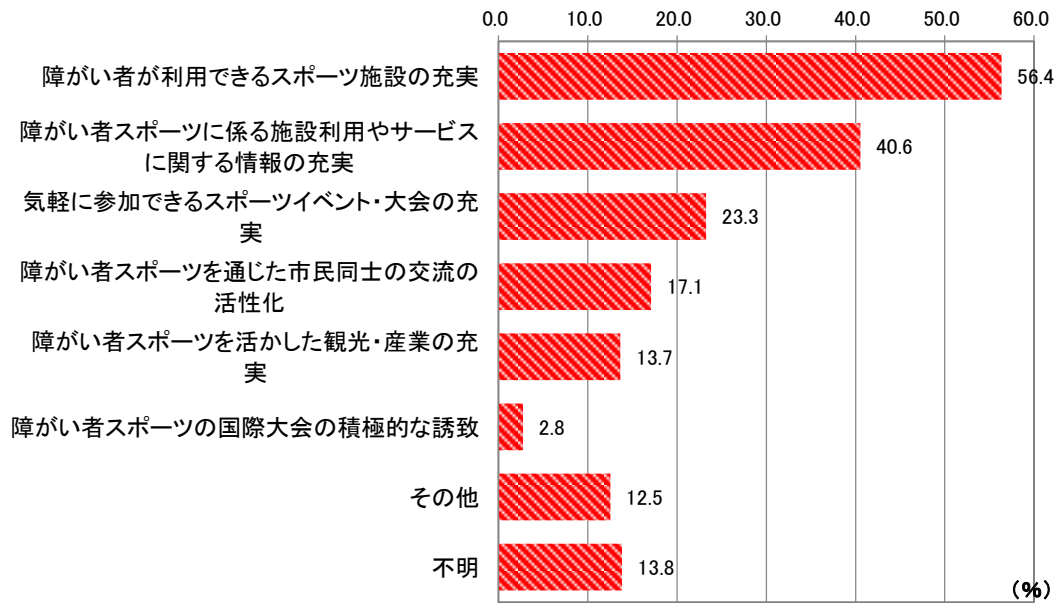
	福 祉 セ ン タ ー	札 幌 市 身 体 障 害 者	新 聞	雑 誌 ・ タ ウ ン 誌	テ レ ビ ・ ラ ジ オ	イ ン タ ー ネ ッ ト	タ ラ ン ク	札 幌 市 コ ー ル セ ン タ ー	掲 示 板 ・ ポ ス タ ー	ロ ス ポ ー ツ 施 設 の 窓 口	リ セ ン タ ー の 窓 口	区 役 所 や ま ち づ く リ セ ン タ ー の 窓 口	広 報 さ っ ぽ ろ	人 指 導 者 や 家 族 ・ 知 人	そ の 他
全体 (N=553)	15.0	32.4	17.7	29.8	26.8	3.4	7.1	4.7	12.5	55.0	11.0	6.1			
18～19歳 (N=11)	-	54.5	-	54.5	54.5	-	9.1	18.2	-	36.4	18.2	-			
20～29歳 (N=44)	9.1	9.1	20.5	15.9	56.8	4.5	18.2	2.3	6.8	40.9	29.5	6.8			
30～39歳 (N=52)	17.3	17.3	23.1	21.2	50.0	5.8	5.8	5.8	7.7	53.8	11.5	7.7			
40～49歳 (N=86)	11.6	22.1	24.4	20.9	46.5	2.3	4.7	7.0	11.6	48.8	7.0	5.8			
50～59歳 (N=91)	19.8	36.3	28.6	30.8	33.0	3.3	6.6	7.7	14.3	48.4	5.5	4.4			
60～69歳 (N=123)	13.8	42.3	11.4	34.1	12.2	4.9	8.1	3.3	13.8	66.7	7.3	7.3			
70歳以上 (N=146)	17.1	38.4	11.0	36.3	4.1	2.1	4.8	2.1	15.1	58.9	13.7	6.2			

希望する運動などの活動に関する情報の発信元×就労の状況

	福 祉 セ ン タ ー	札 幌 市 身 体 障 害 者	新 聞	雑 誌 ・ タ ウ ン 誌	テ レ ビ ・ ラ ジ オ	イ ン タ ー ネ ッ ト	タ ラ ン ク	札 幌 市 コ ー ル セ ン タ ー	掲 示 板 ・ ポ ス タ ー	ロ ス ポ ー ツ 施 設 の 窓 口	リ セ ン タ ー の 窓 口	区 役 所 や ま ち づ く リ セ ン タ ー の 窓 口	広 報 さ っ ぽ ろ	人 指 導 者 や 家 族 ・ 知 人	そ の 他
全体 (N=551)	15.1	32.7	17.8	29.9	26.5	3.4	7.1	4.7	12.3	54.8	11.1	6.2			
一般就労をしている (N=114)	13.2	29.8	22.8	25.4	50.0	3.5	7.0	6.1	8.8	51.8	5.3	5.3			
就労支援施設、地域活動支援センター、地域 共同作業所などに通って仕事（作業）をして いる (N=72)	13.9	23.6	23.6	22.2	34.7	5.6	15.3	8.3	13.9	54.2	16.7	2.8			
仕事をしていない (N=365)	15.9	35.3	15.1	32.9	17.5	3.0	5.5	3.6	13.2	55.9	11.8	7.1			

- 障がい者スポーツに関する施策で力を入れてほしいものは「障がい者が利用できるスポーツ施設の充実」が約 60%、「施設利用やサービスに関する情報の充実」が約 40%
- ・ 「障がい者スポーツに関する施策に対して、力を入れてほしい内容」では、「障がい者が利用できるスポーツ施設の充実（56.4%）」が最も多く、次いで「障がい者スポーツに係る施設利用やサービスに関する情報の充実（40.6%）」「気軽に参加できるスポーツイベント・大会の充実（23.3%）」の順で多くなっている。

障がい者スポーツに関する施策に対して、
力を入れてほしい内容〈MA〉（N=614）



2. 平成 29 年度障がい者の運動などの活動に関するアンケート調査(一般向け)

<調査概要>

- 調査方法
郵送によるアンケート調査

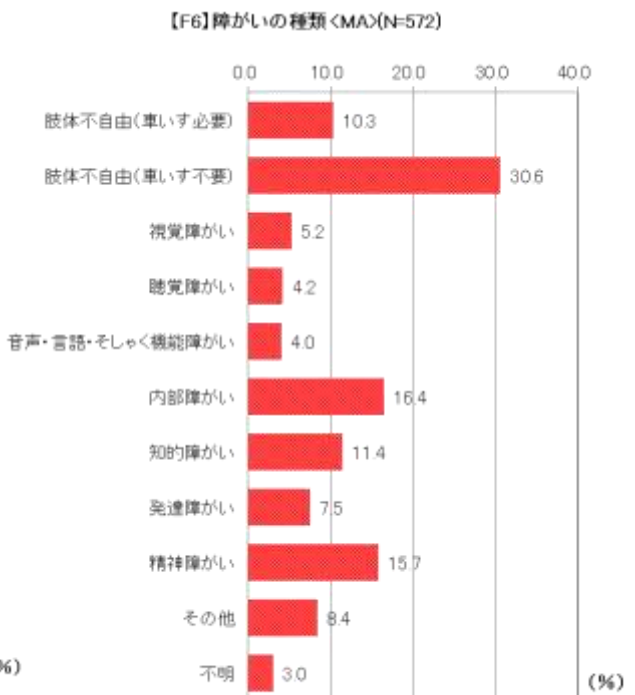
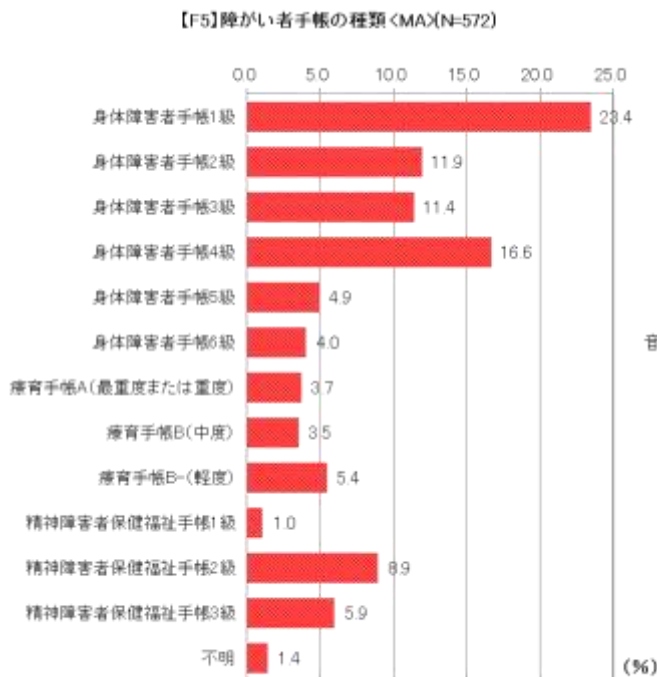
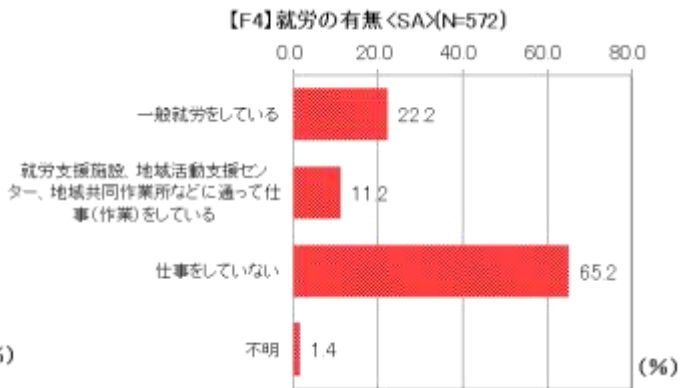
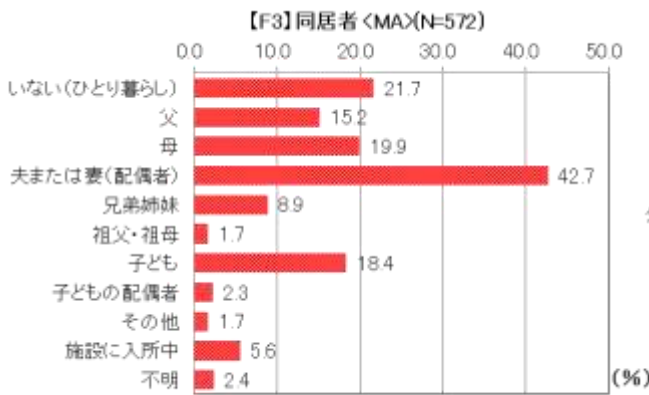
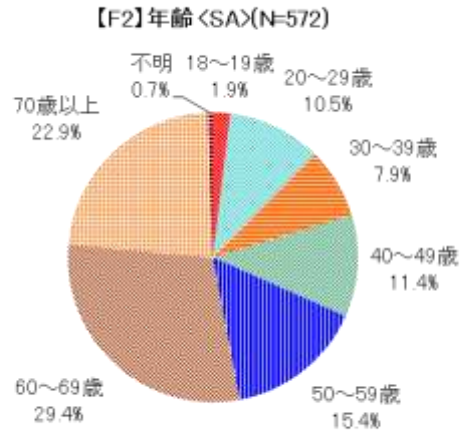
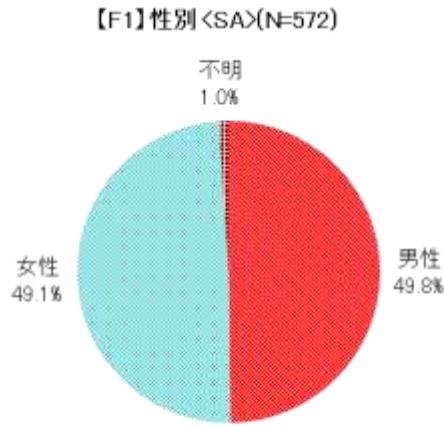
- 調査対象者
札幌市内在住の身体、知的、精神障がい別 18 歳以上の男女個人

- 発送数
1,000 名（身体：650 名、知的：150 名、精神：200 名）

- 回収数
572 名（身体：413 名、知的：72 名、精神：91 名、不明：8 名）
※障がい者手帳の種類に基づく（複数所持の場合あり） →回収率：57.2%

- 調査実施期間
平成 29 年 11 月 21 日～12 月 5 日

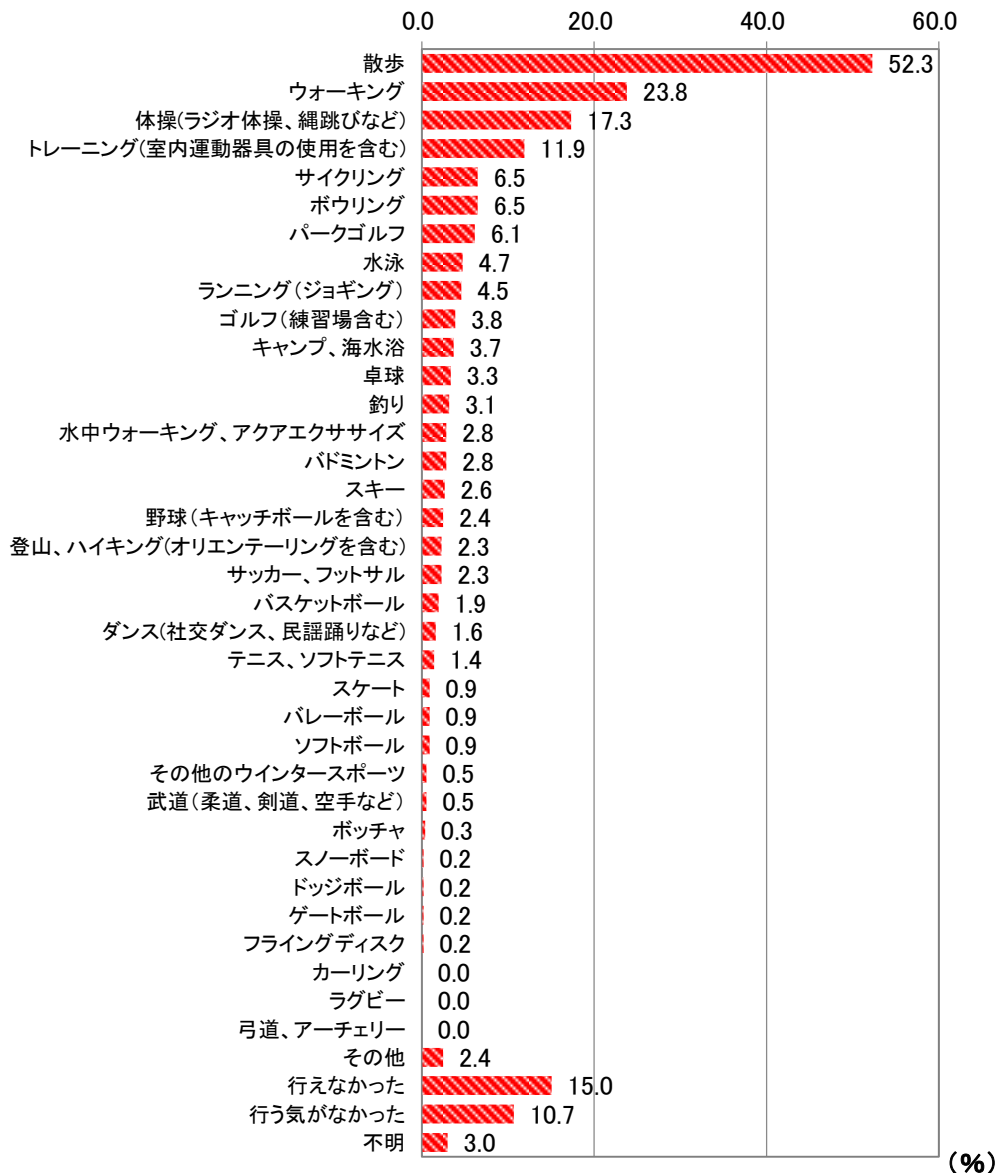
<回答者属性>



＜結果概要＞

- 過去 1 年以内に行った運動は「散歩」「ウォーキング」「体操」が多い
 - ・ 過去 1 年以内に行った運動の種類を見ると、「散歩」が 52.3%で最も多く過半数を占めている。次いで「ウォーキング（23.8%）」「体操（ラジオ体操、縄跳びなど）（17.3%）」の順。
 - ・ 年齢別で見ると、年代が高くなるにつれて「行えなかった」の割合が高くなっている。
 - ・ 就労種別では、「一般就労をしている」人で「散歩」と回答した割合が他より低くなっている。また、「就労支援施設等で仕事（作業）をしている」人で「行えなかった」と回答した割合が他より低くなっている。
 - ・ 障がい者手帳の種類別で見ると、全般的に障がいの程度が重くなるにつれて運動を「行えなかった」割合は高くなっている。また、「療育手帳 A」を持っている方の「水泳」の割合が他と比べて高くなっている。
 - ・ 障がいの種別では、「肢体不自由（車いす必要）」の「行えなかった」の割合が 52.8%と他と比べて非常に高くなっている。

過去1年以内に行った運動<MA>(N=572)



過去 1 年以内に行った運動×年代

(%)

	散歩	ウォーキング	ランニング（ジョギング）	サイクリング	トレーニング（室内運動器具の使用を含む）	体操（ラジオ体操、縄跳びなど）	ダンス（社交ダンス、民謡踊りなど）	登山、ハイキング（オリエンテーリングを含む）	スキー	スノーボード	スケート	カーリング	その他のウィンタースポーツ	釣り	キャンプ、海水浴	水泳	水中ウォーキング、アクアエクササイズ	卓球	バドミントン
全体 (N=552)	54.0	24.6	4.5	6.7	12.1	17.8	1.6	2.4	2.5	0.2	0.9	-	0.5	3.3	3.8	4.9	2.9	3.4	2.9
18～19歳 (N=11)	45.5	18.2	9.1	9.1	18.2	36.4	9.1	9.1	-	-	18.2	-	9.1	-	18.2	9.1	9.1	18.2	18.2
20～29歳 (N=58)	48.3	24.1	15.5	12.1	10.3	12.1	5.2	3.4	10.3	-	3.4	-	-	1.7	8.6	13.8	1.7	5.2	3.4
30～39歳 (N=45)	62.2	28.9	11.1	4.4	11.1	6.7	2.2	2.2	6.7	-	-	-	2.2	2.2	8.9	6.7	4.4	2.2	-
40～49歳 (N=64)	54.7	26.6	1.6	10.9	6.3	25.0	-	1.6	3.1	-	-	-	-	3.1	4.7	9.4	4.7	6.3	6.3
50～59歳 (N=85)	51.8	25.9	4.7	5.9	14.1	17.6	1.2	1.2	2.4	1.2	-	-	1.2	4.7	1.2	1.2	-	7.1	5.9
60～69歳 (N=165)	55.2	24.2	1.8	6.1	12.1	13.9	1.8	2.4	0.6	-	-	-	-	3.0	1.8	2.4	3.6	1.2	1.2
70歳以上 (N=124)	54.0	22.6	1.6	4.0	14.5	24.2	-	2.4	-	-	0.8	-	-	4.0	2.4	3.2	2.4	0.8	0.8

	テニス、ソフトテニス	野球（キャッチボールを含む）	サッカー、フットサル	バレーボール	バスケットボール	ソフトボール	ドッジボール	ラグビー	ボウリング	パークゴルフ	ゴルフ（練習場含む）	ゲートボール	フライングディスク	ポッチャ	武道（柔道、剣道、空手など）	弓道、アーチェリー	その他	行えなかった	行気がなかった
全体 (N=552)	1.4	2.5	2.4	0.7	1.8	0.9	0.2	-	6.5	6.3	4.0	0.2	0.2	0.4	0.5	-	2.5	15.6	11.1
18～19歳 (N=11)	-	9.1	-	-	27.3	-	-	-	18.2	-	-	-	9.1	-	-	-	-	9.1	-
20～29歳 (N=58)	5.2	1.7	8.6	-	5.2	-	-	-	19.0	3.4	-	-	-	1.7	-	-	3.4	5.2	17.2
30～39歳 (N=45)	-	6.7	6.7	-	4.4	2.2	2.2	-	13.3	2.2	-	-	-	-	-	-	6.7	8.9	6.7
40～49歳 (N=64)	4.7	1.6	4.7	1.6	1.6	-	-	-	3.1	1.6	-	-	-	-	3.1	-	3.1	9.4	18.8
50～59歳 (N=85)	1.2	5.9	1.2	3.5	1.2	4.7	-	-	10.6	5.9	3.5	1.2	-	-	-	-	2.4	16.5	12.9
60～69歳 (N=165)	0.6	1.8	0.6	-	-	-	-	-	1.8	8.5	7.3	-	-	-	0.6	-	1.8	16.4	11.5
70歳以上 (N=124)	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4	9.7	5.6	-	-	0.8	-	-	1.6	25.0	4.8

過去 1 年以内に行った運動×就労の状況

(%)

	散歩	ウォーキング	ランニング（ジョギング）	サイクリング	トレーニング（室内運動器具の使用を含む）	体操（ラジオ体操、縄跳びなど）	ダンス（社交ダンス、民謡踊りなど）	登山、ハイキング（オリエンテーリングを含む）	スキー	スノーボード	スケート	カーリング	その他のウィンタースポーツ	釣り	キャンプ、海水浴	水泳	水中ウォーキング、アクアエクササイズ	卓球	バドミントン
全体 (N=549)	54.1	24.8	4.6	6.7	12.2	17.9	1.6	2.4	2.6	0.2	0.9	-	0.5	3.3	3.8	4.9	2.9	3.5	2.9
一般就労をしている (N=126)	44.4	27.8	6.3	5.6	7.1	15.1	2.4	2.4	4.0	-	0.8	-	0.8	5.6	6.3	5.6	2.4	3.2	3.2
就労支援施設、地域活動支援センター、地域共同作業所などに通って仕事（作業）をしている (N=62)	59.7	29.0	6.5	11.3	12.9	19.4	4.8	3.2	8.1	-	1.6	-	-	6.5	12.9	1.6	9.7	8.1	
仕事をしていない (N=361)	56.5	23.0	3.6	6.4	13.9	18.6	0.8	2.2	1.1	0.3	0.8	-	0.6	3.0	2.5	3.3	2.5	1.9	
	テニス、ソフトテニス	野球（キャッチボールを含む）	サッカー、フットサル	バレーボール	バスケットボール	ソフトボール	ドッジボール	ラグビー	ボウリング	パークゴルフ	ゴルフ（練習場含む）	ゲートボール	フライングディスク	ポッチャ	武道（柔道、剣道、空手など）	弓道、アーチェリー	その他	行えなかった	行う気がなかった
全体 (N=549)	1.5	2.6	2.4	0.7	1.8	0.9	0.2	-	6.4	6.4	4.0	0.2	0.2	0.4	0.5	-	2.6	15.7	10.9
一般就労をしている (N=126)	2.4	6.3	2.4	-	3.2	-	0.8	-	13.5	9.5	8.7	-	-	-	1.6	-	3.2	16.7	12.7
就労支援施設、地域活動支援センター、地域共同作業所などに通って仕事（作業）をしている (N=62)	1.6	3.2	8.1	1.6	8.1	-	-	-	14.5	4.8	-	-	-	1.6	-	-	4.8	3.2	8.1
仕事をしていない (N=361)	1.1	1.1	1.4	0.8	0.3	1.4	-	-	2.5	5.5	3.0	0.3	0.3	0.3	0.3	-	1.9	17.5	10.8

過去 1 年以内に行った運動×障がい者手帳の種類

(%)

	散歩	ウォーキング	ランニング（ジョギング）	サイクリング	トレーニング（室内運動器具の使用を含む）	体操（ラジオ体操、縄跳びなど）	ダンス（社交ダンス、民謡踊りなど）	登山、ハイキング（オリエンテーリングを含む）	スキー	スノーボード	スケート	カーリング	その他のウィンタースポーツ	釣り	キャンプ、海水浴	水泳	水中ウォーキング、アクアエクササイズ	卓球	バドミントン
全体 (N=548)	54.2	24.8	4.6	6.8	12.2	18.1	1.6	2.4	2.6	0.2	0.9	-	0.5	3.3	3.8	4.7	2.9	3.5	2.9
身体障害者手帳1級 (N=130)	53.8	21.5	3.8	3.8	13.8	17.7	0.8	3.8	2.3	-	0.8	-	0.8	4.6	3.1	3.1	2.3	0.8	1.5
身体障害者手帳2級 (N=63)	50.8	15.9	4.8	1.6	11.1	6.3	-	1.6	1.6	-	-	-	-	3.2	6.3	1.6	1.6	3.2	3.2
身体障害者手帳3級 (N=61)	47.5	27.9	1.6	6.6	13.1	11.5	-	-	-	-	-	-	-	1.6	-	3.3	-	3.3	4.9
身体障害者手帳4級 (N=94)	61.7	23.4	2.1	7.4	13.8	23.4	1.1	2.1	-	-	-	-	-	4.3	2.1	3.2	6.4	-	-
身体障害者手帳5級 (N=28)	50.0	25.0	-	10.7	7.1	17.9	-	-	3.6	-	-	-	-	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	-
身体障害者手帳6級 (N=23)	56.5	43.5	4.3	8.7	8.7	26.1	-	4.3	-	-	-	-	-	4.3	-	4.3	-	4.3	8.7
療育手帳A（最重度または重度） (N=20)	60.0	25.0	5.0	-	15.0	25.0	10.0	5.0	15.0	-	5.0	-	5.0	-	20.0	30.0	10.0	10.0	5.0
療育手帳B（中度） (N=19)	47.4	21.1	10.5	15.8	5.3	26.3	5.3	5.3	10.5	-	10.5	-	-	-	5.3	10.5	10.5	5.3	5.3
療育手帳B-（軽度） (N=31)	48.4	32.3	19.4	16.1	12.9	9.7	6.5	3.2	3.2	-	-	-	-	-	6.5	6.5	-	6.5	3.2
精神障害者保健福祉手帳1級 (N=4)	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
精神障害者保健福祉手帳2級 (N=50)	62.0	22.0	2.0	8.0	10.0	26.0	-	2.0	4.0	-	2.0	-	-	2.0	2.0	6.0	-	10.0	6.0
精神障害者保健福祉手帳3級 (N=33)	45.5	36.4	9.1	12.1	12.1	18.2	6.1	-	3.0	3.0	-	-	3.0	6.1	6.1	3.0	3.0	9.1	6.1

	テニス、ソフトテニス	野球（キャッチボールを含む）	サッカー、フットサル	バレーボール	バスケットボール	ソフトボール	ドッジボール	ラグビー	ボウリング	バークゴルフ	ゴルフ（練習場含む）	ゲートボール	フライングディスク	ポッチャ	武道（柔道、剣道、空手など）	弓道、アーチェリー	その他	行えなかった	行気がなかった
全体 (N=548)	1.5	2.6	2.2	0.9	2.0	0.9	0.2	-	6.8	6.4	4.0	0.2	0.2	0.4	0.4	-	2.6	15.5	10.9
身体障害者手帳1級 (N=130)	1.5	2.3	0.8	-	-	-	-	-	4.6	5.4	8.5	-	-	0.8	0.8	-	0.8	25.4	9.2
身体障害者手帳2級 (N=63)	1.6	4.8	3.2	1.6	1.6	1.6	1.6	-	9.5	1.6	-	1.6	-	-	1.6	-	4.8	19.0	11.1
身体障害者手帳3級 (N=61)	1.6	1.6	-	-	-	-	-	-	3.3	9.8	3.3	-	-	1.6	-	-	3.3	18.0	9.8
身体障害者手帳4級 (N=94)	-	1.1	-	-	-	-	-	-	1.1	11.7	5.3	-	-	-	-	-	1.1	13.8	9.6
身体障害者手帳5級 (N=28)	-	3.6	3.6	-	-	-	-	-	3.6	7.1	10.7	-	-	-	-	-	7.1	7.1	17.9
身体障害者手帳6級 (N=23)	4.3	-	-	-	-	-	-	-	21.7	21.7	4.3	-	-	-	-	-	4.3	8.7	4.3
療育手帳A（最重度または重度） (N=20)	5.0	-	-	-	10.0	-	-	-	25.0	5.0	-	-	5.0	-	-	-	-	15.0	5.0
療育手帳B（中度） (N=19)	5.3	-	15.8	-	15.8	-	-	-	21.1	-	-	-	-	-	-	-	5.3	15.8	10.5
療育手帳B-（軽度） (N=31)	-	9.7	3.2	3.2	9.7	-	-	-	12.9	3.2	-	-	-	-	-	-	-	-	9.7
精神障害者保健福祉手帳1級 (N=4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-
精神障害者保健福祉手帳2級 (N=50)	2.0	-	6.0	2.0	2.0	4.0	-	-	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	4.0	4.0	18.0
精神障害者保健福祉手帳3級 (N=33)	-	6.1	6.1	6.1	3.0	6.1	-	-	6.1	-	-	-	-	-	-	-	6.1	12.1	15.2

過去 1 年以内に行った運動×障がいの種類

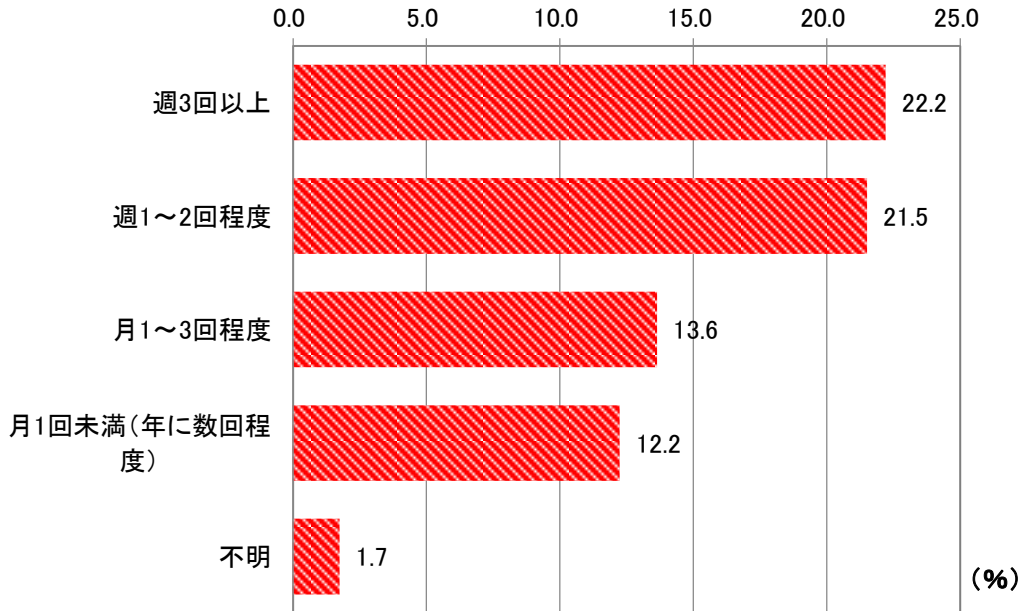
(%)

	散歩	ウォーキング	ランニング（ジョギング）	サイクリング	トレーニング（室内運動器具の使用を含む）	体操（ラジオ体操、縄跳びなど）	ダンス（社交ダンス、民謡踊りなど）	登山、ハイキング（オリエンテーリングを含む）	スキー	スノーボード	スケート	カーリング	その他のウィンタースポーツ	釣り	キャンプ、海水浴	水泳	水中ウォーキング、アクアエクササイズ	卓球	バドミントン
全体 (N=539)	54.5	24.9	4.6	6.7	12.1	18.0	1.7	2.4	2.8	0.2	0.9	-	0.6	3.3	3.9	5.0	3.0	3.3	2.8
肢体不自由（車いす必要）(N=53)	9.4	1.9	3.8	-	9.4	5.7	1.9	-	-	-	-	-	-	1.9	-	-	-	-	-
肢体不自由（車いす不要）(N=169)	56.2	24.9	0.6	5.3	13.6	17.2	0.6	-	1.2	-	-	-	-	4.1	2.4	3.6	4.1	0.6	1.2
視覚障がい(N=28)	64.3	21.4	10.7	3.6	14.3	21.4	-	3.6	-	-	-	-	-	-	-	3.6	3.6	-	-
聴覚障がい(N=23)	73.9	47.8	13.0	4.3	4.3	8.7	-	8.7	4.3	-	-	-	-	8.7	8.7	13.0	4.3	4.3	8.7
音声・言語・そしゃく機能障がい(N=19)	42.1	10.5	5.3	-	15.8	5.3	5.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	-	-
内部障がい(N=93)	65.6	26.9	5.4	7.5	15.1	21.5	-	5.4	2.2	-	-	-	1.1	3.2	4.3	2.2	3.2	3.2	2.2
知的障がい(N=62)	58.1	29.0	12.9	12.9	9.7	19.4	8.1	4.8	9.7	-	4.8	-	1.6	-	9.7	17.7	6.5	6.5	3.2
発達障がい(N=43)	51.2	27.9	14.0	14.0	9.3	20.9	4.7	2.3	7.0	-	4.7	-	-	-	2.3	9.3	-	4.7	4.7
精神障がい(N=89)	52.8	24.7	5.6	9.0	10.1	20.2	2.2	1.1	3.4	1.1	1.1	-	1.1	3.4	3.4	4.5	1.1	10.1	6.7
その他(N=46)	63.0	32.6	4.3	8.7	15.2	26.1	-	2.2	2.2	2.2	2.2	-	2.2	6.5	2.2	4.3	-	-	2.2

	テニス、ソフトテニス	野球（キャッチボールを含む）	サッカー、フットサル	バレーボール	バスケットボール	ソフトボール	ドッジボール	ラグビー	ボウリング	パークゴルフ	ゴルフ（練習場含む）	ゲートボール	フライングディスク	ポッチャ	武道（柔道、剣道、空手など）	弓道、アーチェリー	その他	行えなかった	行う気がなかった
全体 (N=539)	1.5	2.4	2.4	0.9	1.9	0.9	0.2	-	6.5	5.9	3.7	0.2	0.2	0.4	0.6	-	2.6	15.2	10.8
肢体不自由（車いす必要）(N=53)	-	1.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.9	1.9	-	-	52.8	22.6
肢体不自由（車いす不要）(N=169)	1.2	1.8	1.2	-	0.6	-	0.6	-	4.1	11.2	4.1	-	-	0.6	-	-	3.6	14.8	8.9
視覚障がい(N=28)	-	-	-	-	-	-	-	-	3.6	3.6	-	-	-	-	-	-	3.6	21.4	3.6
聴覚障がい(N=23)	8.7	-	-	-	-	-	-	-	26.1	4.3	-	-	-	-	-	-	4.3	8.7	-
音声・言語・そしゃく機能障がい(N=19)	5.3	-	-	-	-	-	-	-	10.5	-	-	-	-	-	-	-	-	36.8	5.3
内部障がい(N=93)	1.1	3.2	1.1	-	-	-	-	-	4.3	8.6	10.8	-	-	-	1.1	-	1.1	14.0	8.6
知的障がい(N=62)	3.2	3.2	4.8	-	8.1	-	-	-	17.7	3.2	-	-	1.6	-	-	-	1.6	9.7	6.5
発達障がい(N=43)	2.3	2.3	9.3	2.3	9.3	-	-	-	14.0	-	-	-	-	-	-	-	4.7	7.0	11.6
精神障がい(N=89)	2.2	3.4	5.6	4.5	2.2	5.6	-	-	2.2	1.1	-	1.1	-	-	-	3.4	12.4	15.7	
その他(N=46)	-	2.2	2.2	-	-	2.2	-	-	4.3	4.3	6.5	-	-	-	2.2	-	-	10.9	8.7

- 週 1 回以上の運動を行った「スポーツ実施率」は 43.7%
- 過去 1 年間に行った運動の頻度を全体（572 人）の中の割合で見ると、「週 3 回以上（22.2%）」 「週 1～2 回程度（21.5%）」がそれぞれ約 20%程度、「月 1～3 回程度（13.6%）」 「月 1 回未満（12.2%）」がそれぞれ約 10%程度となっており、週 1 回以上運動を行った割合（スポーツ実施率）は 43.7%であった。
- 年齢別でみると、60 代以上で「週 3 回以上」の割合が高くなっている。

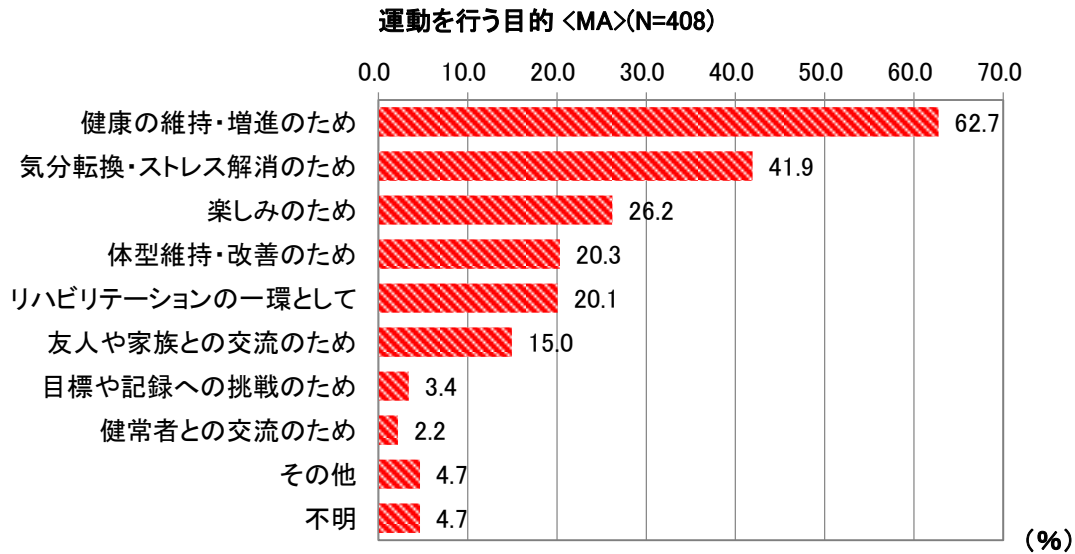
過去1年間に行った運動の頻度 <SA> (N=572)



過去 1 年以内に行った運動の頻度 × 年代

	頻度				割合 (%)
	週 3 回 以上	週 1 ～ 2 回 程度	月 1 ～ 3 回 程度	月 1 回 未 満 (年 に 数 回 程 度)	
全体 (N=395)	31.9	30.9	19.7	17.5	
18～19歳 (N=10)	20.0	30.0	20.0	30.0	
20～29歳 (N=44)	22.7	36.4	22.7	18.2	
30～39歳 (N=37)	18.9	37.8	18.9	24.3	
40～49歳 (N=46)	21.7	32.6	34.8	10.9	
50～59歳 (N=58)	24.1	32.8	17.2	25.9	
60～69歳 (N=116)	37.9	25.0	18.1	19.0	
70歳以上 (N=84)	46.4	31.0	14.3	8.3	

- 運動などの活動を行う目的は「健康の維持・増進のため」が約 60%
 - ・ 運動を行う目的を見ると、「健康の維持・増進のため（62.7%）」が最も多く、次いで「気分転換・ストレス解消のため（41.9%）」「楽しみのため（26.2%）」の順となっている。
 - ・ 年齢別では、年齢が高くなるにつれて「体型の維持・改善のため」の割合が低くなっている。
 - ・ 就労種別では、「一般就労をしている」で「楽しみのため」「友人や家族との交流のため」が全体と比べて高くなっている。また、「仕事をしていない」で「健康の維持・増進のため」が他と比べて高くなっている。
 - ・ 障がいの種別では、「肢体不自由（車いす必要）」で「リハビリテーションの一環として」の割合が他と比べて高くなっている。



運動を行う目的×年代 (%)

	健康の維持・増進のため	気分転換・ストレス解消のため	楽しみのため	友人や家族との交流のため	健常者との交流のため	体型維持・改善のため	リハビリテーションの一環として	目標や記録への挑戦のため	その他
全体 (N=386)	66.1	43.8	27.5	15.8	2.3	21.5	21.0	3.4	4.9
18～19歳 (N=10)	30.0	50.0	40.0	10.0	-	-	-	-	-
20～29歳 (N=45)	55.6	48.9	40.0	20.0	-	33.3	4.4	4.4	8.9
30～39歳 (N=35)	54.3	34.3	31.4	14.3	-	40.0	5.7	11.4	8.6
40～49歳 (N=43)	60.5	46.5	18.6	18.6	2.3	32.6	27.9	2.3	2.3
50～59歳 (N=57)	61.4	49.1	22.8	12.3	5.3	24.6	21.1	1.8	5.3
60～69歳 (N=115)	71.3	39.1	26.1	14.8	-	14.8	27.8	3.5	3.5
70歳以上 (N=81)	80.2	45.7	27.2	17.3	6.2	11.1	25.9	1.2	4.9

運動を行う目的×就労の種類

(%)

	健康の維持・増進のため	気分転換・ストレス解消のため	楽しみのため	友人や家族との交流のため	健常者との交流のため	体型維持・改善のため	リハビリテーションの一環として	目標や記録への挑戦のため	その他
全体 (N=385)	66.2	43.9	27.3	15.8	2.3	21.6	21.0	3.4	4.9
一般就労をしている (N=86)	53.5	43.0	38.4	25.6	1.2	19.8	7.0	3.5	4.7
就労支援施設、地域活動支援センター、地域共同作業所などに通って仕事（作業）をしている (N=53)	58.5	50.9	32.1	18.9	1.9	30.2	13.2	7.5	3.8
仕事をしていない (N=246)	72.4	42.7	22.4	11.8	2.8	20.3	27.6	2.4	5.3

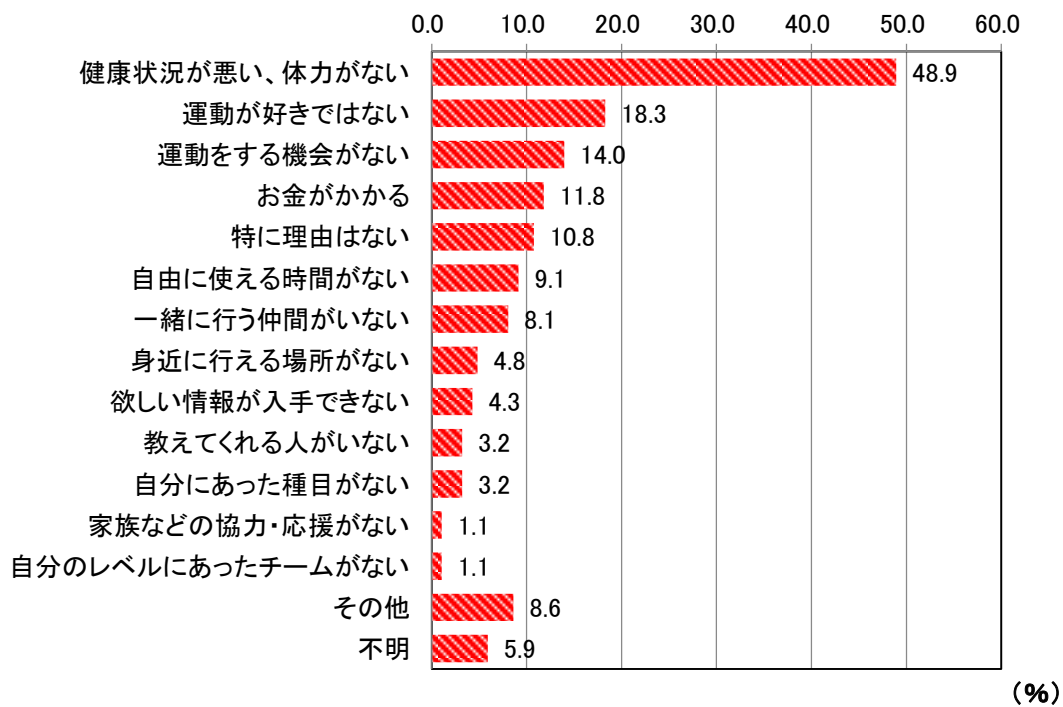
運動を行う目的×障がいの種類

(%)

	健康の維持・増進のため	気分転換・ストレス解消のため	楽しみのため	友人や家族との交流のため	健常者との交流のため	体型維持・改善のため	リハビリテーションの一環として	目標や記録への挑戦のため	その他
全体 (N=382)	66.0	44.2	27.2	15.2	2.4	21.7	20.9	3.4	5.0
肢体不自由（車いす必要） (N=11)	27.3	18.2	27.3	27.3	9.1	18.2	54.5	18.2	-
肢体不自由（車いす不要） (N=127)	73.2	37.8	20.5	14.2	2.4	22.8	35.4	3.1	5.5
視覚障がい (N=21)	76.2	38.1	23.8	14.3	-	23.8	19.0	9.5	4.8
聴覚障がい (N=20)	60.0	55.0	50.0	20.0	15.0	-	-	-	5.0
音声・言語・そしゃく機能障がい (N=11)	72.7	18.2	27.3	9.1	18.2	9.1	63.6	9.1	-
内部障がい (N=69)	69.6	46.4	31.9	20.3	4.3	15.9	17.4	1.4	1.4
知的障がい (N=51)	58.8	49.0	47.1	13.7	-	27.5	2.0	5.9	-
発達障がい (N=34)	58.8	47.1	23.5	17.6	-	29.4	2.9	5.9	8.8
精神障がい (N=59)	61.0	50.8	20.3	10.2	1.7	33.9	16.9	1.7	6.8
その他 (N=33)	63.6	45.5	21.2	9.1	-	9.1	36.4	-	9.1

- 運動を行えなかった・行う気がなかった理由 は「健康状況が悪い、体力がない」が約 50%
 - 「運動を行えなかった・行う気がなかった理由」では、「健康状況が悪い、体力がない（48.9%）」が最も多く、次いで「運動が好きではない（18.3%）」「運動をする機会がない（14.0%）」の順となっている。
 - 性別では女性のほうが男性に比べて「体力がない」の割合が高くなっている。
 - 年齢別では、年代が高くなるにつれて「健康状況が悪い、体力がない」の割合が高くなっている。
 - 就労種別では、「一般就労をしている」で「自由に使える時間がない」「運動をする機会がない」の割合が全体と比べて高くなっている。

運動を行えなかった・行う気がなかった理由 <MA> (N=186)



運動を行えなかった・行う気がなかった理由 × 性別

	自由に使える時間がない	健康状況が悪い、体力がない	欲しい情報が入手できない	一緒に行く仲間がいない	身近に行える場所がない	お金がかかる	教えてくれる人がいない	家族などの協力・応援がない	自分にあつた種目がない	自分のレベルにあつたチームがない	運動が好きではない	運動をする機会がない	その他	特に理由はない
全体 (N=174)	9.8	51.7	4.6	8.6	5.2	12.6	3.4	1.1	3.4	1.1	19.5	14.9	9.2	11.5
男性 (N=76)	14.5	43.4	6.6	7.9	5.3	11.8	3.9	1.3	1.3	-	15.8	14.5	9.2	15.8
女性 (N=98)	6.1	58.2	3.1	9.2	5.1	13.3	3.1	1.0	5.1	2.0	22.4	15.3	9.2	8.2

運動を行えなかった・行けなかった理由×年代

(%)

	自由に使える時間がない	健康状況が悪い、体力がない	欲しい情報が入手できない	一緒に行く仲間がいない	身近に行える場所がない	お金がかかる	教えてくれる人がいない	家族などの協力・応援がない	自分にあつた種目がない	自分のレベルにあつたチームがない	運動が好きではない	運動をする機会がない	その他	特に理由はない
全体 (N=175)	9.7	52.0	4.6	8.6	5.1	12.6	3.4	1.1	3.4	1.1	19.4	14.9	9.1	11.4
18～19歳 (N=2)	-	50.0	50.0	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳 (N=16)	12.5	18.8	12.5	25.0	6.3	6.3	12.5	-	-	-	43.8	18.8	-	6.3
30～39歳 (N=8)	37.5	25.0	-	25.0	-	25.0	12.5	-	12.5	-	25.0	25.0	-	25.0
40～49歳 (N=21)	4.8	47.6	4.8	-	4.8	23.8	-	-	14.3	-	14.3	19.0	9.5	14.3
50～59歳 (N=29)	10.3	44.8	10.3	13.8	6.9	20.7	3.4	-	3.4	-	24.1	20.7	13.8	6.9
60～69歳 (N=57)	10.5	61.4	1.8	7.0	3.5	8.8	-	3.5	1.8	-	14.0	7.0	14.0	10.5
70歳以上 (N=42)	4.8	64.3	-	2.4	4.8	7.1	2.4	-	-	4.8	16.7	16.7	4.8	14.3

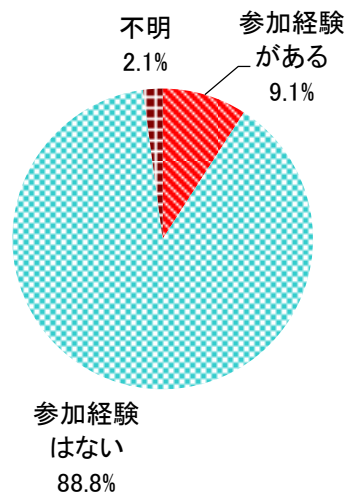
運動を行えなかった・行けなかった理由×就労の状況

(%)

	自由に使える時間がない	健康状況が悪い、体力がない	欲しい情報が入手できない	一緒に行く仲間がいない	身近に行える場所がない	お金がかかる	教えてくれる人がいない	家族などの協力・応援がない	自分にあつた種目がない	自分のレベルにあつたチームがない	運動が好きではない	運動をする機会がない	その他	特に理由はない
全体 (N=173)	9.8	52.0	4.6	8.1	4.6	12.1	3.5	1.2	3.5	1.2	19.1	15.0	9.2	11.6
一般就労をしている (N=43)	25.6	37.2	4.7	9.3	4.7	16.3	7.0	-	2.3	2.3	11.6	27.9	7.0	16.3
就労支援施設、地域活動支援センター、地域共同作業所などに通って仕事（作業）をしている (N=9)	-	33.3	33.3	33.3	22.2	-	11.1	-	-	-	33.3	11.1	-	22.2
仕事をしていない (N=121)	5.0	58.7	2.5	5.8	3.3	11.6	1.7	1.7	4.1	0.8	20.7	10.7	10.7	9.1

- 障がい者スポーツ体験会や競技教室への参加経験がある人は約 10%
 - 「障がい者スポーツ体験会や競技教室への参加経験」では、「参加経験はない（88.8%）」が約 9 割であり、「参加経験がある（9.1%）」と回答した人は約 1 割であった。
 - 年齢別では、比較的年齢が低い世代で「参加経験がある」の割合が高くなっている。
 - 就労種別では、「就労支援施設等で仕事（作業）をしている」で「参加経験がある」の割合が高くなっている。
 - 「障がい者スポーツ体験会・競技教室に参加した動機」では、「楽しみのため（38.5%）」が最も多く、次いで「健康の維持・増進のため（28.0%）」が多くなっている。
 - 「希望する障がい者スポーツの体験会や競技教室の開催場所」では「特になし（25.0%）」の回答が最も多かったが、その他では「自宅や職場の近くの学校の体育館（17.3%）」が多くなっている。

障がい者スポーツ体験会・競技教室への参加経験 <SA>(N=572)



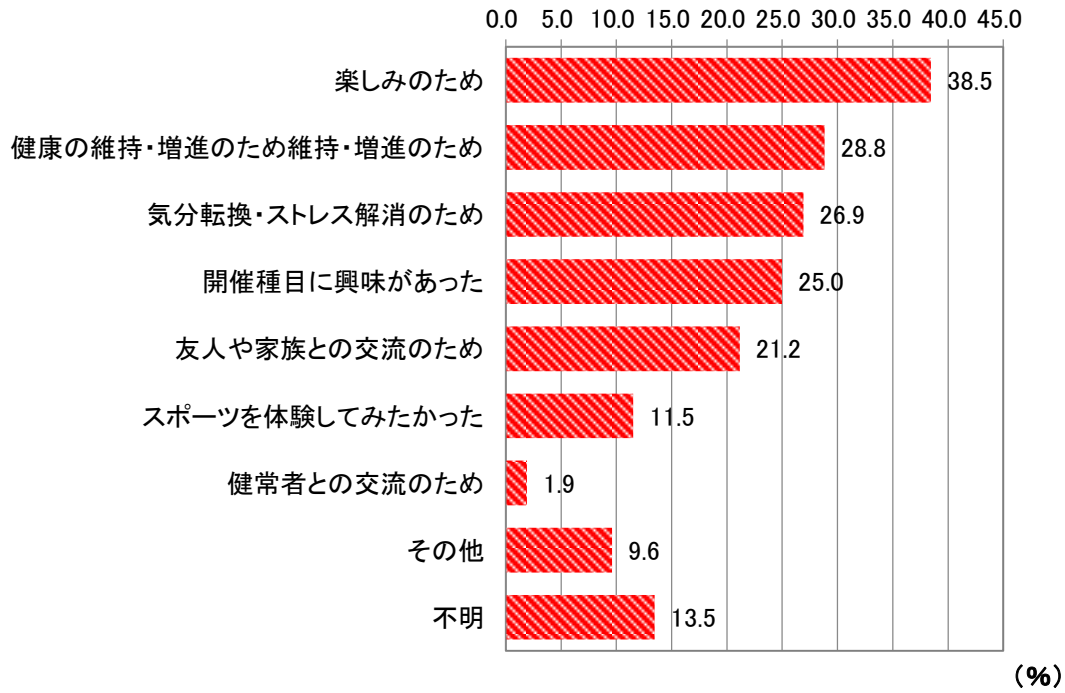
障がい者スポーツ体験会・競技教室への参加経験 × 年代 (%)

	参加経験がある (%)	参加経験はない (%)
全体 (N=558)	9.1	90.9
18～19歳 (N=11)	18.2	81.8
20～29歳 (N=60)	21.7	78.3
30～39歳 (N=44)	15.9	84.1
40～49歳 (N=65)	10.8	89.2
50～59歳 (N=87)	10.3	89.7
60～69歳 (N=164)	1.8	98.2
70歳以上 (N=127)	7.9	92.1

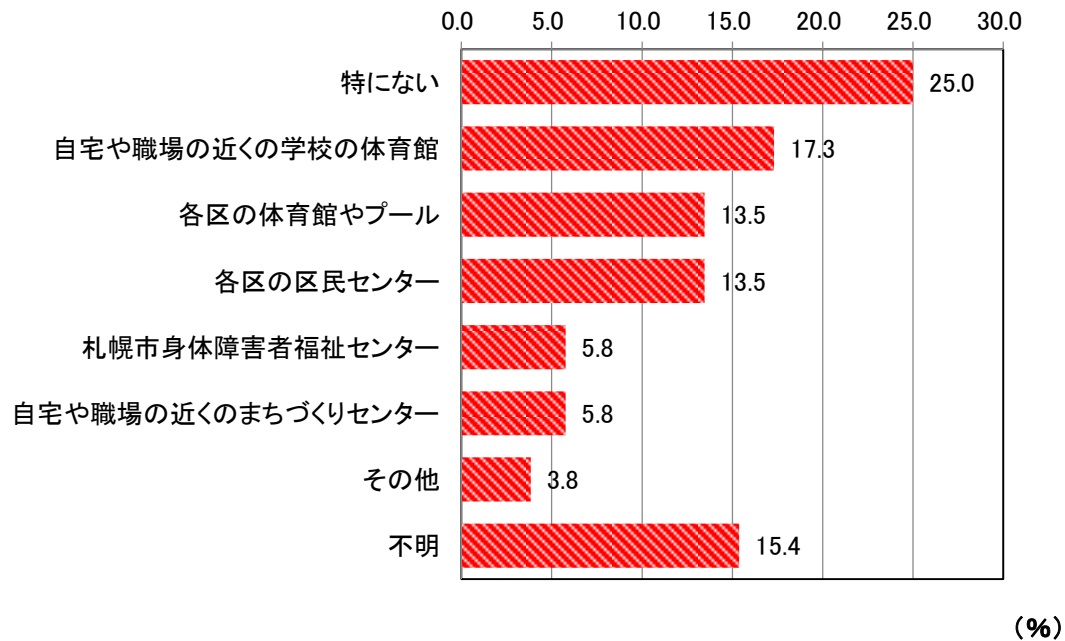
障がい者スポーツ体験会・競技教室への参加経験 × 就労の状況 (%)

	参加経験がある (%)	参加経験はない (%)
全体 (N=555)	9.2	90.8
一般就労をしている (N=126)	9.5	90.5
就労支援施設、地域活動支援センター、地域共同作業所などに通って仕事（作業）をしている (N=64)	25.0	75.0
仕事をしていない (N=365)	6.3	93.7

障がい者スポーツ体験会・競技教室に参加した動機〈MA〉（N=52）

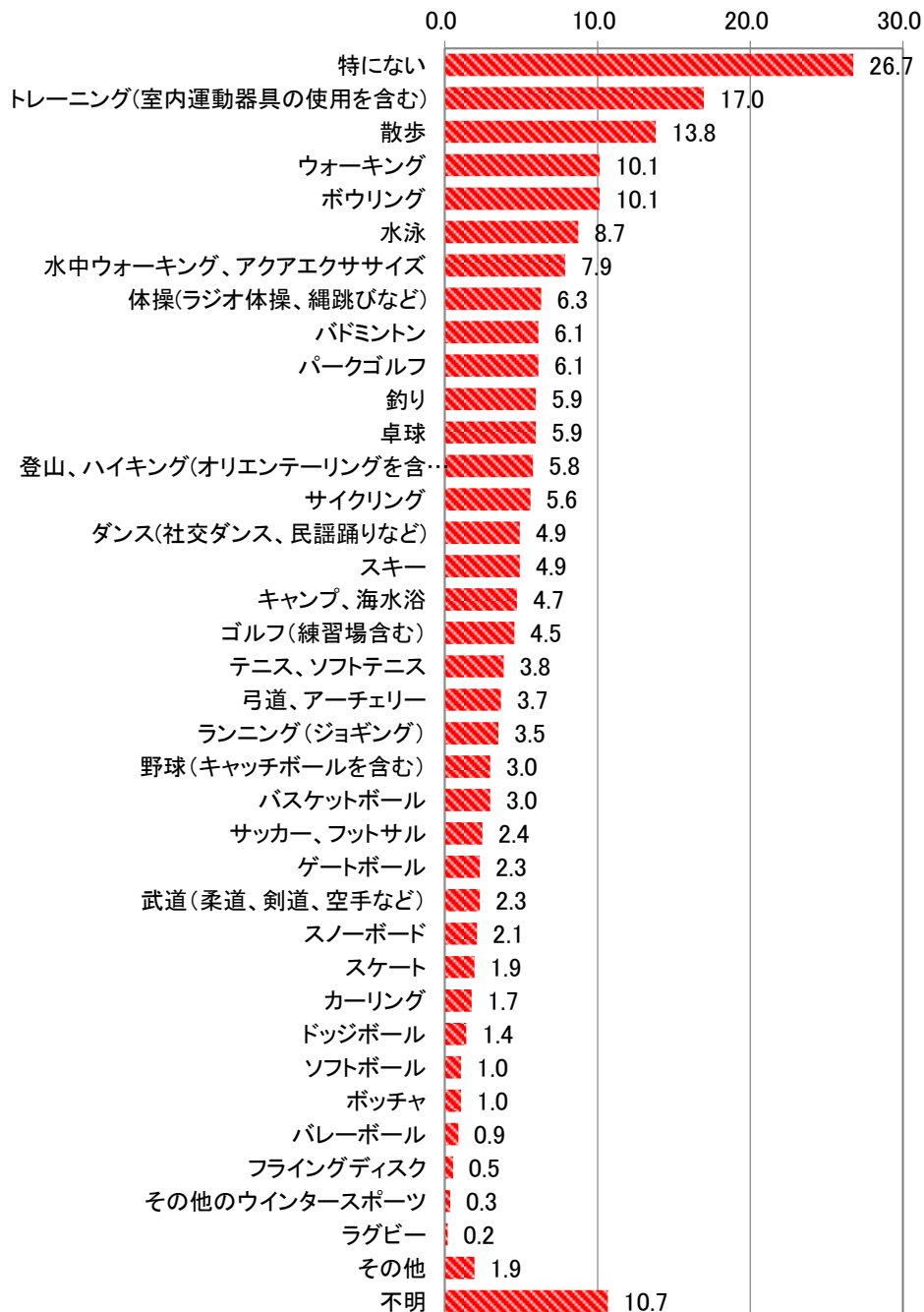


希望する障がい者スポーツの体験会や協議教室の開催場所〈SA〉(N=52)



- 必要に応じた用具・場所・指導の提供を受けられるとしたら、行ってみたい運動・活動は「トレーニング」「散歩」「ウォーキング」
 - ・ 「必要に応じた用具・場所・指導の提供を受けられるとしたら、行ってみたい運動・活動」では、「特にない（26.7%）」が最も多かったが、その他では「トレーニング（17.0%）」「散歩（13.8%）」「ウォーキング（10.1%）」「ボウリング（10.1%）」の順となっている。
 - ・ 年齢別では、「40～49 歳」で「トレーニング」、「20～29 歳」で「ボウリング」と回答した割合が全体と比べて高くなっている。
 - ・ 就労種別では、「就労支援施設等で仕事（作業）をしている」人で「ボウリング」が全体と比べて高いほか、「特にない」は全体と比べて低くなっている。

必要に応じた用具・場所・指導の提供を受けられるとしたら、
行ってみたい運動・活動 <MA>(N=572)



(%)

必要に応じた用具・場所・指導の提供を受けられるとしたら、行ってみたい運動・活動×年代

（%）

	散歩	ウォーキング	ランニング（ジョギング）	サイクリング	トレーニング（室内運動器具の使用を含む）	体操（ラジオ体操、縄跳びなど）	ダンス（社交ダンス、民謡踊りなど）	登山、ハイキング（オリエンテーリングを含む）	スキー	スノーボード	スケート	カーリング	その他のウィンタースポーツ	釣り	キャンプ、海水浴	水泳	水中ウォーキング、アクアエクササイズ	卓球	バドミントン
全体 (N=509)	15.5	11.4	3.9	6.3	19.1	7.1	5.5	6.5	5.5	2.4	2.2	2.0	0.4	6.7	5.3	9.8	8.8	6.7	6.9
18～19歳 (N=11)	9.1	-	9.1	-	9.1	-	-	-	18.2	-	-	-	-	-	-	18.2	-	9.1	18.2
20～29歳 (N=58)	8.6	5.2	5.2	5.2	10.3	3.4	10.3	8.6	10.3	3.4	8.6	3.4	-	10.3	6.9	5.2	1.7	5.2	12.1
30～39歳 (N=44)	13.6	11.4	4.5	-	13.6	4.5	4.5	4.5	6.8	4.5	2.3	-	-	6.8	4.5	13.6	9.1	6.8	6.8
40～49歳 (N=60)	11.7	13.3	3.3	11.7	30.0	5.0	1.7	3.3	10.0	6.7	5.0	5.0	3.3	6.7	11.7	18.3	10.0	10.0	11.7
50～59歳 (N=84)	13.1	11.9	6.0	9.5	27.4	7.1	4.8	9.5	7.1	2.4	1.2	2.4	-	4.8	9.5	9.5	13.1	10.7	11.9
60～69歳 (N=148)	16.9	14.2	3.4	5.4	19.6	6.8	5.4	8.8	2.0	0.7	0.7	-	-	6.1	3.4	9.5	9.5	4.7	2.0
70歳以上 (N=104)	23.1	10.6	1.9	5.8	13.5	12.5	6.7	2.9	1.9	1.0	-	2.9	-	7.7	1.0	5.8	8.7	4.8	2.9

	テニス、ソフトテニス	野球（キャッチボールを含む）	サッカー、フットサル	バレーボール	バスケットボール	ソフトボール	ドッジボール	ラグビー	ボウリング	パークゴルフ	ゴルフ（練習場含む）	ゲートボール	フライングディスク	ポッチャ	武道（柔道、剣道、空手など）	弓道、アーチェリー	その他	特になし
全体 (N=509)	4.3	3.3	2.8	1.0	3.3	1.2	1.6	0.2	11.4	6.9	5.1	2.6	0.6	1.0	2.6	4.1	2.2	29.9
18～19歳 (N=11)	9.1	9.1	-	-	9.1	-	9.1	-	18.2	-	-	-	9.1	-	-	-	-	45.5
20～29歳 (N=58)	5.2	8.6	8.6	1.7	13.8	-	3.4	1.7	22.4	8.6	5.2	1.7	1.7	3.4	5.2	6.9	1.7	29.3
30～39歳 (N=44)	4.5	6.8	11.4	2.3	9.1	4.5	4.5	-	9.1	9.1	-	4.5	-	-	2.3	2.3	4.5	22.7
40～49歳 (N=60)	5.0	5.0	3.3	-	1.7	1.7	-	-	15.0	3.3	8.3	1.7	-	-	8.3	5.0	3.3	26.7
50～59歳 (N=84)	11.9	3.6	1.2	3.6	3.6	3.6	2.4	-	13.1	6.0	10.7	3.6	-	1.2	2.4	4.8	3.6	26.2
60～69歳 (N=148)	2.0	1.4	0.7	-	-	-	-	-	4.7	6.1	4.7	2.7	-	1.4	0.7	3.4	-	33.1
70歳以上 (N=104)	-	-	-	-	-	-	1.0	-	11.5	9.6	1.9	1.9	1.0	-	1.0	3.8	2.9	31.7

必要に応じた用具・場所・指導の提供を受けられるとしたら、行ってみたい運動・活動×就労の状況

(%)

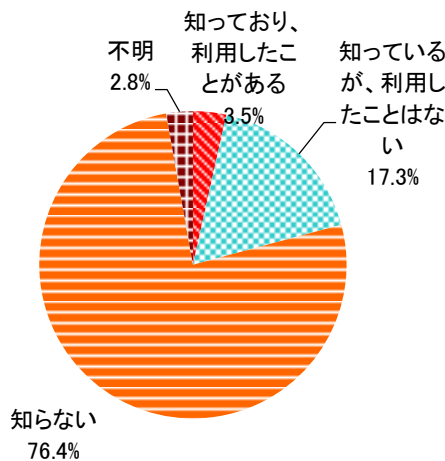
	散歩	ウォーキング	ランニング（ジョギング）	サイクリング	トレーニング（室内運動器具の使用を含む）	体操（ラジオ体操、縄跳びなど）	ダンス（社交ダンス、民謡踊りなど）	登山、ハイキング（オリエンテーリングを含む）	スキー	スノーボード	スケート	カーリング	その他のウィンタースポーツ	釣り	キャンプ、海水浴	水泳	水中ウォーキング、アクアエクササイズ	卓球	バドミントン
全体 (N=506)	15.4	11.5	4.0	6.3	19.2	7.1	5.5	6.5	5.5	2.4	2.2	2.0	0.4	6.7	5.3	9.9	8.7	6.7	6.9
一般就労をしている (N=121)	13.2	9.1	6.6	6.6	24.0	3.3	6.6	10.7	8.3	2.5	0.8	0.8	0.8	7.4	7.4	7.4	10.7	8.3	9.9
就労支援施設、地域活動支援センター、地域共同作業所などに通って仕事（作業）をしている (N=62)	12.9	14.5	8.1	8.1	11.3	6.5	6.5	9.7	8.1	4.8	11.3	3.2	-	8.1	4.8	14.5	6.5	8.1	11.3
仕事をしていない (N=323)	16.7	11.8	2.2	5.9	18.9	8.7	5.0	4.3	4.0	1.9	0.9	2.2	0.3	6.2	4.6	9.9	8.4	5.9	5.0

	テニス、ソフトテニス	野球（キャッチボールを含む）	サッカー、フットサル	バレーボール	バスケットボール	ソフトボール	ドッジボール	ラゲビー	ボウリング	パークゴルフ	ゴルフ（練習場含む）	ゲートボール	フライングディスク	ポッチャ	武道（柔道、剣道、空手など）	弓道、アーチェリー	その他	特にない
全体 (N=506)	4.3	3.4	2.8	1.0	3.4	1.2	1.6	0.2	11.3	6.9	5.1	2.6	0.6	1.0	2.6	4.2	2.2	29.8
一般就労をしている (N=121)	8.3	7.4	4.1	2.5	5.8	2.5	2.5	-	13.2	5.8	9.9	0.8	0.8	0.8	2.5	6.6	1.7	28.1
就労支援施設、地域活動支援センター、地域共同作業所などに通って仕事（作業）をしている (N=62)	4.8	6.5	3.2	-	8.1	1.6	1.6	1.6	21.0	11.3	3.2	4.8	1.6	3.2	4.8	3.2	4.8	12.9
仕事をしていない (N=323)	2.8	1.2	2.2	0.6	1.5	0.6	1.2	-	8.7	6.5	3.7	2.8	0.3	0.6	2.2	3.4	1.9	33.7

● 札幌市障がい者スポーツ協会の認知度は約 20%

- 「札幌市障がい者スポーツ協会の認知度」では、「知らない」が 76.4%、「知っているが、利用したことがない」が 17.3%、「知っており、利用したことがある」が 3.5%であった。
- 年齢別では比較的若い年代で「知っており、利用したことがある」が高くなっている。
- 就労種別では「就労支援施設等で仕事（作業）をしている」で「知っており、利用したことがある」が全体と比べて高くなっている。
- 障がい手帳の種類別では、「療育手帳」所持者で「知っており、利用したことがある」の割合が高くなっている。障がい種別では「知的障がい」で「知っており、利用したことがある」の割合が高くなっている。
- 「札幌市障がい者スポーツ協会の活動内容の認知度」については「札幌市障がい者スポーツ大会（すずらんピック）の開催（56.3%）」が最も多く、次いで「全国障がい者スポーツ大会への選手団派遣（38.7%）」、「各種スポーツ教室の開催（26.9%）」の順で多くなっている。

「札幌市障がい者スポーツ協会」の認知度
 <SA>(N=572)



札幌市障がい者スポーツ協会の認知度
 ×年代

	認知度 (%)		
	知っており、 利用したことがある	知っているが、 利用したことはない	知らない
全体 (N=553)	3.6	17.7	78.7
18～19歳 (N=11)	45.5	18.2	36.4
20～29歳 (N=60)	13.3	6.7	80.0
30～39歳 (N=45)	6.7	11.1	82.2
40～49歳 (N=64)	1.6	9.4	89.1
50～59歳 (N=88)	2.3	18.2	79.5
60～69歳 (N=163)	-	21.5	78.5
70歳以上 (N=122)	0.8	24.6	74.6

札幌市障がい者スポーツ協会の認知度
 ×就労の状況

	認知度 (%)		
	知っており、 利用したことがある	知っているが、 利用したことはない	知らない
全体 (N=550)	3.6	17.8	78.5
一般就労をしている (N=124)	4.8	18.5	76.6
就労支援施設、地域活動支援センター、地域共同作業所などに通って仕事（作業）をしている (N=64)	12.5	18.8	68.8
仕事をしていない (N=362)	1.7	17.4	80.9

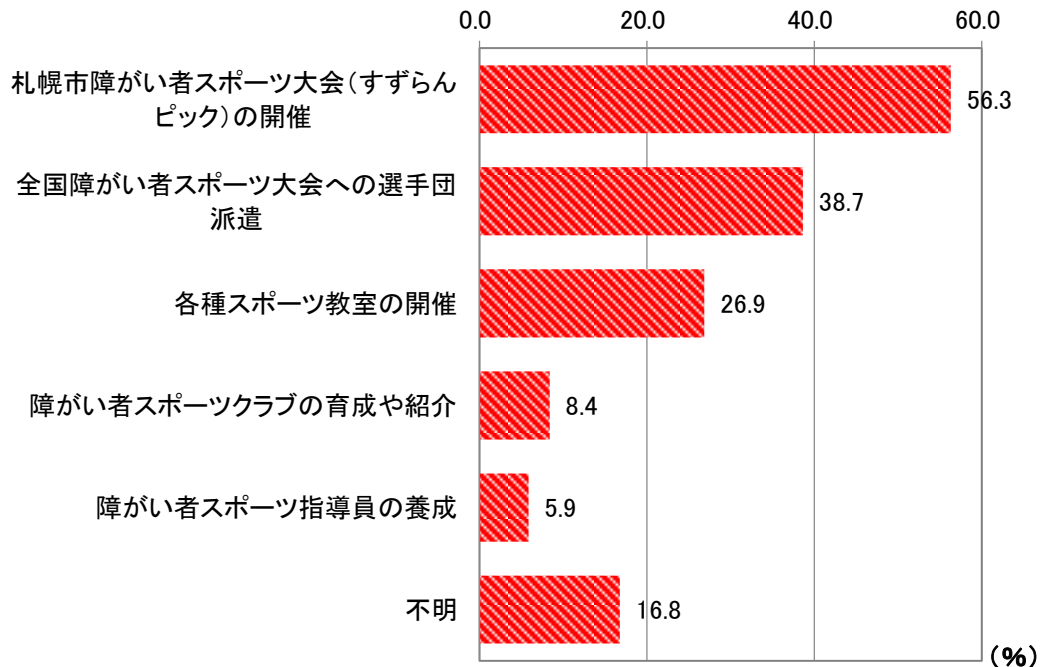
札幌市障がい者スポーツ協会の認知度
× 障がい者手帳の種類

	知っており、 利用したことがある	知っているが、 利用したことはない	知らない
全体 (N=550)	3.6	17.8	78.5
身体障害者手帳1級 (N=129)	2.3	21.7	76.0
身体障害者手帳2級 (N=65)	3.1	21.5	75.4
身体障害者手帳3級 (N=62)	1.6	22.6	75.8
身体障害者手帳4級 (N=94)	-	20.2	79.8
身体障害者手帳5級 (N=26)	-	11.5	88.5
身体障害者手帳6級 (N=23)	-	34.8	65.2
療育手帳A（最重度または重度） (N=20)	15.0	-	85.0
療育手帳B（中度） (N=20)	20.0	5.0	75.0
療育手帳B-（軽度） (N=31)	22.6	16.1	61.3
精神障害者保健福祉手帳1級 (N=5)	-	20.0	80.0
精神障害者保健福祉手帳2級 (N=50)	-	6.0	94.0
精神障害者保健福祉手帳3級 (N=34)	-	11.8	88.2

札幌市障がい者スポーツ協会の認知度
× 障がいの種類

	知っており、 利用したことがある	知っているが、 利用したことはない	知らない
全体 (N=541)	3.7	17.9	78.4
肢体不自由（車いす必要） (N=55)	5.5	16.4	78.2
肢体不自由（車いす不要） (N=170)	0.6	23.5	75.9
視覚障がい (N=27)	7.4	18.5	74.1
聴覚障がい (N=23)	4.3	30.4	65.2
音声・言語・そしゃく機能障がい (N=22)	-	22.7	77.3
内部障がい (N=93)	-	18.3	81.7
知的障がい (N=64)	20.3	6.3	73.4
発達障がい (N=43)	9.3	9.3	81.4
精神障がい (N=90)	-	10.0	90.0
その他 (N=46)	4.3	28.3	67.4

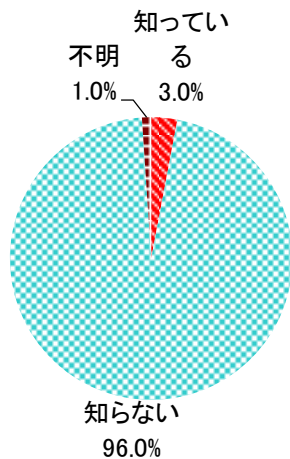
「札幌市障がい者スポーツ協会」の活動内容の認知度 <MA> (N=119)



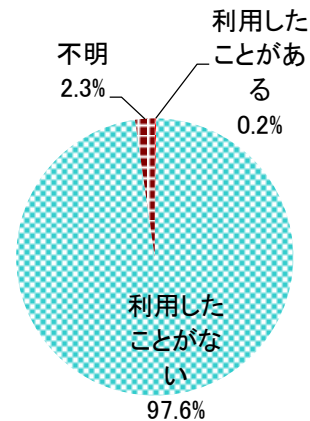
● みなみの杜高等支援学校の学校開放の認知度は約 3%、今後の利用希望は 23%

- 「みなみの杜高等支援学校」について尋ねたところ、「学校開放の認知度」については「知っている」が 3.0%、「知らない」が 96.0%であった。
- 「学校開放の利用経験」については「利用したことがある」は 0.2%、「利用したことがない」が 97.6%であった。
- 「学校開放の利用希望」については「機会があれば利用したい」が 23.1%、「利用したいと思わない」が 75.1%であった。
- 年齢別では比較的若い世代で「機会があれば利用したい」が高くなっている。

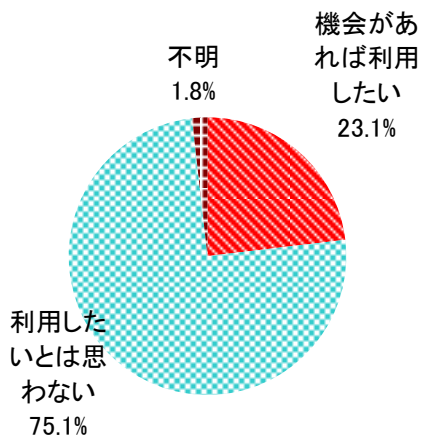
みなみの杜高等支援学校の学校開放の認知度 <SA>(N=572)



みなみの杜高等支援学校の学校開放の利用経験 <SA>(N=572)



みなみの杜高等支援学校の学校開放の利用希望 <SA> (N=558)



みなみの杜高等支援学校の学校開放の利用希望×年代

	(%)	
	機会があれば利用したい	利用したいと思わない
全体 (N=545)	23.5	76.5
18～19歳 (N=10)	10.0	90.0
20～29歳 (N=57)	33.3	66.7
30～39歳 (N=43)	32.6	67.4
40～49歳 (N=62)	30.6	69.4
50～59歳 (N=87)	24.1	75.9
60～69歳 (N=160)	19.4	80.6
70歳以上 (N=126)	18.3	81.7

3. 平成 29 年度障がい者の運動などの活動に関するアンケート調査(若年者向け)

<調査概要>

- 調査方法
郵送によるアンケート調査

- 調査対象者
札幌市内在住の身体、知的、精神障がい別の平成 11 年 4 月 2 日～平成 17 年 4 月 1 日までに生まれた男女個人

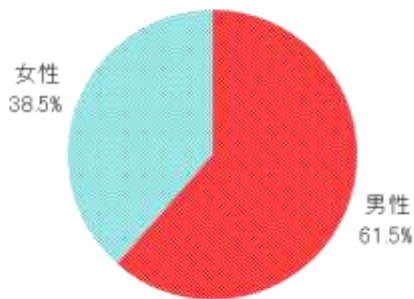
- 発送数
600 名（身体：300 名、知的：250 名、精神：50 名）

- 回収数
288 名（身体：145 名、知的：192 名、精神：34 名、不明：3 名）
※障がい者手帳の種類に基づく（複数所持の場合あり） →回収率：48.0%

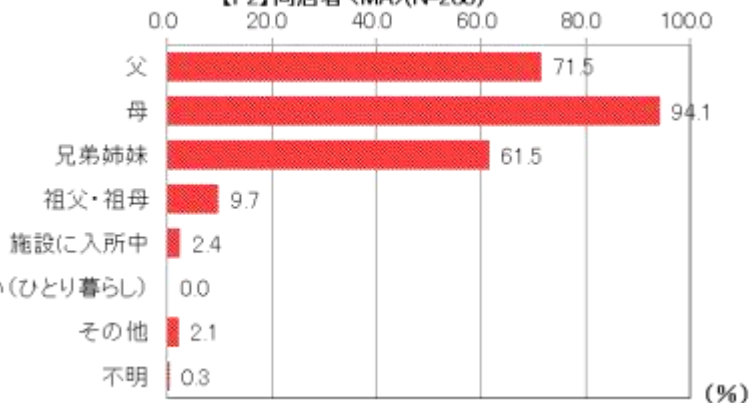
- 調査実施期間
平成 29 年 12 月 13 日～12 月 25 日

<回答者属性>

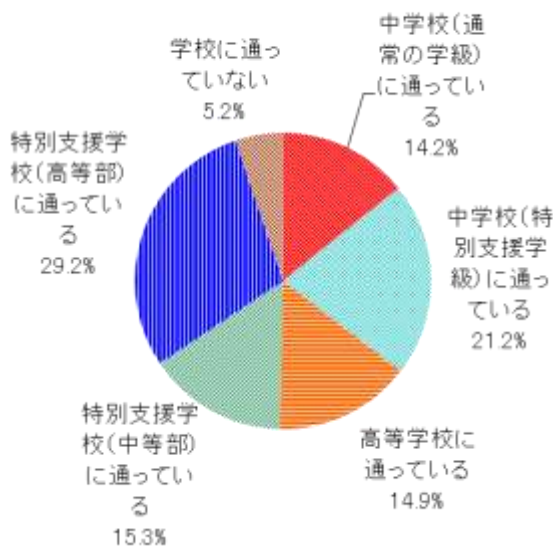
【F1】性別<SA>(N=288)



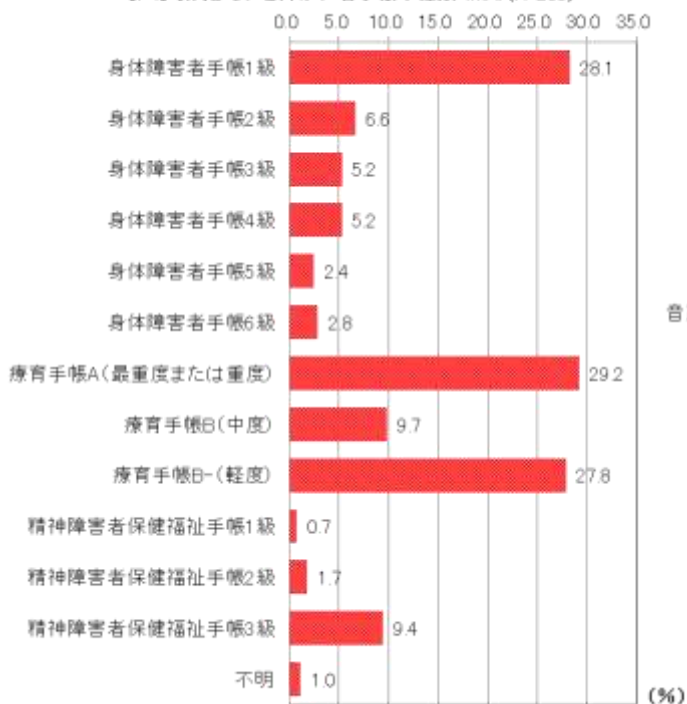
【F2】同居者<MA>(N=288)



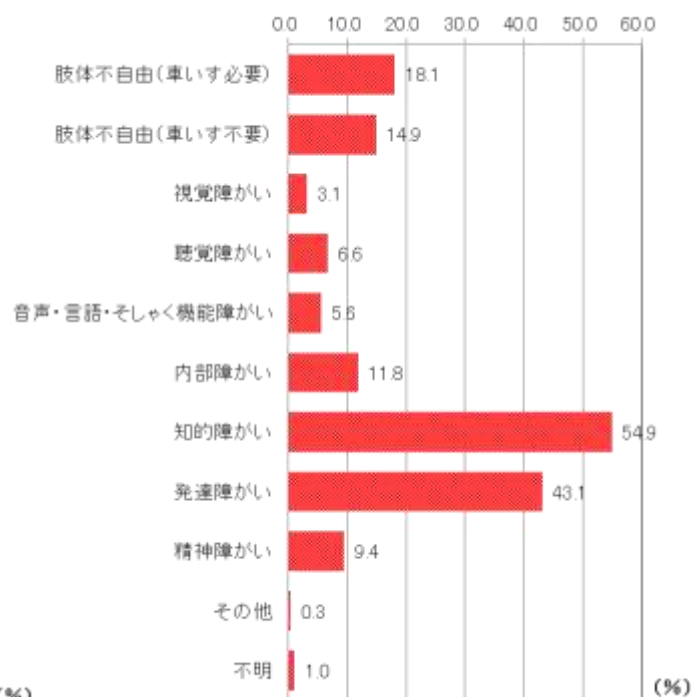
【F3】就学の状況<SA>(N=288)



【F4】取得している障がい者手帳の種類<MA>(N=288)



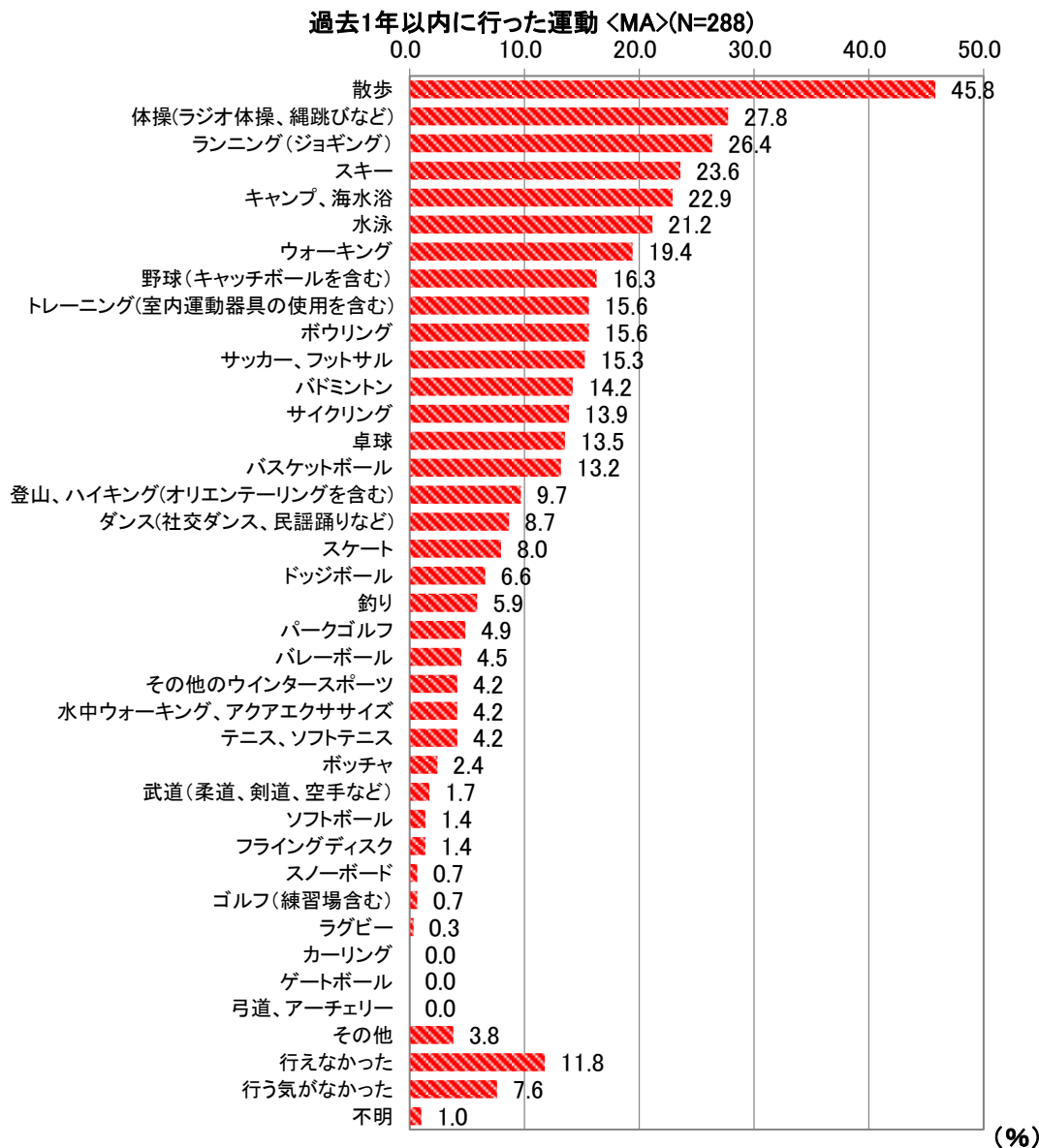
【F5】かかえている障がいの種類<MA>(N=288)



<結果概要>

● 過去 1 年以内に行った運動は「散歩」「体操」「ランニング」が多い

- 過去 1 年以内に行った運動の種類を見ると、「散歩（45.8%）」が最も多く、次いで「体操（ラジオ体操、縄跳びなど）（27.8%）」「ランニング（ジョギング）（26.4%）」の順となっている。
- 性別では、「男性」が「女性」に比べて「ランニング（ジョギング）」と回答した割合が高くなっている。
- 就学状況別では、「中学校（通常の学級）に通っている」人で「スキー」「キャンプ、海水浴」と回答した割合が高くなっている。また、「中学校（特別支援学級）に通っている」人で「散歩」「体操」と回答した割合が高くなっている。
- 障がい者手帳の種類別で見ると、「身体障害者手帳 1 級」で「行えなかった」割合が高くなっている。
- 障がいの種別では、「肢体不自由（車いす必要）」の「行えなかった」の割合が 40.4%と高くなっている。「肢体不自由（車いす不要）」「視覚障がい」で「散歩」「ウォーキング」の割合が高くなっている。



過去 1 年以内に行った運動×性別

(%)

	散歩	ウォーキング	ランニング（ジョギング）	サイクリング	トレーニング（室内運動器具の使用を含む）	体操（ラジオ体操、縄跳びなど）	ダンス（社交ダンス、民謡踊りなど）	登山、ハイキング（オリエンテーリングを含む）	スキー	スノーボード	スケート	カーリング	その他のウィンタースポーツ	釣り	キャンプ、海水浴	水泳	水中ウォーキング、アクアエクササイズ	卓球	バドミントン
全体 (N=288)	45.8	19.4	26.4	13.9	15.6	27.8	8.7	9.7	23.6	0.7	8.0	-	4.2	5.9	22.9	21.2	4.2	13.5	14.2
男性 (N=177)	43.5	19.8	30.5	15.3	16.9	27.1	6.2	10.2	24.9	1.1	9.0	-	2.3	7.3	24.9	22.6	4.5	12.4	13.0
女性 (N=111)	49.5	18.9	19.8	11.7	13.5	28.8	12.6	9.0	21.6	-	6.3	-	7.2	3.6	19.8	18.9	3.6	15.3	16.2

	テニス、ソフトテニス	野球（キャッチボールを含む）	サッカー、フットサル	バレーボール	バスケットボール	ソフトボール	ドッジボール	ラグビー	ボウリング	パークゴルフ	ゴルフ（練習場含む）	ゲートボール	フライングディスク	ボッチャ	武道（柔道、剣道、空手など）	弓道、アーチェリー	その他	行えなかった	行気がなかった
全体 (N=288)	4.2	16.3	15.3	4.5	13.2	1.4	6.6	0.3	15.6	4.9	0.7	-	1.4	2.4	1.7	-	3.8	11.8	7.6
男性 (N=177)	5.1	20.9	18.1	4.0	15.3	1.7	7.9	0.6	16.9	5.6	0.6	-	1.7	2.3	1.7	-	2.3	11.3	6.8
女性 (N=111)	2.7	9.0	10.8	5.4	9.9	0.9	4.5	-	13.5	3.6	0.9	-	0.9	2.7	1.8	-	6.3	12.6	9.0

過去 1 年以内に行った運動×就学の状況

(%)

	散歩	ウォーキング	ランニング（ジョギング）	サイクリング	トレーニング（室内運動器具の使用を含む）	体操（ラジオ体操、縄跳びなど）	ダンス（社交ダンス、民謡踊りなど）	登山、ハイキング（オリエンテーリングを含む）	スキー	スノーボード	スケート	カーリング	その他のウィンタースポーツ	釣り	キャンプ、海水浴	水泳	水中ウォーキング、アクアエクササイズ	卓球	バドミントン
全体 (N=288)	45.8	19.4	26.4	13.9	15.6	27.8	8.7	9.7	23.6	0.7	8.0	-	4.2	5.9	22.9	21.2	4.2	13.5	14.2
中学校（通常の学級）に通っている (N=41)	39.0	19.5	31.7	34.1	22.0	34.1	14.6	4.9	53.7	-	9.8	-	2.4	12.2	43.9	24.4	-	26.8	26.8
中学校（特別支援学級）に通っている (N=61)	57.4	19.7	37.7	19.7	16.4	42.6	8.2	14.8	32.8	-	14.8	-	4.9	8.2	32.8	26.2	4.9	14.8	18.0
高等学校に通っている (N=43)	44.2	27.9	16.3	14.0	11.6	20.9	7.0	11.6	16.3	2.3	2.3	-	2.3	4.7	7.0	18.6	-	16.3	16.3
特別支援学校（中等部）に通っている (N=44)	47.7	13.6	15.9	4.5	6.8	18.2	-	2.3	-	-	4.5	-	4.5	2.3	15.9	13.6	6.8	2.3	6.8
特別支援学校（高等部）に通っている (N=84)	38.1	19.0	31.0	7.1	19.0	22.6	13.1	9.5	21.4	-	6.0	-	4.8	4.8	17.9	23.8	6.0	11.9	10.7
学校に通っていない (N=15)	60.0	13.3	-	-	13.3	26.7	-	20.0	6.7	6.7	13.3	-	6.7	-	20.0	6.7	6.7	6.7	-

	テニス、ソフトテニス	野球（キャッチボールを含む）	サッカー、フットサル	バレーボール	バスケットボール	ソフトボール	ドッジボール	ラグビー	ボウリング	パークゴルフ	ゴルフ（練習場含む）	ゲートボール	フライングディスク	ポッチャ	武道（柔道、剣道、空手など）	弓道、アーチェリー	その他	行えなかった	行う気がなかった
全体 (N=288)	4.2	16.3	15.3	4.5	13.2	1.4	6.6	0.3	15.6	4.9	0.7	-	1.4	2.4	1.7	-	3.8	11.8	7.6
中学校（通常の学級）に通っている (N=41)	7.3	24.4	26.8	9.8	14.6	2.4	12.2	-	14.6	9.8	2.4	-	-	2.4	9.8	-	2.4	4.9	4.9
中学校（特別支援学級）に通っている (N=61)	6.6	26.2	18.0	4.9	21.3	-	13.1	-	29.5	4.9	-	-	3.3	-	-	-	3.3	6.6	3.3
高等学校に通っている (N=43)	9.3	9.3	9.3	7.0	4.7	2.3	2.3	-	11.6	2.3	-	-	2.3	-	2.3	-	-	11.6	14.0
特別支援学校（中等部）に通っている (N=44)	-	4.5	4.5	-	2.3	-	-	-	4.5	-	2.3	-	-	6.8	-	-	4.5	22.7	6.8
特別支援学校（高等部）に通っている (N=84)	1.2	16.7	17.9	3.6	17.9	1.2	6.0	1.2	16.7	6.0	-	-	-	3.6	-	-	6.0	13.1	8.3
学校に通っていない (N=15)	-	6.7	6.7	-	6.7	6.7	-	-	-	6.7	-	-	6.7	-	-	-	6.7	13.3	13.3

過去 1 年以内に行った運動×障がい者手帳の種類

(%)

	散歩	ウォーキング	ランニング（ジョギング）	サイクリング	トレーニング（室内運動器具の使用を含む）	体操（ラジオ体操、縄跳びなど）	ダンス（社交ダンス、民謡踊りなど）	登山、ハイキング（オリエンテーリングを含む）	スキー	スノーボード	スケート	カーリング	その他のウィンタースポーツ	釣り	キャンプ、海水浴	水泳	水中ウォーキング、アクアエクササイズ	卓球	バドミントン
全体 (N=285)	46.3	19.6	26.7	13.7	15.8	28.1	8.8	9.8	23.5	0.7	8.1	-	4.2	6.0	23.2	21.1	4.2	13.7	14.4
身体障害者手帳1級 (N=81)	37.0	13.6	11.1	2.5	3.7	11.1	2.5	2.5	12.3	-	2.5	-	4.9	2.5	18.5	11.1	4.9	2.5	6.2
身体障害者手帳2級 (N=19)	73.7	15.8	21.1	10.5	15.8	10.5	5.3	5.3	10.5	-	-	-	-	-	-	5.3	-	21.1	10.5
身体障害者手帳3級 (N=15)	73.3	26.7	26.7	33.3	26.7	66.7	26.7	13.3	20.0	-	13.3	-	-	13.3	13.3	26.7	6.7	33.3	26.7
身体障害者手帳4級 (N=15)	40.0	26.7	20.0	20.0	6.7	46.7	13.3	20.0	40.0	-	6.7	-	-	6.7	40.0	40.0	6.7	33.3	20.0
身体障害者手帳5級 (N=7)	28.6	42.9	28.6	14.3	42.9	57.1	28.6	28.6	42.9	-	28.6	-	14.3	-	14.3	71.4	-	14.3	14.3
身体障害者手帳6級 (N=8)	50.0	37.5	50.0	12.5	25.0	12.5	-	-	37.5	-	-	-	-	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	-
療育手帳A（最重度または重度） (N=84)	50.0	21.4	17.9	4.8	11.9	25.0	9.5	11.9	16.7	-	7.1	-	8.3	3.6	19.0	22.6	9.5	7.1	9.5
療育手帳B（中度） (N=28)	42.9	14.3	21.4	14.3	10.7	39.3	7.1	7.1	32.1	-	10.7	-	3.6	7.1	32.1	32.1	14.3	7.1	7.1
療育手帳B-（軽度） (N=80)	47.5	18.8	43.8	18.8	25.0	32.5	10.0	11.3	27.5	1.3	12.5	-	5.0	7.5	26.3	22.5	-	16.3	21.3
精神障害者保健福祉手帳1級 (N=2)	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
精神障害者保健福祉手帳2級 (N=5)	60.0	20.0	-	20.0	-	-	20.0	-	20.0	-	20.0	-	-	-	20.0	40.0	-	20.0	20.0
精神障害者保健福祉手帳3級 (N=27)	33.3	18.5	14.8	11.1	25.9	14.8	7.4	3.7	22.2	7.4	3.7	-	3.7	14.8	22.2	11.1	-	22.2	14.8

	テニス、ソフトテニス	野球（キャッチボールを含む）	サッカー、フットサル	バレーボール	バスケットボール	ソフトボール	ドッジボール	ラグビー	ボウリング	パークゴルフ	ゴルフ（練習場含む）	ゲートボール	フライングディスク	ポッチャ	武道（柔道、剣道、空手など）	弓道、アーチェリー	その他	行えなかった	行気がなかった
全体 (N=285)	4.2	16.5	15.4	4.6	13.3	1.4	6.7	0.4	15.8	4.9	0.7	-	1.4	2.5	1.8	-	3.9	11.6	7.4
身体障害者手帳1級 (N=81)	2.5	8.6	8.6	1.2	2.5	-	2.5	-	6.2	2.5	-	-	-	7.4	1.2	-	6.2	30.9	4.9
身体障害者手帳2級 (N=19)	-	21.1	15.8	5.3	5.3	-	5.3	-	5.3	-	-	-	-	-	-	-	5.3	5.3	15.8
身体障害者手帳3級 (N=15)	13.3	33.3	20.0	26.7	13.3	13.3	20.0	-	13.3	6.7	-	-	6.7	-	6.7	-	13.3	-	-
身体障害者手帳4級 (N=15)	6.7	26.7	26.7	-	13.3	-	6.7	-	33.3	6.7	-	-	6.7	-	-	-	-	-	13.3
身体障害者手帳5級 (N=7)	-	-	14.3	-	-	-	-	-	42.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3
身体障害者手帳6級 (N=8)	-	-	-	12.5	25.0	-	12.5	-	25.0	-	-	-	-	-	12.5	-	-	-	-
療育手帳A（最重度または重度） (N=84)	-	16.7	13.1	1.2	8.3	1.2	7.1	-	10.7	3.6	-	-	-	4.8	-	-	6.0	15.5	6.0
療育手帳B（中度） (N=28)	3.6	21.4	10.7	3.6	14.3	-	3.6	-	35.7	3.6	-	-	3.6	-	-	-	3.6	10.7	10.7
療育手帳B-（軽度） (N=80)	6.3	17.5	21.3	5.0	25.0	1.3	7.5	1.3	20.0	7.5	1.3	-	1.3	-	1.3	-	2.5	1.3	6.3
精神障害者保健福祉手帳1級 (N=2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
精神障害者保健福祉手帳2級 (N=5)	-	40.0	-	-	-	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	-
精神障害者保健福祉手帳3級 (N=27)	7.4	11.1	22.2	7.4	14.8	-	3.7	-	11.1	7.4	-	-	-	-	3.7	-	-	3.7	18.5

過去 1 年以内に行った運動×障がいの種類

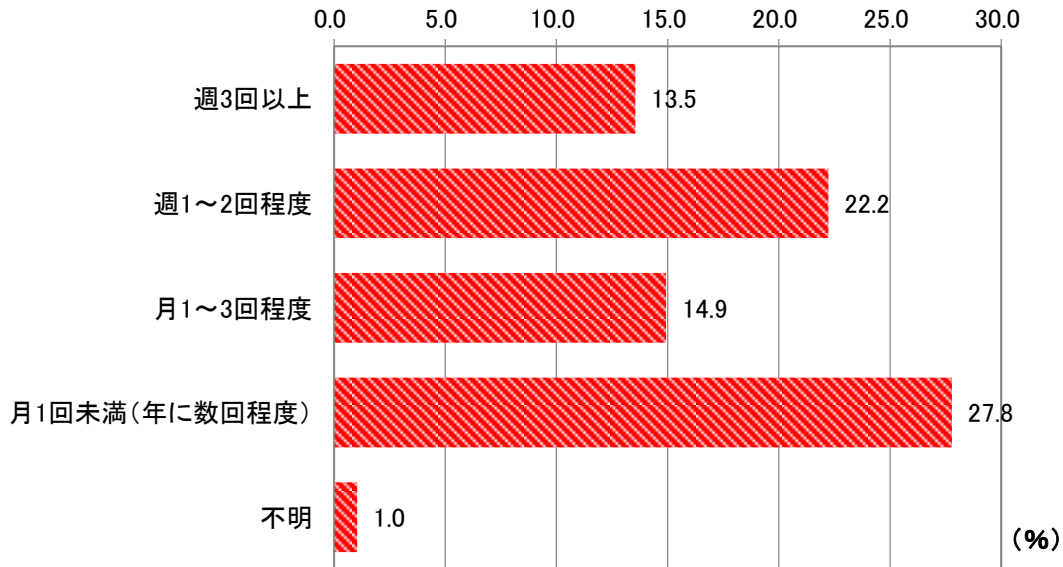
(%)

	散歩	ウォーキング	ランニング（ジョギング）	サイクリング	トレーニング（室内運動器具の使用を含む）	体操（ラジオ体操、縄跳びなど）	ダンス（社交ダンス、民謡踊りなど）	登山、ハイキング（オリエンテーリングを含む）	スキー	スノーボード	スケート	カーリング	その他のウィンタースポーツ	釣り	キャンプ、海水浴	水泳	水中ウォーキング、アクアエクササイズ	卓球	バドミントン
全体 (N=285)	45.3	19.3	26.3	13.7	15.8	27.7	8.4	9.8	23.5	0.7	8.1	-	4.2	5.6	22.8	21.4	4.2	13.7	14.0
肢体不自由（車いす必要）(N=52)	28.8	-	7.7	-	3.8	11.5	1.9	-	3.8	-	-	-	3.8	-	9.6	11.5	3.8	-	-
肢体不自由（車いす不要）(N=43)	60.5	34.9	27.9	16.3	20.9	27.9	7.0	11.6	14.0	-	2.3	-	7.0	4.7	20.9	25.6	9.3	18.6	7.0
視覚障がい(N=9)	55.6	33.3	22.2	-	11.1	22.2	22.2	11.1	33.3	-	33.3	-	11.1	-	33.3	33.3	-	22.2	-
聴覚障がい(N=19)	57.9	26.3	21.1	15.8	15.8	31.6	15.8	10.5	42.1	-	5.3	-	-	-	21.1	26.3	5.3	26.3	21.1
音声・言語・そしゃく機能障がい(N=16)	12.5	-	6.3	-	6.3	6.3	6.3	-	-	-	-	-	6.3	-	12.5	-	6.3	-	-
内部障がい(N=34)	44.1	23.5	17.6	14.7	11.8	35.3	5.9	14.7	26.5	-	14.7	-	2.9	14.7	29.4	17.6	5.9	14.7	23.5
知的障がい(N=158)	50.0	20.3	26.6	10.1	15.2	27.8	8.9	11.4	19.0	0.6	8.9	-	6.3	5.1	24.1	22.8	7.0	9.5	10.8
発達障がい(N=124)	46.0	20.2	29.0	12.9	20.2	27.4	5.6	11.3	24.2	0.8	8.1	-	4.8	6.5	25.0	21.8	2.4	13.7	19.4
精神障がい(N=27)	33.3	14.8	18.5	7.4	14.8	22.2	7.4	-	3.7	7.4	11.1	-	-	7.4	22.2	11.1	-	14.8	11.1
その他(N=1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	テニス、ソフトテニス	野球（キャッチボールを含む）	サッカー、フットサル	バレーボール	バスケットボール	ソフトボール	ドッジボール	ラグビー	ボウリング	パークゴルフ	ゴルフ（練習場含む）	ゲートボール	フライングディスク	ポッチャ	武道（柔道、剣道、空手など）	弓道、アーチェリー	その他	行えなかった	行う気がなかった
全体 (N=285)	4.2	16.1	15.4	4.6	13.3	1.4	6.7	0.4	15.4	4.9	0.7	-	1.1	2.5	1.4	-	3.9	11.9	7.7
肢体不自由（車いす必要）(N=52)	1.9	11.5	1.9	-	-	-	-	-	3.8	-	-	-	-	7.7	-	-	7.7	40.4	3.8
肢体不自由（車いす不要）(N=43)	2.3	11.6	14.0	2.3	7.0	2.3	7.0	-	16.3	2.3	-	-	2.3	2.3	2.3	-	4.7	2.3	7.0
視覚障がい(N=9)	-	11.1	11.1	-	-	-	-	-	33.3	11.1	-	-	-	-	-	-	-	22.2	-
聴覚障がい(N=19)	5.3	21.1	15.8	15.8	10.5	-	10.5	-	26.3	5.3	-	-	-	5.3	-	-	-	5.3	5.3
音声・言語・そしゃく機能障がい(N=16)	-	6.3	-	-	-	-	-	-	6.3	-	-	-	-	6.3	-	-	-	43.8	18.8
内部障がい(N=34)	5.9	14.7	17.6	5.9	8.8	2.9	8.8	-	8.8	5.9	2.9	-	2.9	5.9	-	-	5.9	20.6	5.9
知的障がい(N=158)	1.9	16.5	15.2	2.5	14.6	0.6	6.3	0.6	17.1	4.4	0.6	-	0.6	2.5	-	-	5.1	11.4	5.7
発達障がい(N=124)	3.2	18.5	19.4	4.8	17.7	0.8	5.6	0.8	14.5	5.6	0.8	-	0.8	2.4	1.6	-	4.8	7.3	8.1
精神障がい(N=27)	7.4	7.4	18.5	7.4	11.1	-	3.7	-	18.5	3.7	3.7	-	-	-	-	-	3.7	3.7	14.8
その他(N=1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-

- 週 1 回以上の運動を行った「スポーツ実施率」は 35.8%
- 過去 1 年間に行った運動の頻度を全体（288 人）の中の割合で見ると、「週 3 回以上（13.5%）」
「週 1～2 回程度（22.2%）」となっており、週 1 回以上運動を行った割合（スポーツ実施率）は
35.8%であった。
- 性別では、「男性」が「女性」に比べて週 1～2 回以上と回答した割合が 10%ほど高くなっている。

過去1年間に行った運動の頻度 <SA> (N=288)



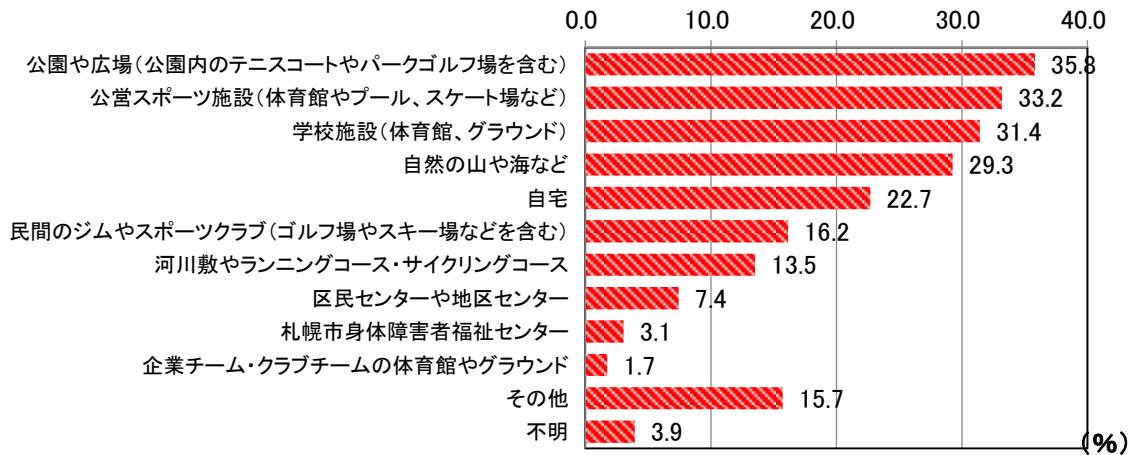
過去 1 年以内に行った運動の頻度 × 性別 (%)

	週 3 回 以 上	週 1 ～ 2 回 程 度	月 1 ～ 3 回 程 度	月 1 回 未 満 (年 に 数 回 程 度)	不 明
全体 (N=229)	17.0	27.9	18.8	34.9	1.3
男性 (N=143)	16.1	32.2	16.1	34.3	1.4
女性 (N=86)	18.6	20.9	23.3	36.0	1.2

● 運動を行う場所は「公園や広場」「公営スポーツ施設」「学校施設」が多い

- 「運動を行う場所」では、「公園や広場（35.8%）」が最も多く、次いで「公営スポーツ施設（33.2%）」「学校施設（31.4%）」の順となっている。
- 性別では、「男性」が「女性」に比べて「公園や広場」と回答した割合が高くなっている。
- 就学状況別では、「中学校（通常の学級）に通っている」「特別支援学校（高等部）」で「学校施設」、「中学校（特別支援学級）」で「公園や広場」と回答した割合が高くなっている。

運動を行う場所<MA>(N=229)



運動を行う場所×性別

	学校施設(体育館、グラウンド)	公営スポーツ施設(体育館やプール、スケート場など)	札幌市身体障害者福祉センター	民間のジムやスポーツクラブ(ゴルフ場やスキー場などを含む)	企業チーム・クラブチームの体育館やグラウンド	区民センターや地区センター	河川敷やランニングコース・サイクリングコース	公園や広場(公園内のテニスコートやパークゴルフ場を含む)	自然の山や海など	自宅	その他	不明
全体(N=229)	31.4	33.2	3.1	16.2	1.7	7.4	13.5	35.8	29.3	22.7	15.7	3.9
男性(N=143)	33.6	33.6	2.8	15.4	2.8	7.0	18.2	39.9	31.5	20.3	10.5	6.3
女性(N=86)	27.9	32.6	3.5	17.4	-	8.1	5.8	29.1	25.6	26.7	24.4	-

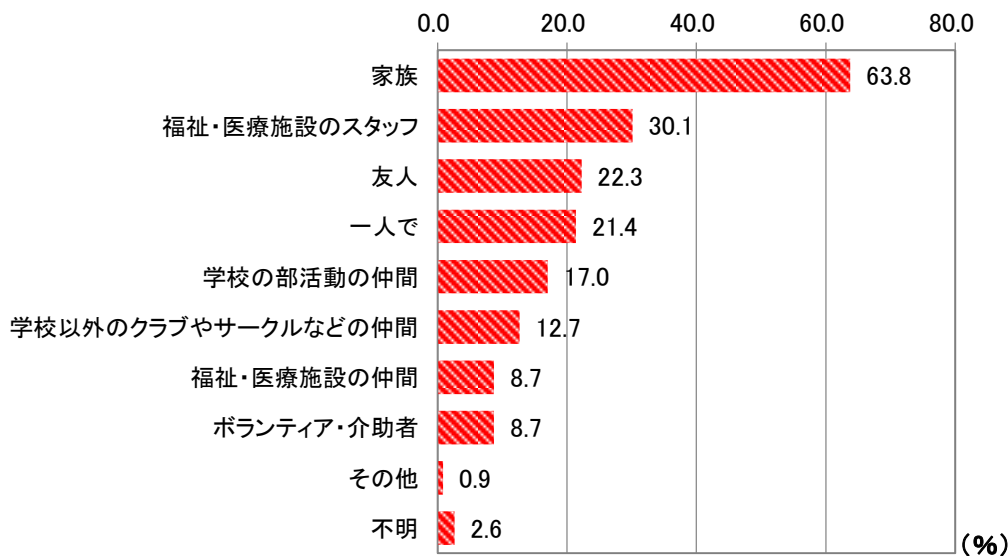
運動を行う場所×就学の状況

	学校施設(体育館、グラウンド)	公営スポーツ施設(体育館やプール、スケート場など)	札幌市身体障害者福祉センター	民間のジムやスポーツクラブ(ゴルフ場やスキー場などを含む)	企業チーム・クラブチームの体育館やグラウンド	区民センターや地区センター	河川敷やランニングコース・サイクリングコース	公園や広場(公園内のテニスコートやパークゴルフ場を含む)	自然の山や海など	自宅	その他	不明
全体(N=229)	31.4	33.2	3.1	16.2	1.7	7.4	13.5	35.8	29.3	22.7	15.7	3.9
中学校(通常の学級)に通っている(N=37)	48.6	37.8	5.4	29.7	2.7	8.1	21.6	32.4	43.2	13.5	2.7	-
中学校(特別支援学級)に通っている(N=55)	20.0	38.2	-	16.4	3.6	5.5	14.5	49.1	34.5	23.6	18.2	7.3
高等学校に通っている(N=31)	25.8	35.5	-	9.7	-	6.5	19.4	32.3	19.4	25.8	12.9	3.2
特別支援学校(中等部)に通っている(N=30)	23.3	20.0	3.3	10.0	-	-	6.7	40.0	26.7	23.3	16.7	3.3
特別支援学校(高等部)に通っている(N=65)	43.1	32.3	4.6	13.8	1.5	13.8	9.2	21.5	23.1	20.0	20.0	4.6
学校に通っていない(N=11)	-	27.3	9.1	18.2	-	-	9.1	63.6	27.3	54.5	27.3	-

● 運動を行う相手は「家族」が約 60%

- 「運動を一緒に行う相手」では、「家族（63.8%）」が最も多く、次いで「福祉・医療施設のスタッフ（30.1%）」「友人（22.3%）」の順となっている。
- 就学状況別では、「高等学校に通っている」で「一人で」の割合が他と比べて高くなっている。また、「中学校（通常の学級）に通っている」で「友人」の割合が高くなっている。
- 障がい者手帳の種類別では「身体障害者手帳 1 級」「療育手帳 A」「療育手帳 B」で「家族」の割合が高くなっている。

運動を一緒に行う相手 <MA>(N=229)



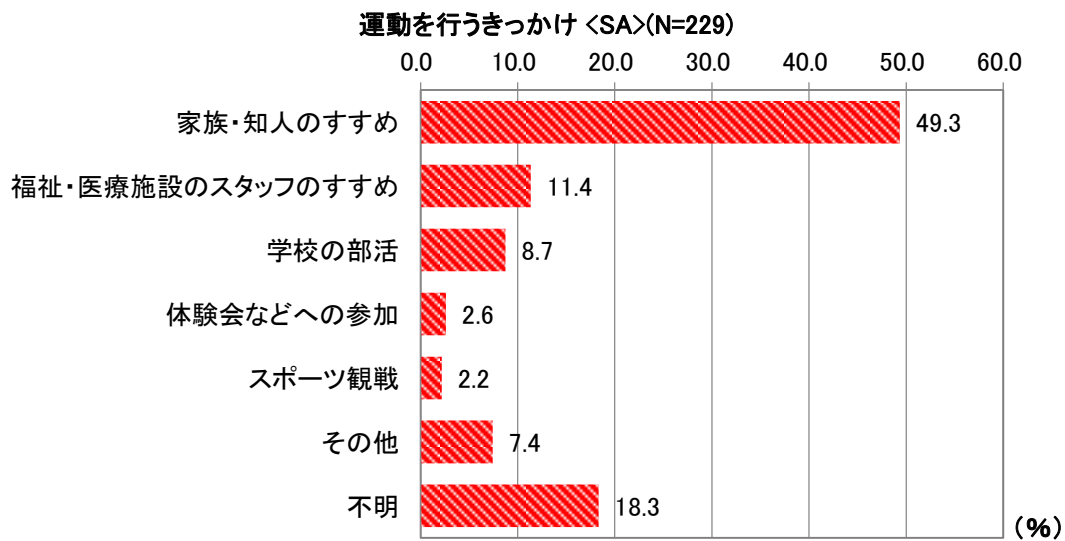
運動を一緒に行う相手 × 就学の状況

	一人で	家族	友人	福祉・医療施設の仲間	学校の部活動の仲間	学校以外のクラブやサークルなどの仲間	福祉・医療施設のスタッフ	ボランティア・介助者	その他	不明
全体 (N=229)	21.4	63.8	22.3	8.7	17.0	12.7	30.1	8.7	0.9	2.6
中学校（通常の学級）に通っている (N=37)	24.3	70.3	51.4	5.4	29.7	18.9	13.5	2.7	2.7	2.7
中学校（特別支援学級）に通っている (N=55)	18.2	70.9	16.4	14.5	5.5	10.9	41.8	5.5	-	5.5
高等学校に通っている (N=31)	41.9	51.6	19.4	3.2	22.6	6.5	3.2	3.2	-	-
特別支援学校（中等部）に通っている (N=30)	-	80.0	6.7	-	3.3	3.3	46.7	16.7	-	3.3
特別支援学校（高等部）に通っている (N=65)	24.6	49.2	18.5	10.8	26.2	18.5	33.8	13.8	1.5	1.5
学校に通っていない (N=11)	9.1	81.8	27.3	18.2	-	9.1	36.4	9.1	-	-

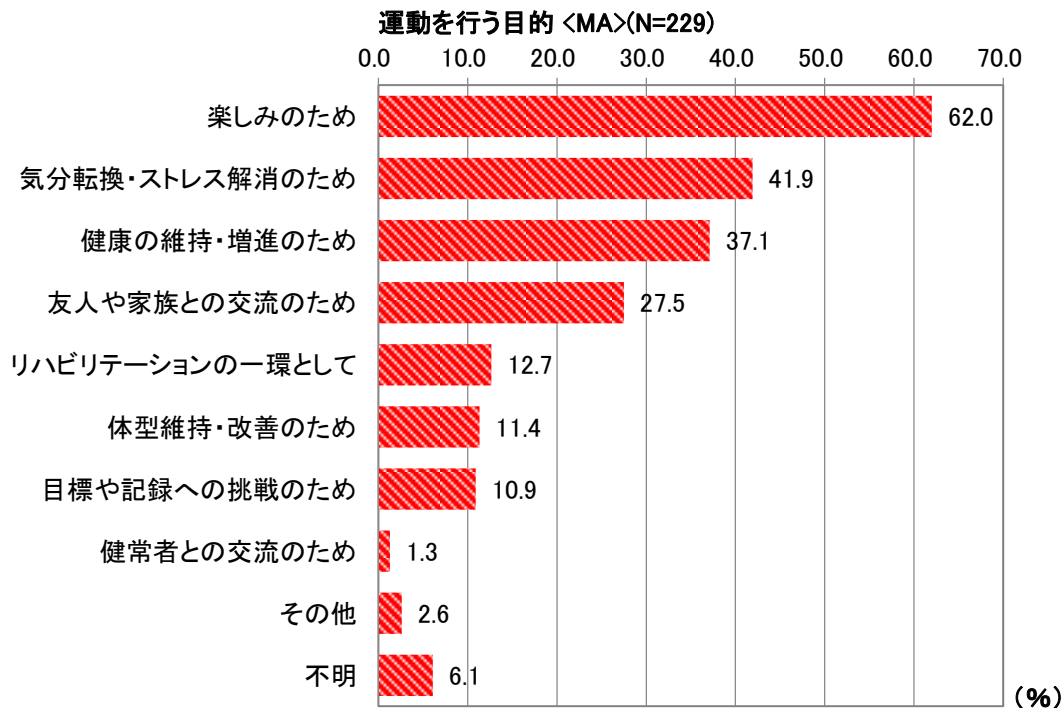
運動を一緒に行う相手×障がい者手帳の種類

	一人 で	家 族	友 人	福 祉 ・ 医 療 施 設 の 仲 間	学 校 の 部 活 動 の 仲 間	学 校 以 外 の ク ラ ブ や サ ー ク ル な ど の 仲 間	福 祉 ・ 医 療 施 設 の ス タ フ	ポ ラ ン テ ィ ア ・ 介 助 者	そ の 他	不 明
全体 (N=228)	21.5	63.6	22.4	8.8	17.1	12.7	30.3	8.8	0.9	2.6
身体障害者手帳1級 (N=49)	6.1	81.6	20.4	2.0	10.2	10.2	32.7	14.3	2.0	4.1
身体障害者手帳2級 (N=15)	26.7	60.0	13.3	-	20.0	6.7	20.0	6.7	-	-
身体障害者手帳3級 (N=15)	13.3	60.0	40.0	-	33.3	13.3	20.0	-	-	-
身体障害者手帳4級 (N=13)	30.8	61.5	15.4	7.7	23.1	15.4	23.1	15.4	-	-
身体障害者手帳5級 (N=6)	-	33.3	16.7	50.0	33.3	33.3	66.7	16.7	-	-
身体障害者手帳6級 (N=8)	25.0	62.5	12.5	25.0	25.0	12.5	50.0	-	-	-
療育手帳A（最重度または重度） (N=64)	1.6	73.4	4.7	7.8	4.7	10.9	53.1	18.8	1.6	4.7
療育手帳B（中度） (N=22)	4.5	77.3	4.5	22.7	4.5	13.6	54.5	13.6	-	4.5
療育手帳B-（軽度） (N=74)	32.4	52.7	27.0	8.1	24.3	14.9	17.6	4.1	-	4.1
精神障害者保健福祉手帳1級 (N=1)	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-
精神障害者保健福祉手帳2級 (N=5)	40.0	20.0	-	20.0	-	40.0	60.0	-	-	-
精神障害者保健福祉手帳3級 (N=21)	42.9	52.4	28.6	4.8	19.0	14.3	14.3	-	4.8	-

- 運動を行うきっかけは「家族・知人のすすめ」が約 50%
 - ・ 「運動を行うきっかけ」では、「家族・知人のすすめ（49.3%）」がおよそ半分を占めている。次いで「福祉・医療施設のスタッフのすすめ（11.4%）」「学校の部活（8.7%）」の順となっている。



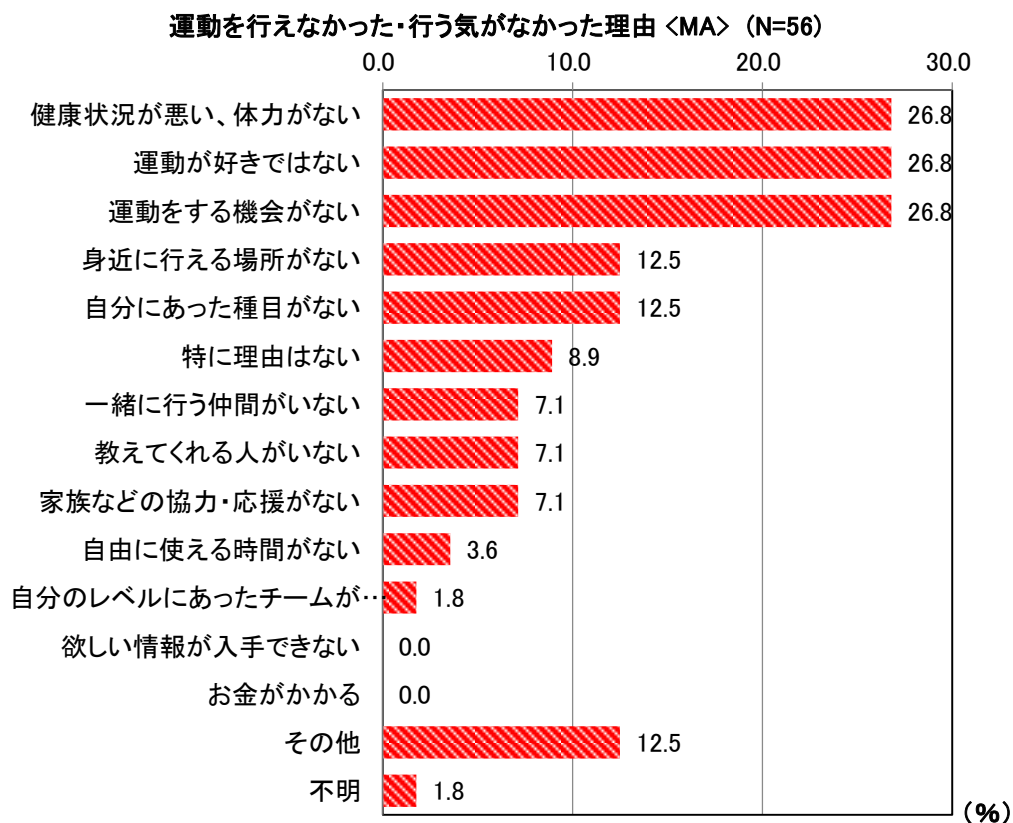
- 運動を行う目的は「楽しみのため」が約 60%
 - 「運動を行う目的」では、「楽しみのため（62.0%）」が最も多く、次いで「気分転換・ストレス解消のため（41.9%）」「健康の維持・増進のため（37.1%）」の順で多くなっている。
 - 性別では「女性」のほうが「男性」に比べて「健康の維持・増進のため」と回答した割合が高くなっている。



運動を行う目的 × 性別 (%)

	健康の維持・増進のため	気分転換・ストレス解消のため	楽しみのため	友人や家族との交流のため	健常者との交流のため	体型維持・改善のため	リハビリテーションの一環として	目標や記録への挑戦のため	その他	不明
全体 (N=229)	37.1	41.9	62.0	27.5	1.3	11.4	12.7	10.9	2.6	6.1
男性 (N=143)	33.6	44.8	64.3	31.5	-	9.1	9.1	14.0	2.1	5.6
女性 (N=86)	43.0	37.2	58.1	20.9	3.5	15.1	18.6	5.8	3.5	7.0

- 運動を行えなかった・行う気がなかった理由 は「健康状況が悪い、体力がない」「運動が好きではない」「運動をする機会がない」
- 「運動を行えなかった・行う気がなかった理由」では、「健康状況が悪い、体力がない」「運動が好きではない」「運動をする機会がない」がいずれも 26.8%で多くなっている。
- 性別では「女性」が「男性」に比べて「運動が好きではない」「運動をする機会がない」の項目で高くなっている。
- 障がい者手帳の種類別では「身体障害者手帳 1 級」で「健康状況が悪い、体力がない」の割合が他と比べて高くなっている。



運動を行えなかった・行う気がなかった理由 × 性別

	自由に使える時間がない	健康状況が悪い、体力がない	欲しい情報が入手できない	一緒に行く仲間がいない	身近に行える場所がない	お金がかかる	教えてくれる人がいない	家族などの協力・応援がない	自分にあった種目がない	自分のレベルにあったチームがない	運動が好きではない	運動をする機会がない	その他	特に理由はない	不明
全体 (N=56)	3.6	26.8	-	7.1	12.5	-	7.1	7.1	12.5	1.8	26.8	26.8	12.5	8.9	1.8
男性 (N=32)	3.1	28.1	-	6.3	12.5	-	6.3	3.1	9.4	-	18.8	21.9	21.9	6.3	3.1
女性 (N=24)	4.2	25.0	-	8.3	12.5	-	8.3	12.5	16.7	4.2	37.5	33.3	-	12.5	-

運動を行えなかった・行けなかった理由×障がい者手帳の種類

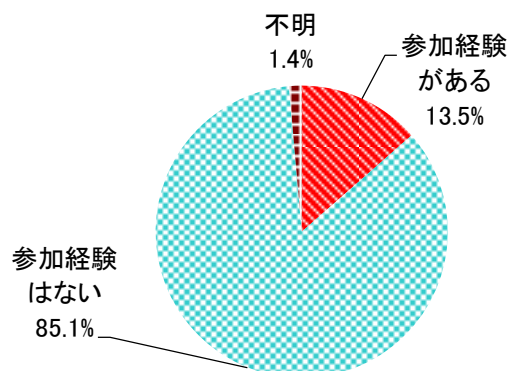
(%)

	自由に使える時間がない	健康状況が悪い、体力がない	欲しい情報が入手できない	一緒に行う仲間がない	身近に行える場所がない	お金がかかる	教えてくれる人がいない	家族などの協力・応援がない	自分にあつた種目がない	自分のレベルにあつたチームがない	運動が好きではない	運動をする機会がない	その他	特に理由はない	不明
全体 (N=54)	3.7	27.8	-	7.4	13.0	-	7.4	7.4	13.0	1.9	25.9	27.8	13.0	7.4	1.9
身体障害者手帳1級 (N=29)	6.9	44.8	-	6.9	10.3	-	10.3	6.9	10.3	3.4	10.3	24.1	20.7	3.4	-
身体障害者手帳2級 (N=4)	-	-	-	25.0	-	-	-	-	50.0	-	75.0	-	25.0	-	-
身体障害者手帳3級 (N=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
身体障害者手帳4級 (N=2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-
身体障害者手帳5級 (N=1)	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
身体障害者手帳6級 (N=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
療育手帳A（最重度または重度）(N=18)	-	33.3	-	5.6	22.2	-	11.1	5.6	27.8	-	22.2	38.9	-	5.6	-
療育手帳B（中度）(N=6)	-	16.7	-	-	16.7	-	16.7	16.7	-	-	16.7	66.7	16.7	-	-
療育手帳B-（軽度）(N=6)	-	-	-	-	16.7	-	-	16.7	-	-	33.3	16.7	-	33.3	16.7
精神障害者保健福祉手帳1級 (N=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
精神障害者保健福祉手帳2級 (N=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
精神障害者保健福祉手帳3級 (N=6)	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-	33.3	-

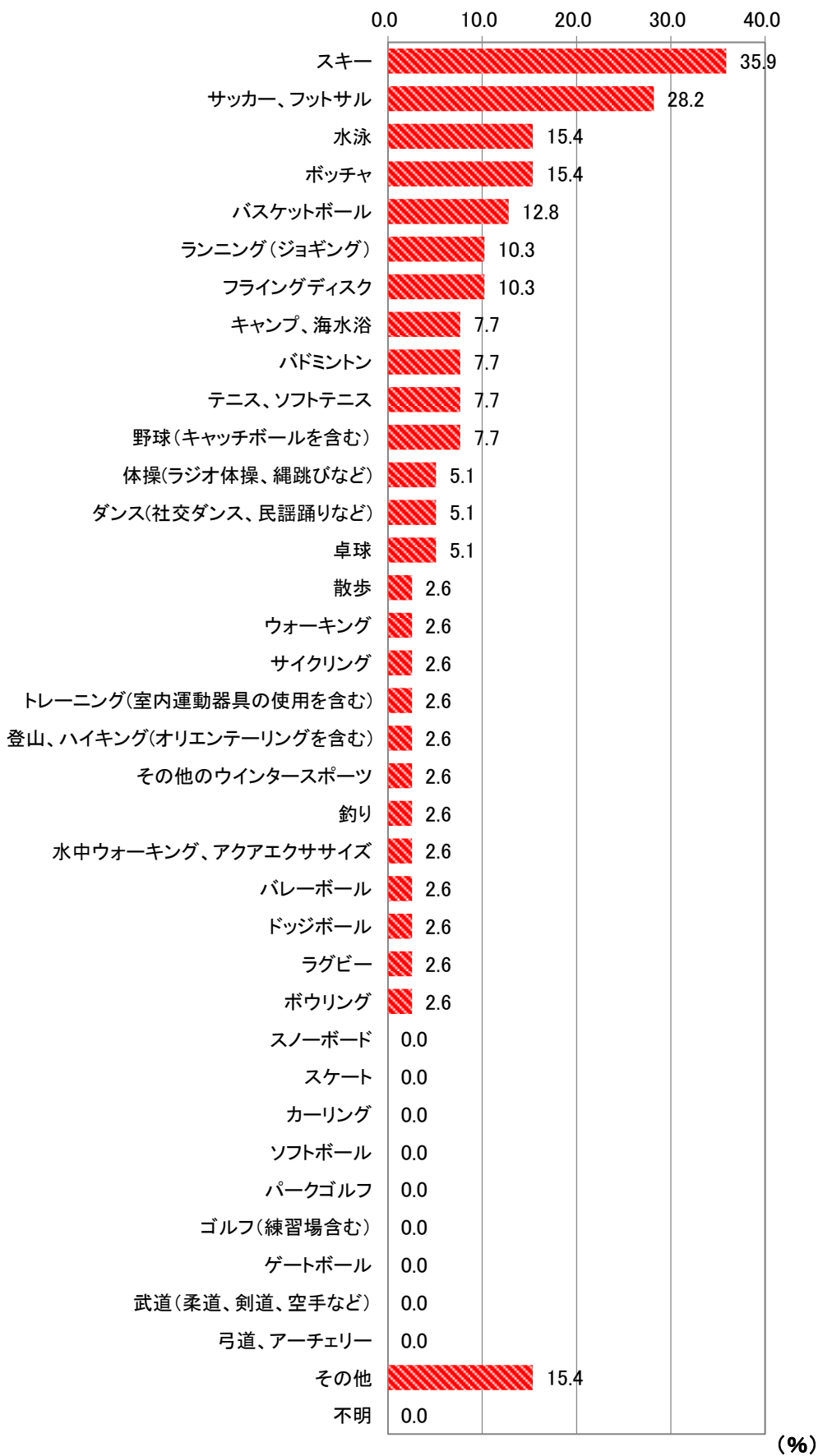
● 障がい者スポーツ体験会や競技教室への参加経験がある人は 13.5%

- 「障がい者スポーツ体験会や競技教室への参加経験」では、「参加経験はない（85.1%）」が 8 割を超えており、「参加経験がある（13.5%）」と回答した人は 1 割程度であった。
- 「障がい者スポーツ体験会・競技教室で参加した種目」については、「スキー（35.9%）」が最も多く、ついで「サッカー、フットサル（28.2%）」「水泳（15.4%）」「ボッチャ（15.4%）」の順。
- 「障がい者スポーツ体験会・競技教室に参加した動機」では、「楽しみのため（48.7%）」が最も多く、次いで「スポーツを体験してみたかった（41.0%）」が多くなっている。
- 「希望する障がい者スポーツの体験会や競技教室の開催場所」では「各区の体育館やプール（35.9%）」が最も多く、次いで「自宅や職場の近くの学校の体育館（28.2%）」が多い。

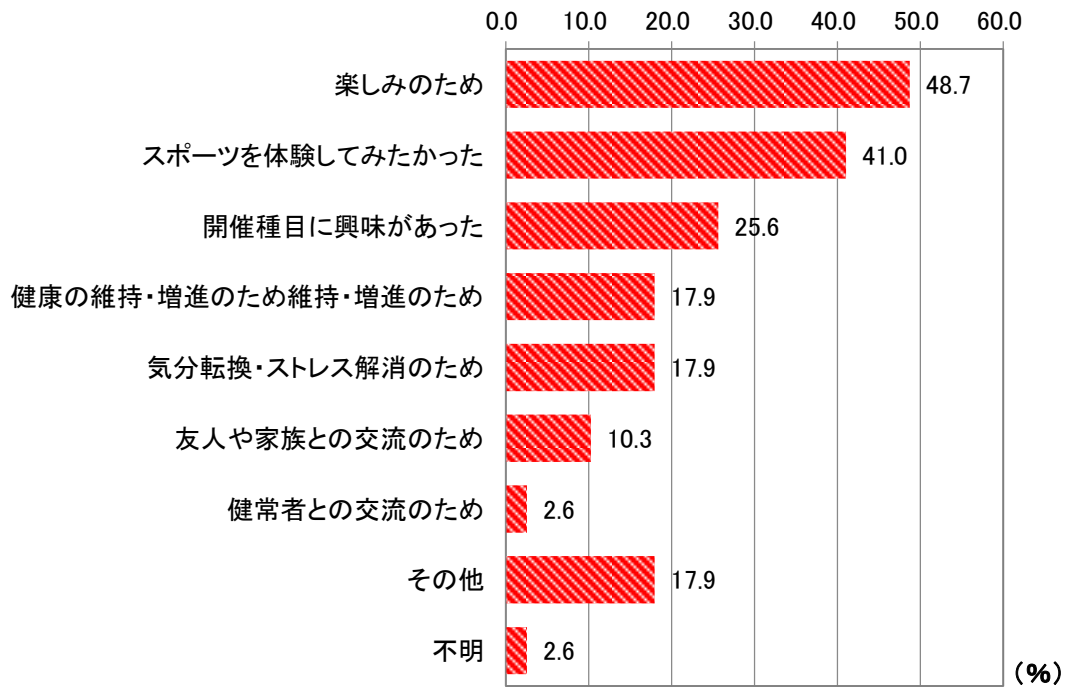
障がい者スポーツ体験会・競技教室への参加経験 <SA>(N=288)



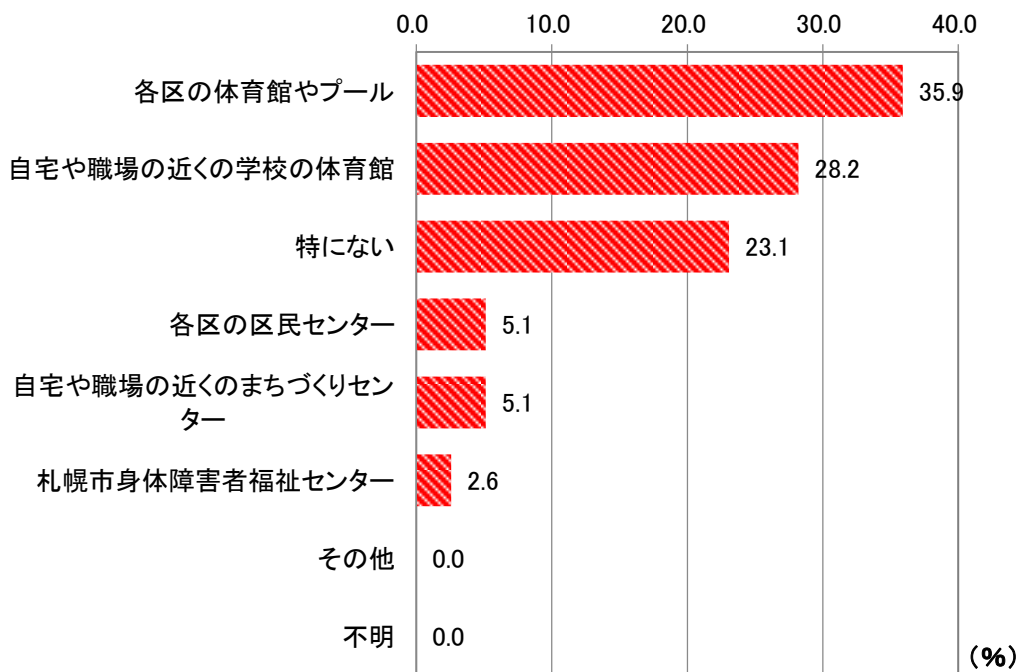
障がい者スポーツ体験会・競技教室で参加した種目〈MA〉（N=39）



障がい者スポーツ体験会・競技教室に参加した動機〈MA〉（N=39）

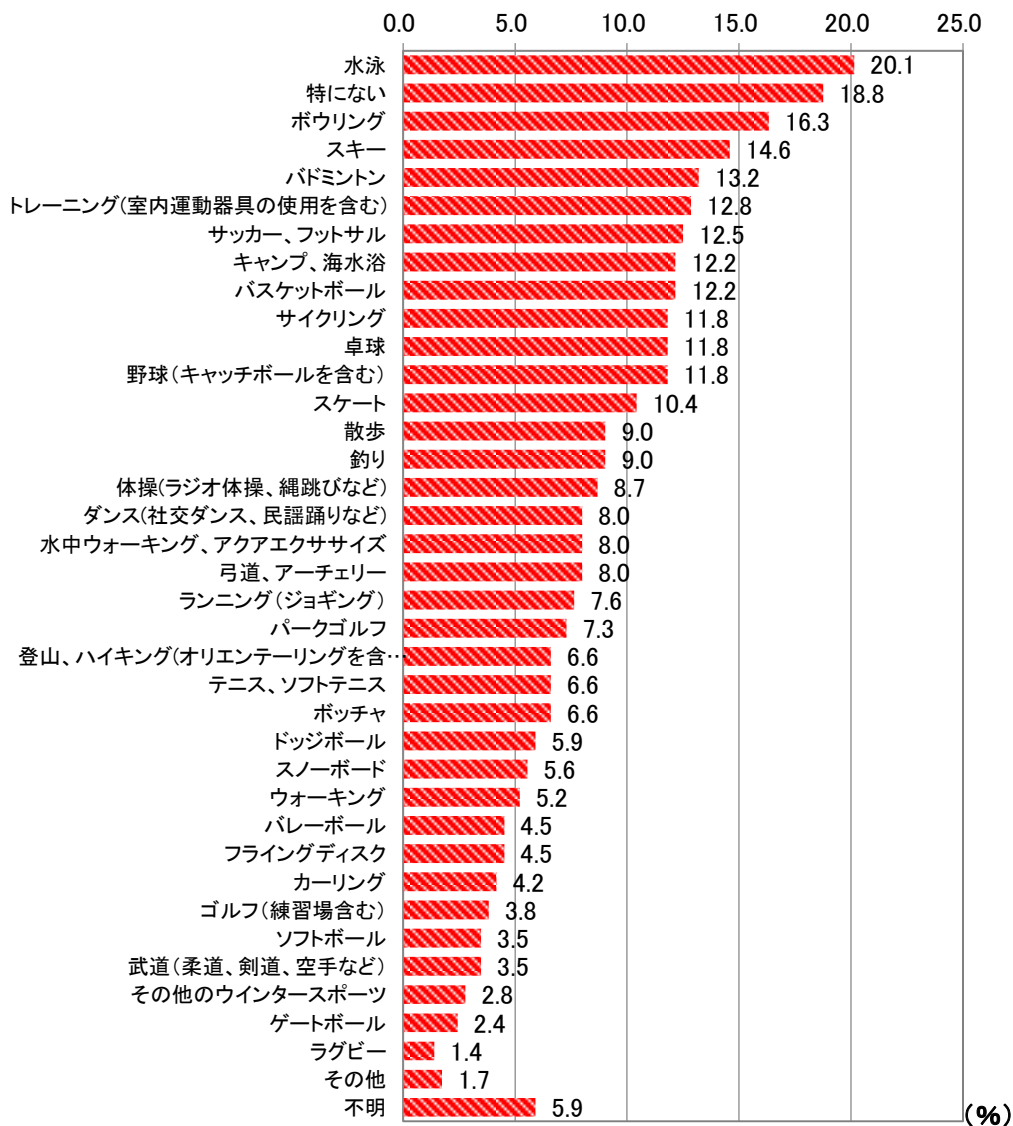


希望する障がい者スポーツの体験会や協議教室の開催場所〈SA〉（N=39）



- 必要に応じた用具・場所・指導の提供を受けられるとしたら、行ってみたい運動・活動は「水泳」「ボウリング」「スキー」
 - ・ 「必要に応じた用具・場所・指導の提供を受けられるとしたら、行ってみたい運動・活動」では、「水泳（20.1%）」が最も多く、次いで「ボウリング（16.3%）」「スキー（14.6%）」の順となっている。「特にない」は18.8%であった。
 - ・ 就学状況では、「中学校（通常の学級）に通っている」「中学校（特別支援学級）に通っている」で「スキー」が、また「高等学校に通っている」で「弓道、アーチェリー」が、「特別支援学校（中等部）に通っている」で「水泳」「水中ウォーキング、アクアエクササイズ」の割合がそれぞれ高くなっている。
 - ・ 障がい者手帳の種類別では、「療育手帳 A」で、「水泳」「水中ウォーキング、アクアエクササイズ」が多くなっている。
 - ・ 障がいの種類別では、「肢体不自由（車いす必要）」で「ボッチャ」の割合が高くなっている。

必要に応じた用具・場所・指導の提供を受けられるとしたら、
行ってみたい運動・活動 <MA>(N=288)



必要に応じた用具・場所・指導の提供を受けられるとしたら、行ってみたい運動・活動×就学の状況 (%)

	散歩	ウォーキング	ランニング（ジョギング）	サイクリング	（含む）	トレニング（室内運動器具の使用を含む）	体操（ラジオ体操、縄跳びなど）	ダンス（社交ダンス、民謡踊りなど）	登山、ハイキング（オリエンテーリングを含む）	スキー	スノーボード	スケート	カーリング	その他のウインタースポーツ	釣り	キャンプ、海水浴	水泳	水中ウォーキング、アクアエクササイズ	卓球	バドミントン
全体 (N=288)	9.0	5.2	7.6	11.8	12.8	8.7	8.0	6.6	14.6	5.6	10.4	4.2	2.8	9.0	12.2	20.1	8.0	11.8	13.2	
中学校（通常の学級）に通っている (N=41)	2.4	2.4	12.2	14.6	4.9	4.9	4.9	7.3	24.4	12.2	9.8	9.8	12.2	14.6	9.8	19.5	2.4	19.5	19.5	
中学校（特別支援学級）に通っている (N=61)	13.1	8.2	13.1	19.7	16.4	13.1	13.1	8.2	27.9	1.6	18.0	3.3	3.3	9.8	19.7	19.7	4.9	9.8	16.4	
高等学校に通っている (N=43)	7.0	2.3	4.7	9.3	9.3	4.7	4.7	2.3	7.0	11.6	11.6	7.0	2.3	11.6	11.6	7.0	4.7	16.3	16.3	
特別支援学校（中等部）に通っている (N=44)	11.4	6.8	4.5	9.1	20.5	11.4	4.5	9.1	11.4	-	4.5	-	-	6.8	18.2	36.4	18.2	2.3	-	
特別支援学校（高等部）に通っている (N=84)	9.5	6.0	6.0	9.5	10.7	8.3	6.0	6.0	7.1	4.8	9.5	3.6	-	4.8	6.0	19.0	9.5	13.1	13.1	
学校に通っていない (N=15)	6.7	-	-	-	20.0	6.7	26.7	6.7	6.7	6.7	-	-	-	13.3	6.7	20.0	6.7	6.7	13.3	

	テニス、ソフトテニス	野球（キャッチボールを含む）	サッカー、フットサル	バレーボール	バスケットボール	ソフトボール	ドッジボール	ラグビー	ボウリング	パークゴルフ	ゴルフ（練習場含む）	ゲートボール	フライングディスク	ボッチャ	武道（柔道、剣道、空手など）	弓道、アーチェリー	その他	特になし	不明
全体 (N=288)	6.6	11.8	12.5	4.5	12.2	3.5	5.9	1.4	16.3	7.3	3.8	2.4	4.5	6.6	3.5	8.0	1.7	18.8	5.9
中学校（通常の学級）に通っている (N=41)	7.3	12.2	4.9	9.8	9.8	7.3	9.8	2.4	19.5	2.4	7.3	2.4	7.3	2.4	12.2	17.1	-	26.8	7.3
中学校（特別支援学級）に通っている (N=61)	6.6	16.4	19.7	8.2	29.5	1.6	13.1	1.6	24.6	8.2	1.6	-	4.9	1.6	1.6	4.9	-	8.2	-
高等学校に通っている (N=43)	7.0	14.0	2.3	4.7	7.0	2.3	2.3	-	18.6	2.3	-	2.3	2.3	4.7	2.3	20.9	9.3	18.6	7.0
特別支援学校（中等部）に通っている (N=44)	4.5	6.8	13.6	2.3	2.3	2.3	-	-	11.4	9.1	2.3	-	-	6.8	-	-	-	18.2	11.4
特別支援学校（高等部）に通っている (N=84)	6.0	10.7	14.3	1.2	9.5	4.8	3.6	2.4	10.7	8.3	4.8	3.6	4.8	13.1	3.6	4.8	1.2	22.6	6.0
学校に通っていない (N=15)	13.3	6.7	20.0	-	6.7	-	6.7	-	13.3	20.0	13.3	13.3	13.3	6.7	-	-	-	20.0	6.7

必要に応じた用具・場所・指導の提供を受けられるとしたら、行ってみたい運動・活動×障がい者手帳の種類 (%)

	散歩	ウォーキング	ランニング（ジョギング）	サイクリング	トレニング（室内運動器具の使用を含む）	体操（ラジオ体操、縄跳びなど）	ダンス（社交ダンス、民謡踊りなど）	登山、ハイキング（オリエンテーリングを含む）	スキー	スノーボード	スケート	カーリング	その他のウィンタースポーツ	釣り	キャンプ、海水浴	水泳	水中ウォーキング、アクアエクササイズ	卓球	バドミントン
全体 (N=285)	9.1	5.3	7.7	11.6	13.0	8.8	8.1	6.7	14.4	5.6	10.5	4.2	2.8	9.1	12.3	20.0	8.1	11.9	13.3
身体障害者手帳1級 (N=81)	14.8	4.9	4.9	9.9	12.3	13.6	4.9	6.2	3.7	1.2	6.2	4.9	2.5	4.9	12.3	24.7	12.3	6.2	7.4
身体障害者手帳2級 (N=19)	-	-	10.5	10.5	5.3	-	15.8	5.3	-	15.8	5.3	5.3	5.3	5.3	15.8	26.3	5.3	10.5	15.8
身体障害者手帳3級 (N=15)	6.7	-	-	-	13.3	-	-	-	33.3	13.3	26.7	13.3	-	20.0	6.7	6.7	6.7	13.3	20.0
身体障害者手帳4級 (N=15)	-	-	6.7	6.7	13.3	13.3	6.7	-	-	13.3	6.7	-	6.7	-	-	-	-	13.3	13.3
身体障害者手帳5級 (N=7)	-	-	-	-	-	14.3	-	-	28.6	-	14.3	-	-	14.3	-	14.3	14.3	-	-
身体障害者手帳6級 (N=8)	12.5	-	-	12.5	37.5	-	-	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	-	12.5	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5
療育手帳A（最重度または重度）(N=84)	9.5	6.0	3.6	9.5	16.7	13.1	9.5	9.5	13.1	2.4	10.7	-	-	4.8	10.7	32.1	19.0	8.3	6.0
療育手帳B（中度）(N=28)	7.1	7.1	7.1	17.9	14.3	10.7	10.7	3.6	10.7	3.6	-	-	3.6	10.7	10.7	21.4	3.6	14.3	7.1
療育手帳B-（軽度）(N=80)	12.5	7.5	13.8	13.8	16.3	8.8	8.8	7.5	20.0	2.5	13.8	3.8	1.3	7.5	11.3	13.8	2.5	8.8	20.0
精神障害者保健福祉手帳1級 (N=2)	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0
精神障害者保健福祉手帳2級 (N=5)	-	-	-	-	-	-	40.0	-	-	20.0	20.0	-	-	-	20.0	20.0	-	40.0	-
精神障害者保健福祉手帳3級 (N=27)	11.1	7.4	7.4	22.2	18.5	7.4	11.1	7.4	22.2	14.8	11.1	7.4	7.4	18.5	14.8	22.2	3.7	29.6	14.8

	テニス、ソフトテニス	野球（キャッチボールを含む）	サッカー、フットサル	バレーボール	バスケットボール	ソフトボール	ドッジボール	ラグビー	ボウリング	パークゴルフ	ゴルフ（練習場含む）	ゲートボール	フライングディスク	ポッチャ	武道（柔道、剣道、空手など）	弓道、アーチェリー	その他	特になし	不明
全体 (N=285)	6.7	11.9	12.6	4.6	12.3	3.5	6.0	1.4	16.5	7.4	3.9	2.5	4.6	6.7	3.5	8.1	1.8	18.2	6.0
身体障害者手帳1級 (N=81)	4.9	9.9	11.1	3.7	2.5	3.7	2.5	-	12.3	3.7	2.5	-	1.2	13.6	-	2.5	1.2	25.9	11.1
身体障害者手帳2級 (N=19)	5.3	5.3	10.5	5.3	10.5	-	-	5.3	21.1	5.3	5.3	5.3	5.3	10.5	5.3	26.3	-	15.8	-
身体障害者手帳3級 (N=15)	6.7	-	-	6.7	13.3	6.7	-	-	33.3	6.7	-	6.7	-	13.3	-	-	6.7	6.7	-
身体障害者手帳4級 (N=15)	6.7	20.0	6.7	-	-	-	6.7	-	6.7	6.7	-	-	-	6.7	13.3	-	-	33.3	6.7
身体障害者手帳5級 (N=7)	-	14.3	42.9	-	14.3	-	14.3	-	14.3	-	14.3	-	14.3	-	-	-	-	28.6	-
身体障害者手帳6級 (N=8)	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	-	25.0	-	12.5	-	-	-	12.5	12.5	-	25.0	-
療育手帳A（最重度または重度）(N=84)	4.8	11.9	15.5	2.4	9.5	3.6	2.4	-	11.9	10.7	1.2	2.4	3.6	8.3	1.2	1.2	2.4	20.2	7.1
療育手帳B（中度）(N=28)	10.7	21.4	21.4	3.6	25.0	7.1	14.3	7.1	39.3	14.3	7.1	3.6	3.6	-	3.6	7.1	-	10.7	7.1
療育手帳B-（軽度）(N=80)	3.8	11.3	13.8	3.8	16.3	-	7.5	-	12.5	6.3	3.8	1.3	5.0	2.5	3.8	6.3	-	11.3	6.3
精神障害者保健福祉手帳1級 (N=2)	-	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
精神障害者保健福祉手帳2級 (N=5)	-	20.0	20.0	-	-	-	20.0	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-
精神障害者保健福祉手帳3級 (N=27)	7.4	11.1	7.4	7.4	11.1	3.7	3.7	3.7	11.1	7.4	3.7	3.7	11.1	-	7.4	29.6	7.4	11.1	-

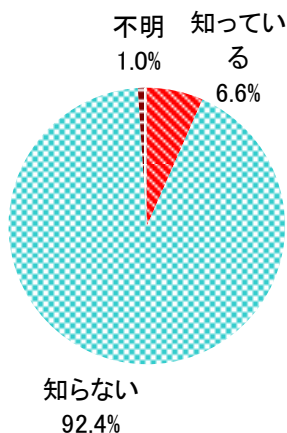
必要に応じた用具・場所・指導の提供を受けられるとしたら、行ってみたい運動・活動×障がいの種類 (%)

	散歩	ウォーキング	ランニング（ジョギング）	サイクリング	む（トレ）ニング（室内運動器具の使用を含む）	体操（ラジオ体操、縄跳びなど）	ダンス（社交ダンス、民謡踊りなど）	登山、ハイキング（オリエンテーリングを含む）	スキー	スノーボード	スケート	カーリング	その他のウィンタースポーツ	釣り	キャンプ、海水浴	水泳	水中ウォーキング、アクアエクササイズ	卓球	バドミントン
全体 (N=285)	8.8	4.9	7.4	11.6	13.0	8.4	8.1	6.7	14.4	5.6	10.5	4.2	2.8	8.8	12.3	20.4	8.1	11.9	13.3
肢体不自由（車いす必要）(N=52)	11.5	-	5.8	3.8	9.6	5.8	3.8	3.8	3.8	-	3.8	7.7	3.8	7.7	9.6	23.1	15.4	7.7	5.8
肢体不自由（車いす不要）(N=43)	9.3	2.3	4.7	7.0	20.9	14.0	9.3	4.7	9.3	2.3	4.7	-	-	2.3	9.3	20.9	9.3	11.6	4.7
視覚障がい(N=9)	22.2	11.1	11.1	11.1	33.3	22.2	-	22.2	11.1	-	33.3	-	-	-	11.1	44.4	33.3	-	11.1
聴覚障がい(N=19)	5.3	-	-	10.5	15.8	-	5.3	15.8	15.8	26.3	21.1	10.5	5.3	15.8	15.8	15.8	10.5	10.5	21.1
音声・言語・そしゃく機能障がい(N=16)	31.3	6.3	-	6.3	18.8	6.3	-	6.3	-	-	-	6.3	-	12.5	18.8	25.0	12.5	6.3	-
内部障がい(N=34)	8.8	5.9	-	11.8	2.9	11.8	2.9	-	5.9	8.8	14.7	8.8	2.9	8.8	14.7	11.8	5.9	8.8	17.6
知的障がい(N=158)	9.5	7.0	8.2	9.5	15.8	12.0	11.4	8.2	13.9	3.2	10.1	0.6	1.3	5.7	12.7	27.2	10.8	9.5	8.9
発達障がい(N=124)	9.7	7.3	10.5	12.9	15.3	8.9	7.3	8.9	16.9	5.6	9.7	4.0	3.2	9.7	14.5	21.0	6.5	15.3	14.5
精神障がい(N=27)	11.1	7.4	7.4	14.8	22.2	7.4	14.8	11.1	18.5	14.8	7.4	7.4	3.7	11.1	7.4	22.2	3.7	18.5	18.5
その他(N=1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

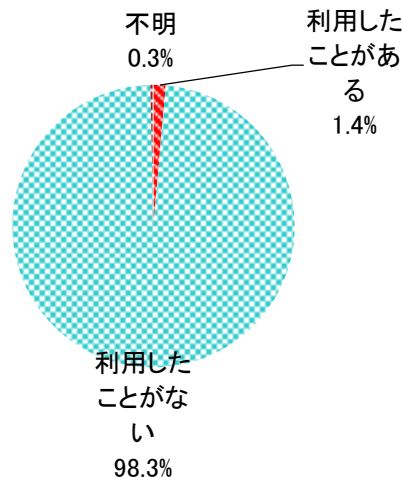
	テニス、ソフトテニス	野球（キャッチボールを含む）	サッカー、フットサル	バレーボール	バスケットボール	ソフトボール	ドッジボール	ラグビー	ボウリング	パークゴルフ	ゴルフ（練習場含む）	ゲートボール	フライングディスク	ポッチャ	武道（柔道、剣道、空手など）	弓道、アーチェリー	その他	特にな	不明
全体 (N=285)	6.7	11.6	12.6	4.6	12.3	3.5	6.0	1.4	16.1	7.4	3.9	2.5	4.2	6.7	3.5	8.1	1.8	18.2	6.0
肢体不自由（車いす必要）(N=52)	7.7	9.6	11.5	1.9	1.9	3.8	3.8	-	9.6	-	1.9	-	1.9	25.0	-	1.9	-	23.1	9.6
肢体不自由（車いす不要）(N=43)	-	7.0	7.0	-	9.3	-	4.7	-	11.6	4.7	-	-	-	-	-	2.3	-	18.6	9.3
視覚障がい(N=9)	-	22.2	22.2	11.1	-	-	-	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.1
聴覚障がい(N=19)	10.5	10.5	15.8	5.3	10.5	10.5	5.3	5.3	21.1	10.5	10.5	15.8	15.8	10.5	10.5	21.1	5.3	5.3	5.3
音声・言語・そしゃく機能障がい(N=16)	6.3	6.3	18.8	-	-	6.3	-	-	12.5	12.5	6.3	6.3	6.3	31.3	-	-	-	12.5	6.3
内部障がい(N=34)	5.9	8.8	5.9	8.8	2.9	2.9	-	-	26.5	11.8	2.9	-	-	5.9	2.9	14.7	2.9	29.4	2.9
知的障がい(N=158)	5.7	12.0	19.0	2.5	14.6	3.2	7.0	1.3	16.5	8.2	4.4	1.9	3.2	7.0	1.3	3.8	1.3	16.5	5.1
発達障がい(N=124)	5.6	8.1	12.1	4.8	18.5	1.6	8.1	1.6	16.9	9.7	4.8	2.4	6.5	3.2	4.8	8.9	2.4	11.3	4.8
精神障がい(N=27)	3.7	14.8	18.5	7.4	7.4	3.7	3.7	3.7	14.8	11.1	7.4	3.7	7.4	-	3.7	14.8	-	14.8	-
その他(N=1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-

- みなみの杜高等支援学校の学校開放の認知度は 6.6%、今後の利用希望は 47.3%
 - 「みなみの杜高等支援学校」について尋ねたところ、「学校開放の認知度」については「知っている」が 6.6%、「知らない」が 92.4%であった。
 - 「学校開放の利用経験」については「利用したことがある」は 1.4%、「利用したことがない」が 98.3%であった。
 - 「学校開放の利用希望」については「機会があれば利用したい」が 47.3%、「利用したいと思わない」が 50.5%であった。
 - 就学状況別では、「中学校（特別支援学級）に通っている」「特別支援学校（中等部）に通っている」で「機会があれば利用したい」の割合が高くなっている。

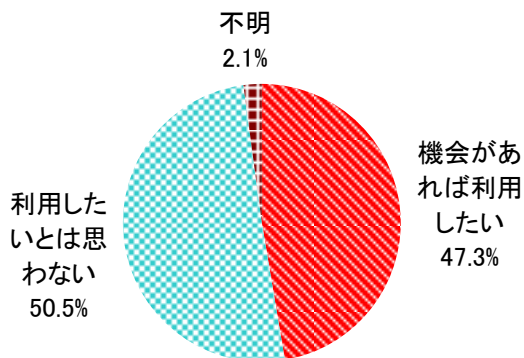
みなみの杜高等支援学校の
学校開放の認知度 <SA>(N=288)



みなみの杜高等支援学校での
学校開放の利用経験 <SA>(N=288)



みなみの杜高等支援学校での
学校開放の利用希望 <SA> (N=283)



みなみの杜高等支援学校の学校開放の
利用希望 × 就学の状況 (%)

	機会があれば利用したい	利用したいと思わない	不明
全体 (N=283)	47.3	50.5	2.1
中学校（通常の学級）に通っている (N=40)	32.5	67.5	-
中学校（特別支援学級）に通っている (N=58)	58.6	39.7	1.7
高等学校に通っている (N=43)	37.2	62.8	-
特別支援学校（中等部）に通っている (N=44)	63.6	34.1	2.3
特別支援学校（高等部）に通っている (N=83)	45.8	49.4	4.8
学校に通っていない (N=15)	33.3	66.7	-